

平成27年度

# 新入生アンケート報告書

京都大学国際高等教育院

# 目 次

I. 平成 27 年度の新入生ガイダンスについて	1
II. 平成 27 年度全学共通科目ガイダンス	
(1) 日程等	2
(2) 京都大学の教育について	3
国際高等教育院長	村中孝史
(3) 全学共通科目の履修・KULASIS の利用について	5
国際高等教育院副教育院長	喜多一
(4) 英語教育について	18
国際高等教育院附属国際学術言語教育センター准教授	金丸敏幸
(5) 留学について	25
国際交流推進機構教授	長山浩章
国際交流推進機構教授	河合淳子
III. 支援機構ガイダンス	31
IV. 履修相談	32
V. コンプライアンス e-Learning	33
VI. 新入生アンケート (全学共通科目ガイダンス)	
○調査の概要	
(1) 質問項目	34
(2) 実施方法	34
○アンケート回答	35
(1) 総合人間学部	36
(2) 文学部	41
(3) 教育学部	50
(4) 法学部	53
(5) 経済学部	65
(6) 理学部	75
(7) 医学部	87
(8) 薬学部	96
(9) 工学部	100
(10) 農学部	137
○資料：アンケート用紙	152
VII. おわりに	154

※役職名等は平成 27 年 4 月 1 日現在

## I. 平成 27 年度の新入生ガイダンスについて

学部の新入生に対するガイダンスは、新入生に本学が提供する教育や大学生としての生活について指導する上で欠かせない機会であり、初年次教育の視点からも重要である。他方でさまざまな業務を所掌する組織が必ずしも十分な連携を持ってガイダンスを行っている訳ではないこと、適切な授業週数を確保する学年暦の設定のため、入学式の後すぐに授業が開始されることからガイダンスのスケジュールが密になっており、諸手続きや履修科目の選択なども求められる新入生にとって相当に慌ただしいものとなっている。このためガイダンスの有効性や実施効率の点で改善が必要であると判断した。

国際高等教育院では自らが実施している全学共通科目のガイダンスのほか、各学部や全学機構などが実施しているガイダンスの実施状況を調査し、新入生を対象としたガイダンスをより効果的で効率的なものにするため、平成 27 年度の新入生ガイダンスについて以下のような点で改善を加えて実施した。

- 全学共通科目ガイダンスについては内容を精査し、新入生が適切に科目選択できることを重視したガイダンスとした。
- その中で英語についてのガイダンスを強化するとともに、国際交流センターと共同して留学についてのガイダンスを連携させた。
- 情報環境機構が別途、行っていた新入生向けのガイダンスについて、全学共通科目ガイダンスで行われていたコンプライアンス関連の指導や他の全学機構のガイダンスを集約する形で「支援機構ガイダンス」という形で実施し、効率化を図った。
- またこの機会を利用し、医学部人間健康科学科の協力を得て AED 使用の救命講習を実施した。
- コンプライアンス関連の指導が重要なことは言うまでもないが、数多くの事項について短時間で指導することには無理がある。これについては、e-Learning 教材を新たに作成し、ガイダンスでは要点だけを伝えた上で詳細は e-Learning で学習できるようにした。
- これらの改善によりガイダンス内容を整理し、週末に別途実施されていた新入生特別セミナーは学部で独自に実施している工学部を除いて廃止した。

## II. 平成27年度 全学共通科目ガイダンス

### (1) 日程等

平成27年度全学共通科目ガイダンスは以下のプログラムで実施した。

#### 1. 日程

	4共11	4共21	4共30	4共31
4月2日(木) 9時30分～ 11時30分	工学部 (物理工学科)	工学部 ※2 (工業化学科)	工学部 (地球工学科) (電気電子工学科)	工学部 (建築学科) (情報学科)
4月3日(金) 9時30分～ 11時30分	医学部 (医学科) 農学部 (資源生物科学科)	医学部 (人間健康科学科) 農学部 (地域環境工学科) (食品生物科学科)	理学部 農学部 (食料・環境経済学科)	薬学部 農学部 (応用生命科学科) (森林科学科)
4月3日(金) 14時00分～ 16時00分	文学部 ※1	経済学部	法学部	総合人間学部 教育学部

#### 2. プログラム

- |                                |                          |                        |
|--------------------------------|--------------------------|------------------------|
| ① 9:30 ～ 9:40(14:00 ～ 14:10)   | 京都大学の教育について              | 村中孝史・国際高等教育院長          |
| ② 9:40 ～ 10:25(14:10 ～ 14:55)  | 全学共通科目の履修・KULASISの利用について | 喜多一・国際高等教育院副教育院長       |
| ③ 10:25 ～ 10:45(14:55 ～ 15:15) | 英語教育について                 | 附属国際学術言語教育センター 金丸敏幸准教授 |
| ④ 10:45 ～ 11:05(15:15 ～ 15:35) | 留学について                   | 国際交流推進機構 長山浩章教授、河合淳子教授 |
| ⑤ 11:05 ～ 11:20(15:35 ～ 15:50) | アンケート回答                  |                        |

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| 1. 平成27年度 全学共通科目ガイダンスプログラム   | 10. STUDENT RESEARCH ROOM     |
| 2. 全学共通科目ガイダンスアンケート(水色)  | 11. 海外留学の手引き                  |
| 3. 入試に関するアンケート   | 12. 留学支度                      |
| 4. 全学共通科目履修の手引き  | 13. 教員免許取得を考えている新入生の皆さんへ      |
| 5. KULASIS ～もっと便利に快適に～   | 14. 学生総合支援センターキャリアサポートルームのご案内 |
| 6. 平成27年度 TOEFL ITPの実施について   | 15. キャンパスでの感染症 HANDBOOK 2015  |
| 7. LIBERAL ARTS AND SCIENCES to learn in English 2015 Kyoto University | 16. 男女共同参画推進センター              |
| 8. 「全学共通科目履修相談室」を開設します。  | 17. 地震対応マニュアル                 |
| 9. 教養・共通教育通信   |                               |

## (2) 京都大学の教育について

国際高等教育院長 村中 孝史



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は、今、ご紹介いただきました、国際高等教育院長の村中と申します。

皆さんは、理学部とか医学部とか、それぞれの学部に入学されました。その中に国際高等教育院はありませんので、教育院について少しご紹介しておきたいと思えます。

皆さんは、それぞれ学部で学士課程の教育を受けられるのですが、そこでの教育内容は、一般教育科目と専門科目に分かれております。専門科目はそれぞれの学部の先生方がご担当になりますが、語学ですとか、数学、物理、化学といった基礎科目、あるいは人文社会科学系の教養科目は、どの学部の教育課程においても共通していますので、京都大学ではそれらを全学統一で企画・実施することにしており、それを担っているのが国際高等教育院ということになります。

ですから、国際高等教育院には各学部から移籍された先生方がおられ、皆さんにどういう科目を提供すべきか、皆さんの勉強具合はどうか、といったことを議論しています。私はそのまとめ役ということになります。私自身は法学部の教授で、法学部では労働法を教えておりますが、同時に教育院長を務めているわけです。

さて、皆さんは、先ほど申しましたように、学部を決めて入学されたわけですから、早く専門の勉強をしたいとか、あるいは手っ取り早く単位を取って自分の好きなことをしたいとか、とにかくいいところへ就職したいとか、いろいろ考えておられると思います。それぞれの生き方の問題ですので、ご自分の勝手にされたらいいと思いますし、その決定は全て自己責任ですから、自由に決めたらいいと思います。ですから、年寄りが出てきてあれこれ言うのは私としては本意ではないのですが、役目柄ということもありますし、又、皆さんになじみのないことも多いと思いますので、3つのことをお話ししたいと思います。

一つ目は、若いときにしか効率を忘れて勉強とか研究とか、何かに打ち込むことは多分できないだろうということです。私は今、57歳ですが、年をとりますと先が見えているわけです。定年が迫っていますし、そもそももうすぐ死ぬかもしれませんから、使える時間が見えるわけです。そうなりますと、何かをしようと思ったとき、おもしろそうなことでもそれをしていない時間がない、とりあえず大事なものを先にやろう、といったことになります。これでは、決まったことしかできなくて、いろいろなことを試行錯誤してやってみるといことはできなくなります。しかし、新たな発見とか、あるいはブレイクスルーといったものは、おそらく、あらかじめ自分が設定したようなところからは生まれません。いろいろなことを無我夢中でやっている中で初めて生まれると思います。時間を忘れてとにかく打ち込むということをしないとだめで、効率とか、これをやったら一番簡単にできるだろうとか、そんなことを考えていると多分成長はありません。別に新しい発見とか、発明とか、そういうことだけでなく、自分自身が今の自分から一皮むけて、殻を割

って次に進むというときには、自分自身の中で一定のブレイクスルーが必要になるわけです。そういうときには、効率といったものを考えるよりも、とりあえず無我夢中でやるのが大事です。それは若いときにしかできない。多分今しかできない。それを今となっては私は後悔しているので、そのことをお伝えしておきたいと思います。

二つ目は、一見無関係に見えているものが、実はいろいろとつながっている、ということです。何かに打ち込む、とくに当面の課題とは関係ないことをやっている、自分は無駄なことをやっているのではないかと心配になることもあるのですが、おそらく無関係ではなく、いろいろなつながりというものがあるわけです。全然関係のないところで考えたこと、気づいたこと、あるいは思考の方法とか、そういうものの断片が、大事なところで出てきて、今までと違うことを考えることができた、ということは多いと思います。教養科目の宣伝になるのですが、皆さんは、教養科目については早く単位をそろえて、さっさと専門をやりたいと考えているかもしれませんが、恐らくそれでは非常に幅が狭いことになってしまうと思います。後に専門で自分がやりたいことを成し遂げるときには、恐らくいろんな分野でのものの見方とか、問題意識とか、そういうものが自分では気づかない形で生きてくる、そういうものだと思います。ですから、特に1年生のころは自由にいろんな学問分野に触れて、どんな問題関心があるのか、どんな方法論があるのか、それぞれの分野の研究者がどんなことを考えているのか、ということに強い関心をもってもらいたいと思います。

三つ目は、ほかの人との議論をしてほしいということです。最近の学生諸君は非常にスマートで、余り他人と議論しないし、議論していても他人を論破してやりこめるようなことを余りしません。別に相手を論破せよ、と求めているわけではないのですが、議論するときには殻をかぶりながらやっていると、多分余り意味がないと思います。特に学生の時代は、一体自分が何者であるのか、社会とはどんなものなのか、その中で自分はどういう位置づけにあるのか、そんなことで悩むと思うのです。そういうことをわかろうと思うと、素の自分をぶつけてみないと相手も答えてくれません。それを最近の学生はあまりしないように思います。社会に出てそんなことをしたら、お前はクビだと言われるかもしれません、学生時代の特権なのだと思います。ぜひ、友達との間で大学時代にやっていただきたいと思います。

3つだけお話ししましたが、朝から説教くさい話でつまらなかったかもしれません。長という名前がついた役職にいる者の務めですので、ご容赦いただきたいと思います。

この後、いろいろとガイダンスがあります。どれも大事な話ですので、よく聞いていただきたいと思います。京都大学は、研究環境も整っていますし、何ととってもユニークな教員やエネルギーな教員がたくさんいますので、ぜひともそういう環境を存分に使っていただきたいと思います。教員の側は、皆さんが勉強に励まれるということに対して十分こたえる用意ができております。皆さんの研鑽を期待しております。

※4月3日(金)理学部、医学部、薬学部、農学部を対象に実施したものをまとめたものである。

### (3) 全学共通科目の履修・KULASIS の利用について

国際高等教育院副教育院長 喜多 一



国際高等教育院副教育院長の喜多と申します。おはようございます。

私のほうからは、まず京都大学で勉強していただく制度のことを少しお話をし、その後でKULASISというコンピュータのシステムを使って履修の登録とかをしていただきますので、その話をざくっとご紹介したいと思います。

まず使うもの、お手元に水色のアンケートシートがあります。表側は高等学校でどんな勉強をしましたかという情報について主に皆さんにお伺いしているもので、これは勝手に書いてくれたらいいのですけれども、裏側を開けておいてください。裏側の2という設問のところに話を聞きながら記入してもらったらいいです。それから、ピンク色の分厚い「履修の手引き」という本です。皆さん方はこれから全学共通科目を履修される際に、大体これを見て、ああそういうことかということを理解してもらうためのものです。それから「教養・共通教育通信」というブックレットがあります。年に1回だけ発行している我々の雑誌なのですけれども、これの5ページを開けてください。「学びのプレーブック」という記事を書かせていただきました。私がぐだぐだ説明するより、まずこれを読んでください。上が日本語で、下が英語になっていて、両方読む必要はないので、好きなほうを読んでください。同じことが書いてあります。2分ほどざっと目を通してください。

(喜多 一「学びのプレーブック」、教養・共通教育通信 Vol. 20、P.5-7)

軽い記事なのでそんなに真剣に読まなくてもいいのですけれども、じゃ説明を始めます。

今日、私がお話しすることは、40分ほど時間をいただいています。まず、京大の学部の教育の科目がどう構成されているかということをお話します。それから授業に出て試験に通ると単位がもらえます。高等学校も制度として単位が入っているのですけれども、ほとんど単位を落とすことはなかったはずですが、大学はサボるとボロボロ単位を落としますので、きちんと単位を集めて卒業するのだということをお話します。次に1年間のカレンダーで、特に当座はここがポイントというところをお話します。次に、理系の皆さんはクラス指定科目という科目でそれなりに埋まっているのですけれども、例えば人文・社会系の科目が自由に選べるので、どうやって時間割を組んだらいいのかということをお話します。次に、カンニングしてはいけないというのは多分皆さん方もわかっているのですけれども、それ以外にレポートなんかきちんとした書き方をしてもらわないと、カンニングと同じように不正行為として扱われますので、そのことをご注意します。あと細かなことを幾つかご説明します。

まず、京都大学の学部で学んでいただく科目の構成です。皆さん方、きょうは理系の学部の方がほとんどだと思いますが、学部の専門科目と各学部が一緒になって学びましょう

という全学共通科目、教養の科目とか専門の基礎となる科目の2種類から構成されています。向こうのほうの図（スライド資料：4枚目）に、1回生はほとんどが全学共通科目で、週に1コマとか2コマ学部の科目が入ったり入らなかったり、学部によってかなり色合いは違うのですけれども、そういう構成です。2回生になると、かなり学部の科目がふえてきます。3回生以上、医学部とか薬学部は6回生までありますけれども、3回生以上はほとんど学部の科目です。残念ながら全学共通科目の必要な単位が取れなかった人は引き続き勉強していますし、どうしてもこれを勉強したいということで、こちらへ来て自分が本当に勉強したいことを全学共通科目で勉強していただいている方も多くいます。

では全学共通科目はどんな科目で構成されているかといいますと、人文・社会系の科目、これは人文学と社会科学、余り聞いたことないと思いますけれども、文学とか哲学を人文学といいます。それから経済学とか政治学とか法学を社会科学といいます。そういうのを一緒にくたにして文系の学問なので、人文・社会系の科目群ということで、どれぐらいの単位をこういう科目群から取ってくださいということになります。それから理系の皆さん方はほとんどこれを取ってくださいという指示が各学部で出ているのですけれども、自然応用科学系の科目群、主に数学と理科の物理だとか化学という科目です。それから外国語科目群、英語は多くの方が取られると思います。それ以外にドイツ語だったり、中国語だったり、フランス語だったりという初修外国語が大学では入ってきます。次に現代社会適応科目群、こういう名前がついているのですけれども、情報の科目だったり、健康科学だったり、環境の科目があります。最後は拡大科目群というので、スポーツ実習とか、後で説明しますけれども、ポケット・ゼミとかがあります。

大学の教育は単位制度というもので構成されています。各授業では科目ごとに単位というのが発給されます。半期1コマ90分の授業で、高校よりちょっと授業は長いのですけれども、それを15回、全学共通科目は14回の授業をして、試験をして、フィードバック回という後で振り返る回で15回にしているのですけれども、それで講義とか演習の科目が2単位、実験と実習の科目が1単位になっています。お手元の履修の手引きの178ページから205ページのところに、学部学科ごとにどんな単位を取らないといけないかが書いてあります。自分の学部学科のページをまず確認してください。ここはしょっちゅう見るので、ちょっと汚れてもいいやという人は折り曲げたりして、わかるようにしておいてください。今、中身は余り読まなくていいから、ここにこんなことを書いてあるのだというのがわかればいいです。

（履修の手引き参照）

では、もう一回前のスライドを見てください。単位をどうやってもらえるかというと、期末試験とか期末レポートをちゃんと出す、授業に出席して平常点で評価される科目は平常点も稼ぐ、それで合格すれば単位を取得できます。今、見てもらったページを満たすように単位を取っていくと、それぞれの学部学科で全学共通科目でこれだけの単位を取ってくださいというのがきちんと埋まれば、あとは学部の科目で同じようなことをやって、卒業ができるという仕組みになっています。

次に、予習と復習が必要だということをお話しします。今、半期の1コマの授業、90分の

授業で、講義なら2単位が発給されますと申し上げました。ところが、学校教育法という法律があって、さらにその下に大学設置基準という政府の基準がある。90時間勉強したら2単位あげてくださいと書いてあるのです。つじつまが合わんでしょう。何でかという、残りの時間は自分で勉強してくれという制度です。だから、90分、これは2時間やったことになっているのですけれども、大体30時間分ぐらい授業で勉強してもらって、制度上はそれの倍ぐらい、どこまで本気でそこまでやるかというのはあるのですけれども、大学の授業は自学自習することが基本なのです。先生方は自学自習をしているものだと思って授業をするので、自学自習の時間を確保して時間割を組んでください。全学共通科目は履修制限というのがあって、学部によって単位数で制限しているところと時間数で制限しているところがあるのですけれども、多くの学部で大体週に15コマ以上入らないようになっています。キャップ制といいます。それも自習時間を確保してもらうために入れている制度です。

また、勉強の仕方は自分で考えてください。皆さん方一生懸命勉強するというのは、京都大学に受かったのやってきたと思うのですけれども、どうやって勉強しようか考えた人と考えていない人で分かれる。なぜかという、高校では問題集があります。模擬試験もいっぱいやらされます。これを解いていけば身につく。ところが、大学の授業になると問題集がなかったりする。だから、自分でどうやって勉強したらいいのかも考えながら勉強してください。

それからもう一つは、1コマの授業、90分で長いです。大学の先生はしゃべるのが好きなので、90分間マシンガントークをされます。そんな防戦一方で頭に入るわけがないので、予習してきてください。ここがわからないからと止められるじゃないですか。先生、それは違うと止められるでしょう。納得できないんだけど、と止めて、きちんとその場でわかっていく。そのために予習してこないと、90分間しゃべり続けられますので、ちゃんと予習してきてください。

次、学年暦の話をしてします。「履修の手引き」の見開きのページを開けてください。こういうカレンダーが載っていると思います。まず、嫌な話、前期はそれほどでもないのですけれども、もう来週から授業が始まります。いつ終わるかという、7月いっぱいぐらいで試験をして、フィードバック週があって、8月の頭ぐらいには前期が終わります。だから、ちょっと夏休みが遅い。後期は10月頭から始まり、1月いっぱいぐらいで終わりますけれども、冬休みはほとんどありません。28日まで授業があって、4日から授業があるので、公務員と同じような冬休みになります。

注意してほしいのは、週に1回の授業なので、曜日によっては休日が多くて、授業日が少なくなるため、振り替えられていることがあります。皆さん方、当座注意してほしいのは、5月1日は月曜日の授業です。5月1日は月曜日の授業をしますので、注意してください。

次、きょう一番大事な話はここです。クラス編成とクラス指定科目。学部学科ごとにクラスというのを編成しています。もう自分のクラスがわかったという人？（手をあげてもらおう）結構多いよね。まだという人。その人は後で説明するので、急いでください。1回生だと英語、初修外国語、それから理系の皆さんだと数学だとか理科とか実験とかがクラスを指定して実施しています。スポーツ実習もたくさん集中するといけないので、クラスを指定して実施しています。そこで授業を受けてください。

どうやって確認するか、もうかなりの方は確認されていると思いますけれども、まだの

方もいるのでおさらいをしておきます。青い封筒でECS-IDという大学で使うアカウントを皆さん方にお渡しする、こういう書類が行っていると思います。そこでアカウントを有効化してもらう。そのアカウントを使えるようにしてもらうというのを、携帯でもスマホでも、それから二つ向こうの建物に学術情報メディアセンター（南館）というのがありますけれども、そのコンピュータでもやれるので、まだの人はアカウントを有効化してください。この書類の中に、下のほうだったと思いますけれども、全学生共通ポータルというのが書いてあります。そのサイトにアクセスして、本当にログインできるかどうか確かめてもらって、サイトに入ってもらおう。アカウントがちゃんと有効化されていることを確認してもらおうと、いろんなところへのリンクがあります。そこでKULASISというのを選んでもらおうと、履修登録などに使うためのKULASISというシステムにログインできます。そこをたどると、あとはWebなので上手に見ていけば済むのですけれども、登録情報というところでクラスの通知をしています。そこを見たら、皆さん方のクラスがわかります。

クラスがわかったら、自分の時間割を組むためにそのクラスに指定された科目がどこで、どの曜日と時限に自分の時間割があるのかというので、履修の手引きの105から122ページ、クラスが分かった人は自分のクラスのページを見てみてください。まだの人は自分の学部学科がどの辺にあるかだけ確認してください。どこに書いてあるかだけチェックしてくれたらいいです。それから横に長いのがついています。これは自分のクラスがわかっている人は縦にずらっと見ると、月曜の1限目から5限目、火曜日、水、木、金と1週間が縦に並んでいます。どの時間帯にクラスの科目が入っていて、どの時間帯が空いているかというのがわかります。それもチェックしておいてください。斜めになっているのは前期と後期、裏は2回生なので、今は関係ない。お手元の資料は白になっていると思いますけれども、前にお見せしたのは一部グレーに塗っています。これは何かというと、学部の科目が1回生でも幾つか入っているの、グレーのところは学部の科目があつたりしますよということです。だから、学部の科目もあるのだということを理解して動いてください。

(履修の手引き参照)

それでは、時間割のつくり方を説明します。今、クラスを確認してもらいました。履修のときにどれだけの単位を取らなければいけないのかというのをまず理解してください。それから、あらかじめ定められている科目が2つあって、クラス指定科目と学部の科目の曜時限を確認して、まずここを埋めます。クラス指定されていても取らなくてもいいものもあるので、それは皆さん方がどういう取り方をするかをある程度自分で決められますから、決めて取ってもらったらいいです。そこが空きますよね。空いたところにはそれ以外の例えば人文・社会系の科目とかを入れていきます。

ただし、急ぐこととして、ポケット・ゼミという少人数で行うゼミ科目があります。大変人気があつてとてもおもしろい科目なのですけれども、これはあらかじめ予備登録というのをしてもらわないといけません。4月8日の9時までに予備登録をしてください。まず空いているところを見つけて、履修したい科目を探して、先に予備登録を済ますということをお願いします。

科目を探すのも、KULASISを使ってシラバスというのを見て探していただきます。

次、不正行為の扱い。試験でカンニングしてはいけないというのは大体の人はわかっていると思いますけれども、レポートでの剽窃、あとで説明しますが、剽窃も試験のカンニングと同じように扱います。それから、それを手伝うこと、試験でカンニングさせた。「おい、見せろよ」「はい」。「はい」と言って協力した人もアウトです。こいつ絶対レポートを写すよなと思って見せてあげたら、見せたほうもアウト。写すなよ、参考にはしていいけどみたいなことなら良い場合もありますが、写すことがわかってレポートを見せるということも不正行為です。大変厳しい対応がとられます。不正行為だと調査して認定されますと、その年の、あるいはその期の、学部によって扱いが違うのですけれども、その期の全単位取り消し。その科目だけではなく、全体の単位取り消しです。あるいは1年間の全単位取り消し。事実上留年です。1科目でも不正行為をやってそれで処罰をされると、事実上留年しますので、絶対やらないでください。特にレポートでの剽窃、安易なコピーはレッドカードです。他人の文章とか着想をあたかも自分のものであるかのようにして使うことを剽窃、盗用とか盗作といいます。社会的な倫理に反する行為ですし、学問はこれがあると成り立たないので、我々は大変厳しくこれに対応しています。

もう一つ、引用というのがあります。誰それはこんなことを言っているけれども私はこう思う、これは引用なのです。引用していただくことは構いません。いろんな人の知識の積み重ねの上に皆さん方がものを考える。ただし、適正なやり方をしなければ、剽窃と区別がつかなくなるので、これは剽窃だと言われてしまいます。まず、引用ばかりで自分は何も書いていない。こんなのは引用と言いません。もう一つ、どこを引用しましたということを明記してください。ここからここまで引用しています。括弧でくくるとか、段を下げるとか、そういうことをやって引用箇所を明示してください。それからどこから持ってきたかというのを出典といいますけれども、それを明記してください。インターネットだとURLとか、ページのタイトルとかを書きます。それから、一切変えないでください。もとの引用した文章を変えないというのがルールです。誤字があっても変えてはいけない。そのまま引用してください。それからもう一つは、公表されていること。例えばメールでもらった意見は公表されてないですよ。個人から個人へ伝える。そうすると、その人は公表されることを知らないわけですから、もしメールでもらった意見をレポートで使いたいときには、くれた人に君の意見だけど大事だと思うので書いていいかと許諾をもらわないといけません。原則として公表されているものを引用してください。

ちょっとビデオを見てもらいましょうか。

(ビデオ放映：大学 ICT 推進協議会 情報倫理デジタルビデオ小品集5、第18話 レポートのズルはデンジャラス)

もう何をやっちゃいけないかわかりますよね。しないでください。

では、あと簡単にKULASISでどんな操作をしないといけないのかというのをご紹介します。お手元にコンピュータがないので、大体こんな感じだということを理解してもらったらいいです。具体的な操作はKULASISの冊子に書いてありますので、実際にやるときにはこれを見てやってください。

大事なこと、1回生はめっちゃめっちゃ忙しいのです。スケジュールを確認しましょう。まず、4月8日の9時、事実上4月7日までにポケット・ゼミの予備登録を済ませてください。それから7日に入学式があって、8日から授業が始まります。履修に制限のある科目というのが幾つかあります。その申し込みがそこから1週間、青い矢印（スライド資料：17枚目）です。だから、まずポケット・ゼミ、それから授業が始まりながら履修制限のある科目の申し込み。ポケット・ゼミは皆さん方の希望を調整して始めますので、1週間おくれて15日から授業が始まります。それからその次の週、17日から履修登録をKULASISでやってもらいます。登録してないと授業に出ていても単位をもらえません。先生に泣きついても基本的にだめですので、ちゃんとKULASISで登録してください。18日にTOEFLのITPのテストがあります。後で金丸先生からこんな試験だよというのを教えてもらいます。それをやってもらいます。4月末ごろに黒い矢印かな、履修登録の確認と修正があり、皆さん方が取る科目というのが決まります。5月1日に科目が最終的に決まって、前期の間はこれで勉強しますというのが決まります。5月1日、さっきも言いましたように、月曜日の授業ですから間違わないでください。

このスライドは教育院のWebページに上げてあるので、教育院のWebページを見てください（URL：<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/information/show/3190>）。KULASISを利用する基本です。科目の履修に関する連絡・登録・確認を行うためのシステムです。メールアドレスを登録してください。各種の通知を皆さん方にメールでも送りますので、メールをチェックしてください。それからKULASISのWebサイト、当座はしょっちゅう使うと思いますけれども、それを定期的に確認してください。

まず、連絡先を登録できます。学生用のメール、支援機構ガイダンスで講習がありますがけれども、皆さん方に大学からメールアドレスが提供されますが、それは自動登録されています。それ以外に、携帯とかスマホのメールアドレス等を登録しておいてください。急ぎで連絡することもあるので、きちんと情報が拾えるようにしておいてください。「お知らせ」でいろんなお知らせをお伝えします。

学内の掲示板、吉田南構内正門を入ったところに吉田南1号館というのがあります。事務室の前にいっぱいいろいろなものが貼ってある掲示板と、それからきょうの授業でこれは休講になりましたみたいなことを通知しているディスプレイがありますので、そこもあわせて見ていただければと思います。

それから、授業の中身、これから取る授業をどうやって調べるのかというのは、KULASISで自分の取りたい時間だとか科目の種類だとかを指定して検索をかけると、取れる科目の一覧が出てきます。それでどんな授業をするのか、これ試験するの、レポートなのかというのが見える講義計画書のことをシラバスといいます。どんな授業があるかという情報、それを見て決めてください。シラバスは授業を受けている最中も見て、次、こんなことをするのだなということを理解しながら授業を受けてもらったらいいと思います。

その後、履修登録をしてください。登録をしない場合、授業に出席していても単位はもらえません。きょうお集まりの皆さん、全学共通科目はKULASISで履修登録をします。理学部と医学部の学部科目についてはKULASISを使いませんので、学部学科に履修届けを出してください。それ以外の学部は、学部科目は別のページですけれども、学部科目の登録もKULASISでやってください。

履修登録ステップ1で時間割をつくります。登録を4月17日からさせていただきます。修正・確認をして、5月1日に確定します。

事前手続きについて、スポーツ実習、それからポケット・ゼミは先ほど言いました予備登録をしてください。スポーツ実習を取りたいと思う人は、1回目に体育館のメインフロアに集合してください。その他にも履修人数を制限している科目があります。例えばこの部屋がいっぱいになるような科目だと人数を制限しないとイケないので、それを確認して申請を受け付けてもらってください。それから実験実習科目とか、そういう科目があるので注意してください。ポケット・ゼミの予備登録はもう始まっています。8日の9時までには予備登録をしてください。人数制限の科目についてはKULASISで情報をチェックしてください。

次に、時間割をつくります。時間割、予備登録で幾つか登録できたと思います。だんだん自分が本当に取る科目を決めていきます。履修登録を4月17日から21日にやりますが、最終日は、かなり混みます。サーバーが返事できなくなるので、早目に動いてください。登録科目を決定してもらったらいいです。それから、調整が入ったりするので、確認・修正期間があり、最終的に確定されます。これで皆さん方の時間割が決まります。

あと幾つか。前方に座っている先生の頭上に白いボックスがありますけれども、ほかの部屋も教室の入り口のところに白いボックスがあると思います。これは学生証をピッと当てるという授業の出席をとるシステムです。英語I、皆さん方が取る英語では基本的にこれで出席をとることをお願いしていますので、授業開始15分前から開始後15分間かの間にピッと当ててください。緑になったらオーケー。赤だともう一回やり直してください。だから、学生証を忘れないでください。

もう一つ、全学共通科目は比較的安全な科目が多いですが、化学の実験をしたり、あるいはスポーツ実習をしたりします。なので、安全について少しだけお話をします。

まず三原則、安全は全てに優先します。単位が取れなからうが、留年しようが、我々は安全を優先します。怪我をさせない、命を失わせないことが最優先されます。ルールを守ってください。ルールを逸脱して危険な目に遭うというのは許されることではありませんので、必ずルールを守ってください。自分の身は自分で守ってください。危険だと思ったら自分の身は最後自分で守ってくださいね。我々が提供している科目の中でちょっと注意してほしいというのはスポーツ実習、それなりに怪我をされる方が出ています。それからサイクリングとかウォーキングで外へ出る場合は、ほかの方に怪我をさせたりという危険性もあります。

それから実験の科目、比較的安全な実験を設計していますがけれども、何かあるとイケないので、先生の指示に従って実験をしていただかないとイケません。こういう科目については学生教育研究災害傷害保険とか学研災付帯賠償責任保険、書類が送られていると思いますが、これに加入することが義務づけられています。万が一のときに皆さん方を最後金銭的にサポートするために保険に入っておいてください。

それから、次に、気象です。時間雨量50ミリを超える雨が京都周辺でも発生しています。何で50ミリがイケないかというと、下水の排水が追いつかない。下水の排水は時間雨量50ミリぐらいで設計されているので、これを超える雨が降ると溢れてきます。水浸しになります。こういうことが最近起きるようになっていきます。我々は特別警報と暴風雨警報のと

きに授業・試験の休止、延期をします。風が吹いていると通学していただくことが危険です。特別警報が出たらとにかく授業をやめますし、暴風雨警報、警報の中でも暴風雨警報のときには授業の中止などを行っています。履修の手引きに書いてありますので、警報が出ているなどと思ったら、それを見て皆さん方のご判断をお願いします。

それから地震、もう高等学校、中学校で地震の避難訓練とかを受けているので、地震が来たときにどうしたらいいかというのは皆さん方よくご存じだと思います。ただ、知っておいてほしいのは、この辺は大変危険なのです。このすぐ横に花折断層という断層が通っていきまして、農学部グラウンドへ行くと断層そのものが見えますけれども、札つきの断層です。その断層が動いたときのハザードマップ、どれくらい揺れるかというのを京都市がマップを出してくれているのですが、京都大学のエリア、よくて震度6強、半端じゃないです。一部震度7。花折断層は本当にいつ動いてもおかしくない断層だと言われているので、そういう地震が来る場所だということをまず理解してください。ほとんどの校舎は耐震改修を終わっています。皆さん方が校舎にいる場合は、天井からものが落ちてくるかもしれないので、頭を守っていただく必要がありますが倒壊するおそれはほとんどありません。まず室内で揺れがおさまるのを待ってください。揺れがおさまったら吉田グラウンドを退避場所にしていますので、退避してください。

それから、皆さん方がこれまでと一番違うのは、ひとりで暮らしている方が多くなっています。ですから、自分の下宿、アパートが安全なのかどうなのか、どうしたらいいのか。それから万が一のときのご家族との連絡をどうしたらいいのかというのを確認しておいてください。そういうことをこの地震対応マニュアルに書いています。これまでの知識は当然必要ですが、ひとり暮らしを始めている人が多いので、そこを注意してください。

それとお手元にレトルト食品があるよね。これは何かというと、地震が来たとき、大規模災害が起きたときのためにしばらく学内で滞留できるように食品を備蓄しています。それを年に1回入れ替えるのです。入れ替えたなら入れ替えた先の行き先がないので皆さんにあげますということです。まだ大丈夫ですから持って帰ってください。

最後、相談窓口のビラも入れていたと思いますけれども、履修で、もしご相談したいことがあれば、4月8日から10日、お昼休みと10日の夕方、吉田南1号館の会議室で皆さん方の相談に先生方が乗ってくれます。ちょっとどうしたらいいのかわからないことがあったら来てください。いいかな。

今、聞いたことで関係しそうなことをアンケートに書いて、次の英語の説明を聞いてください。

※4月3日(金) 理学部、医学部、薬学部、農学部を対象に実施したものをまとめたものである。

## 全学共通科目の履修・ KULASISの利用について (2015年4月)

国際高等教育院  
副教育院長 喜多 一

### ガイダンスで参照する資料

- KULASISハンドブック(小冊子)
- 全学共通科目履修の手引き
- 教養・共通教育通信、「学びのプレーブック」

### 単位制度について

- 大学の授業では科目ごとに単位が発給されます。
- 半期1コマ(90分、15回)の授業で発給される単位数  
講義、演習系科目 → 2単位  
実験、実習系科目 → 1単位
- 期末試験、期末レポートあるいは平常点で評価され、科目に合格すれば単位が取得できます。
- 要件を満たすように単位を取得すれば卒業です。

履修の手引き  
178 ~ 205 ページ



あなたの学部・学科の全学共通科目の卒業要件を確認してください

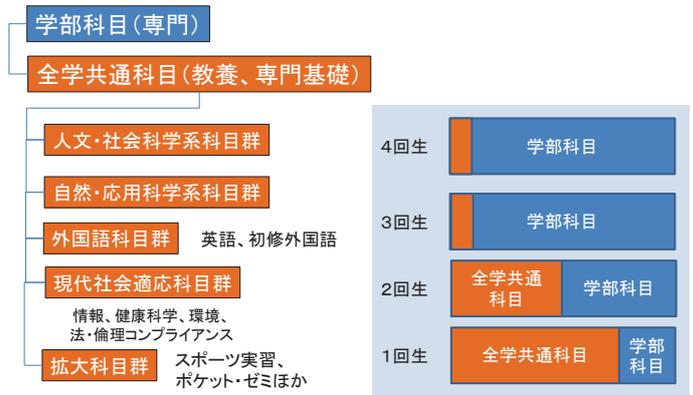
### 学年暦と授業時間

- 授業の時間帯、開始から終了(試験)までの日程を確認してください。
  - 6月18日は創立記念日でお休みです。
  - 曜日振替があることに注意してください。5月1日は月曜日の科目の授業を行います。
  - フィードバック期間は試験の講評などに充てられます。担当教員の指示に従ってください。

## このガイダンスの概要

- 京都大学での学部教育の科目構成
- 単位制度について
- 学年暦と授業時間
- 時間割の構成のしかた
- 不正行為の取扱い
- 履修登録とKULASISの操作
- 出席登録システム
- 履修における安全
- 相談窓口

### 京都大学での学部教育の科目構成



### 予習・復習の必要性

- 半期1コマの授業で講義なら2単位が発給されますが、大学設置基準では90時間の学習で2単位とされています。なぜ？
  - 授業時間は学習時間の一部です。残りは自学自習することを想定しています。
- 自学自習時間を確保して時間割を組んでください。
  - 履修制限(CAP制と言います)もこのために設けられています。
- 学習方法を自身で考えてください。
  - 学習方法は高校までの経験を振り返って自分で考えましょう。
  - 1コマの授業時間が長いので予習を勧めます

自学自習が基本

授業時間以上の時間を確保！



### クラスの編成とクラス指定科目

- 各学部、学科ごとにクラスを編成しています。
- 1回生向けの英語、初修外国語など、クラスを指定して開講しています。指定されたものを受講して下さい。
  - 英語
  - 初修外国語
  - (理系向けの数学など)自然・応用科学系科目
  - 情報系科目
  - スポーツ実習など

## クラス確認の手順(1)

- クラス割り当ては教務情報システム KULASIS でお伝えしています。
- KULASIS など学内の情報システムは ECS-ID という学生アカウントでアクセスします。
- ECS-ID の有効化をしてください。
  - 学生アカウント通知書にECS-IDと有効化キーが記載されています。



## クラス確認の手順(2)

- 全学生共通ポータルにログインします。  
https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/
- 履修登録などのシステム KULASIS を選びます。



## クラスの確認の手順(3)

- 登録情報からクラスを確認してください

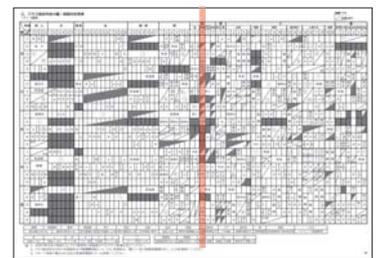


## クラス指定科目の確認

- 履修の手引きを参照

105 ~ 122 ページ

早見表で自分のクラスを確認



空白の箇所でも学部科目が割り当てられている確・時限があります。

クラス指定科目の詳細を確認

## 時間割の構成のしかた

- クラスを KULASIS で確認。
- 履修の手引きで卒業要件を確認。
- 予め定められている科目(クラス指定科目)、学部科目の確・時限を確認。■
  - 卒業要件を勘案して履修する/しないを決めます。
  - クラス指定科目の入らない確・時限で履修制限の範囲内で他の科目を履修します。
- まずポケット・ゼミの予備登録(4月8日 9:00 まで) □
- 空き確・時限、科目分類で科目の授業内容(シラバス)を検索して科目候補を選択、実際に授業にも出ながら時間割を作成。■
- 後期開講、2回生での受講も含めて考えます。



## 不正行為の取扱い

- 試験でのカンニング、レポートでの剽窃は不正行為です。
  - レポートでの不適切な引用も剽窃と見なされます。
  - カンニングをさせたり、剽窃されることを分かってレポートを見せることも不正行為です。
- 不正行為にはその期(年)の全単位の認定が取り消されるなど厳しい措置が取られます。

## 剽窃の防止と適切な引用

– 安易なコピーはレッドカード

- 剽窃: 他人の文章や着想などをあたかも自分のものであるかのように用いる行為のこと。社会的倫理に反する行為です。
- 引用: 自分の論考などの必要のために、他人の著作を紹介すること。
- 適正な引用のしかた: 不適切だと剽窃とみなされることがある
  - 量的にも質的にも本文が主であり引用が従であること
  - 引用箇所を明示すること
  - 出典を示すこと(インターネット上の著作物はタイトル、URL、アクセス日時などで示す)
  - 改変しないこと
  - 著作物が公表されていること

## 履修登録と KULASIS の操作

# 4月中にすべきこと

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	

- ポケット・ゼミ予備登録: ~ 4/8 9:00
- 入学式 4/7,
- 授業開始 4/8
- 履修相談室: 4/8~4/10
- 履修制限申込み: 4/8 8:30 ~ 4/14 17:00
- ポケット・ゼミ授業開始: 4/15
- 履修登録: 4/17 ~ 4/21
- TOEFL ITP: 4/18
- 履修登録確認・修正: 4/24 ~ 4/27
- 情報セキュリティ、コンプライアンス e-Learning の修了 4/30
- 履修確定: 5/1

5/1 は月曜の授業です

# KULASIS 利用の基本

- 科目の履修に関する連絡、登録、確認を行うシステムです。
- メールアドレスを登録することで、メールに各種通知が送信されます。
- メールと Web サイトを定期的に確認ください。

## 連絡先の確認、登録

KULASIS利用には、連絡先(メールアドレス)の登録が必要(携帯電話アドレス可)

## お知らせ

## 学内掲示板



吉田南1号館1階

## シラバス検索

- シラバスとは授業の分類や内容、計画、成績の評価の方法などが書かれたものです。
- KULASIS で曜・時限や分類などを手掛かりに検索して閲覧します。



## 履修登録

- **履修登録手続きを怠った場合、授業に出席しても単位は取得できません。**
- KULASIS で登録
  - 全学共通科目
  - 総合人間学部、文学部、法学部、経済学部、薬学部、工学部、農学部の学部科目
- 所属学部、学科に履修届を提出
  - 教育学部、理学部、医学部の学部科目



## 履修登録

- Step1. 時間割作成(4月2日~4月16日): 候補科目の選択
    - 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
      - ・スポーツ実習
      - ・少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録
      - ・履修(人数)制限科目
      - ・実験・実習科目 など
  - Step2. 履修登録(4月17日~4月21日): 履修科目の決定
  - Step3. 履修登録確認・修正(4月24日~4月27日): 不備科目の確認
- ↓
- 履修登録確定(5月1日)

# 事前手続き

履修登録期間までに事前に手続きが必要な科目

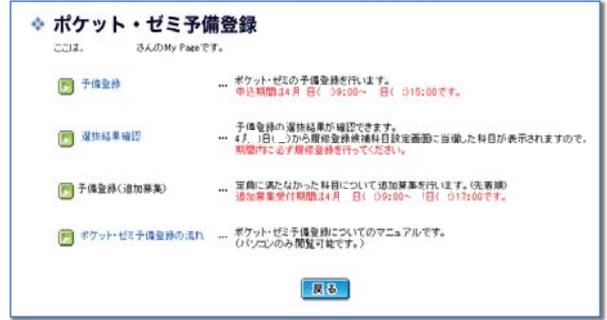


- スポーツ実習  
第1回目授業開始時に総合体育館メインフロア集合
- 少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録  
KULASISで予備登録を行います。  
4月8日 9:00 までに登録してください。
- 履修(人数)制限科目  
KULASIS及び掲示にて制限方法を掲載。  
一部KULASISで申請を行います(申請受付 4/8~4/14)
- 実験・実習科目 など
- 特別履修手続き(4月20日(月)まで)

上記の手続きを怠った場合、当該科目の履修登録はできません

# ポケット・ゼミ予備登録

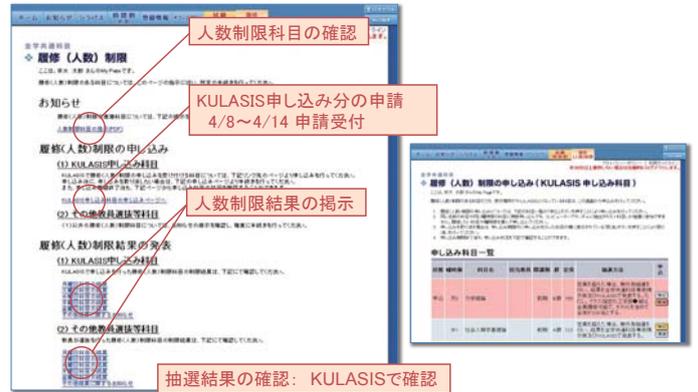
4月2日(木)9:00~8日(水)9:00



# ポケット・ゼミ予備登録



# 履修(人数)制限



# 履修登録(時間割作成)

候補科目をリストアップして授業に出席し、履修科目を絞り込んでください。

Step1. 時間割作成(4月2日~4月16日): 候補科目の選択

- 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
  - ・スポーツ実習
  - ・少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録
  - ・履修(人数)制限科目
  - ・実験・実習科目 など

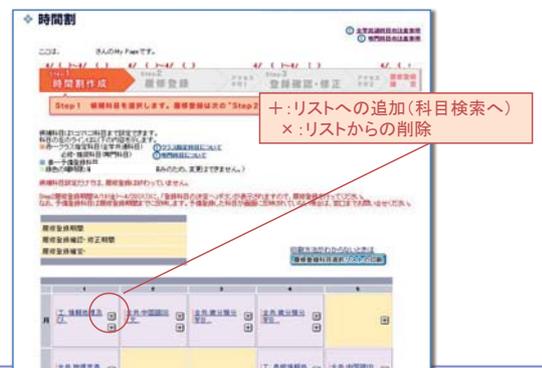
Step2. 履修登録(4月17日~4月21日): 履修科目の決定

Step3. 履修登録確認・修正(4月24日~4月27日): 不備科目の確認

↓  
履修登録確定(5月1日)

# 履修登録(時間割作成)

時間割作成(4月2日~4月16日)



# 履修登録(科目決定)

Step1. 時間割作成(4月2日~4月16日): 候補科目の選択

- 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
  - ・スポーツ実習
  - ・少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録
  - ・履修(人数)制限科目
  - ・実験・実習科目 など

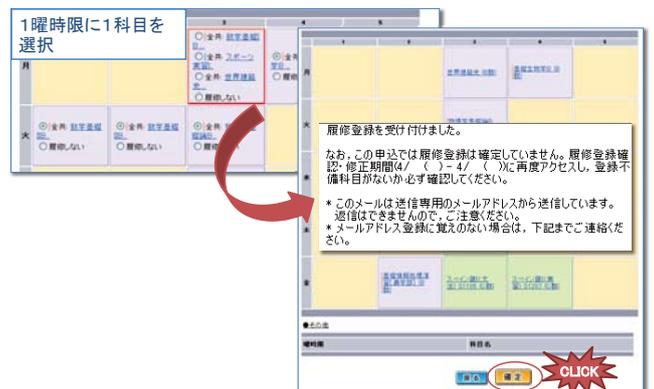
Step2. 履修登録(4月17日~4月21日): 履修科目の決定

最終日はアクセスが集中しますので、時間に余裕をもって登録を行ってください。

Step3. 履修登録確認・修正(4月24日~4月27日): 不備科目の確認

↓  
履修登録確定(5月1日)

# 履修登録(科目決定)



## 履修登録(登録確認・修正)

Step1. 時間割作成(4月2日~4月16日):候補科目の選択

- 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
  - ・スポーツ実習
  - ・少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録
  - ・履修(人数)制限科目
  - ・実験・実習科目 など

Step2. 履修登録(4月17日~4月21日):履修科目の決定

Step3. 履修登録確認・修正(4月24日~4月27日)  
:不備科目の確認



最終日はアクセスが集中しますので、時間に余裕をもって確認作業してください。

履修登録確定(5月1日)

## 履修登録(登録確認・修正)

- ・ エラー科目は履修登録できていません。必ず確認してください。
- ・ **確認・修正期間以降の履修登録は、一切認められません。**

以下の科目はエラーにより登録できませんでした。エラー内容を確認のうえ、登録内容の修正を行ってください。修正を行わなかった場合は上記時間帯の内容で登録が行われます。

科目名	曜時間	教員	エラー内容
建築社会史I	木1		同一開講期に2つ以上の同一科目の登録はできません。
建築社会史II	火3		同一開講期に2つ以上の同一科目の登録はできません。
建築学基礎論I	水3		同一開講期に2つ以上の同一科目の登録はできません。
建築学基礎論II	金4		同一開講期に2つ以上の同一科目の登録はできません。

登録内容を修正する場合は「修正する」ボタンをクリックしてください。修正せずに、このまま登録を確定させる場合は「修正しない」ボタンをクリックしてください。

## 履修登録(確定)

Step1. 時間割作成(4月2日~4月16日):候補科目の選択

- 履修登録期間までに前もって手続きが必要な科目
  - ・スポーツ実習
  - ・少人数教育科目(ポケット・ゼミ)予備登録
  - ・履修(人数)制限科目
  - ・実験・実習科目

Step2. 履修登録(4月17日~4月21日):履修科目の決定

Step3. 履修登録確認・修正(4月24日~4月27日):不備科目の確認



履修登録確定(5月1日)

- 時間割(前期)
- お知らせ・・・履修登録科目に関する情報

## 履修登録(確定)

- ・ 5月1日に履修が確定します。
- ・ KULASIS の授業サポートは確定後に使えます。

全学共通科目  
◆ 時間割

ここは、あなたの履修登録情報です。  
あなたの授業登録情報です。

	1	2	3	4	5
全学共通科目	全学共通科目 C群 共通1	全学共通科目 C群 共通2	全学共通科目 C群 共通3		
専攻科目					
選択科目					

## 出席登録システム

- ・ 英語などの授業を中心に学生証を用いて電子的に授業への出席を登録します。
- ・ 授業開始15分まえから登録できます。
- ・ 学生証を忘れず携帯してください。
- ・ 忘れた方は担当教員に申し出てください。
- ・ 英語以外の授業では担当教員の指示にしたがってください。



## 履修における安全

- ・ 安全の三原則  
安全はすべてに優先する/ルールを守る/自分の身は自分で守る
- ・ スポーツ実習・実験科目・学外で実施される科目
  - 担当教員の指示、シラバス記載事項に従ってください。
  - 保険(学研災・学研賠)への加入が義務付けられています。
- ・ 気象警報への対応(履修の手引き72ページ)  
時間雨量 50ミリを超える豪雨が京都市周辺でも発生しています。
  - 特別警報、暴風警報が発令された場合など授業・試験の休止、延期などで対応します。
  - 履修の手引きを確認して安全な通学をお願いします。
- ・ 地震(履修の手引き73ページ、地震対応マニュアル)  
花折断層地震では大学周辺で震度6強、7が想定されています。
  - 校舎は耐震性があります。まず室内で安全を確保してください。
  - 屋外では吉田南構内グラウンドへ退避、待機してください。
  - 自宅での安全、家族との連絡など地震対応マニュアルに従ってください。



京都市防災マップ、左京区、地震編より  
[http://www.city.kyoto.lg.jp/gyoza/emfiles/contents/0000086/86399/03EA\\_sakyo\\_map\\_jishin.pdf](http://www.city.kyoto.lg.jp/gyoza/emfiles/contents/0000086/86399/03EA_sakyo_map_jishin.pdf)

## 相談窓口

新生履修相談室  
4/8 ~ 10 12:15-12:45  
4/10 16:30-17:30  
吉田南1号館1階会議室 (共106)



● 全学共通科目学生窓口 8:30から18:45

※授業・試験期間以外は17:15まで

#### (4) 英語教育について

国際高等教育院附属国際学術言語教育センター准教授 金丸 敏 幸



国際学術言語教育センター、i-ARRCの金丸です。これから京都大学の英語教育についてお話をしたいと思います。

その前に、先ほど喜多先生の説明の中にもありましたが、4月18日にTOEFLのITPという試験がありますので、こちらの説明をします。これを皆さん全員に受験していただくことになっています。お手元の資料の中に「平成27年度4月 TOEFL ITPの実施について」という1枚もののビラが入っていると思いますので、こちらを見てくだ

さい。

まず対象ですが、英語科目を履修する全ての新生ということになっています。恐らく皆さんほぼ全員の方が英語を履修されていると思いますので、ぜひ受験をしてください。もし受験しないと、後期の英語の履修が認められないことになります。要するに単位を取れなくなって、進学できない、進級できないことになりますので、必ず受験をしてください。もし受験できない場合、4月24日までに先ほどの全学共通科目学生相談窓口まで相談に行ってください。

それから、試験日時ですが、4月18日になっております。今日の学生さん、この時間は理系の学生さんということですが、午前と午後に分かれておりますので、間違えないようにしてください。そこに書いてあるように、理学部、医学部、薬学部の学生さんは午前ですが、入室開始が9時、試験が9時半から始まるので、遅刻しないように気をつけてください。今の時期は朝早くても何ということはないと思うかもしれませんが、1週間たつと人間不思議なもので、9時に起きるのが辛くなって人が出てきますので、絶対に寝坊しないように気をつけてください。農学部の学生さんについては14時、午後2時に入室するということになっていますので、忘れないようにしてください。裏に試験室が書いてありますので、事前にどの教室で受験をするのかについても確認しておいてください。持ち物についてはそちらに書いてありますが、学生証、それからマークシートでの解答になりますので鉛筆、シャーペンを忘れないようにしてください。ボールペンでは採点されませんので気をつけてください。あと消しゴムです。

このTOEFLという試験ですが、聞いたことある人はどれぐらいいますか。ほとんどの人が聞いたことがありますね。受けたことのある人はどれぐらいいますか。何人かいますね。今回、皆さんが受験するTOEFL ITPは後で説明しますが、いわゆるTOEFLという試験の模試みたいなものです。本番の試験というのはどういう問題が出るのか、今、ちょっと聞いてもらおうと思います。このクラスは理系ですが、英語が得意だった人はいますか。ほとんどいないですね。ということは、あとの皆さんは英語が苦手だったということですね。今から聞いてもらう問題というのは、あくまでも最低ラインですので、現時点で自分がどれぐらい英語ができるのかできないのか、感じてほしいと思います。少なくとも2年もしくは4年以内にこれが楽々できるような英語力を身につけられるように一生懸命勉強してほ

しいと思っています。

では、ちょっと聞いてください。

(英語リスニング)

これがTOEFLのスピーキングの問題です。今、聞いてもらったような音声を聞いて、30秒間で解答を用意して、1分間これについて解答することになります。今の話にはここに出ているsocial interactionに関するaudience effectという言葉が出てきます。人に見られていると人間の動作がどう変わるのかということで、2つの実験例が出てきています。講義の中では、靴紐を結ぶという動作が人に見られると速くなるという話が1つ例として挙げられました。もう一つはタイピング、いわゆるキーボードを打つことですが、それが人に見られていると速くなる。先ほどの靴紐の話と同じです。ただし、このタイピングの場合はエラーが多くなるということが挙げられています。この2つがaudience effectの例として挙げられていましたという話を英語でまとめて話さないといけないことになります。これが、皆さんが4年間でできるようにならなければいけない水準ということ。いかに英語をしっかり勉強しないといけないかというのがわかるかと思います。

できないとどうなるかということですが、これができないと、皆さんがこれから研究者なり専門家として出ていったときに、国際舞台で全然話にならない。要するにほかの研究者と話ができないということになりますので、これがまず皆さんの研究者になるための第一歩ということになります。今の自分の英語力の水準と先ほどのスピーキングの問題ができるまでのギャップというのをよく考えて、4年間しっかり勉強してほしいと思います。

今、聞いてもらった問題はTOEFL iBTという試験のものですけれども、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングという4技能がありまして、1科目につき30点の120点満点になります。今回、皆さんが受けるのは、こちらのTOEFL ITPということで、安心してほしいのですが、先ほどのようなスピーキングの問題やライティングの問題はありません。今までセンター試験で受けたようなリスニングとリーディング、そして文法と表現問題というのがありますが、これはいわゆる文法問題です。(スライド資料: 3枚目) 310点から677点で、1セクション当たり31点から67点、もしくは68点までの点数になっています。これの平均点にける10をしたものが最終的な点数になります。

このTOEFLのITPとiBTというのは相関関係にあると言われていています。TOEFL ITPで500点ぐらい取った人はTOEFL iBTだと60点ぐらいだろうと言われていています。(スライド資料: 5枚目) この青地の線のところですが、これは皆さんの先輩方が受けた点数の平均点です。恐らく皆さんが受けてもこの中に入る方がほとんどだと思います。これから後で国際交流推進機構の河合先生に留学の話をしていただきますが、大体海外の一般的な大学に行こうと思った場合、このTOEFL iBTで80点が最低ラインになります。80点取らない限りは留学に行けないと思ってください。その点数を取るためにはTOEFL ITPで大体550点ぐらいが目安で、京大生の場合だと大体10%ぐらいの人が達成します。1回生の段階で10%ぐらいです。ここからスコアを上げる人もいれば、落とす人もいます。落とす人が多いので、ぜひ皆さんこれから4年間しっかり勉強してください。

さて、大学の英語教育がこれまでとどう違うのかということについて、皆さんは難関の

京都大学入試をくぐり抜けて入学するわけですが、そういう意味では、皆さんの英語力は日本の中では恐らくトップクラスです。先ほどのTOEFLの点数でも、平均点500点というのは日本の中ではトップクラスの点数です。ただし、これはあくまでも中学、高校までのゴールです。大学に入ってからまだ英語を勉強することがあるのと思っている人がいるかもしれませんが、たくさんあります。心配しなくてもたくさんありますので、しっかり勉強してほしいと思います。これから専門、それから大学院に進学して、皆さんは研究者、専門家になっていくわけですが、大学での英語教育はそこで求められる英語を学ぶ出発点です。ここで自分が英語ができる、京大の入試に合格したから、英語ができるのだと思っている人はいつまでたっても伸びません。ほかの大学に合格した学生からどんどん抜かれていってしまいます。皆さんはここまで頑張ったわけですが、ここから先いかに頑張るかということがこれからの皆さんの人生を左右する大きな一歩になります。

京都大学の英語教育ですが、京都大学で学ぶ英語は入試のための英語や一般的な英語を学ぶのではなくて、学術研究に資する英語です。英語ではこれをEnglish for Academic Purposes、EAPと呼びますが、学問研究のための英語を京大の英語として勉強することになります。これは学術的教養と学術的言語技能から成り立つわけですが、この学術的言語技能は何のことかということ、例えば皆さんは1回生でリーディングとライティングの授業を取るわけですが、その中で英語の論文というものを読む機会がふえていきます。したがって、それを読むためのテクニックとか知識とかを身につけてもらうことになります。当然読むだけではなくて、将来皆さんのレポートなり論文なりを書くときもだんだん日本語から英語になっていきます。その論文を書くためのルール、そういったものももちろん勉強します。場合によっては、今、TOEFLの英語の講義の一部みたいなものを聞いてもらいましたが、英語の講義を聞くための技術とか、それからどうやってそれをノートにとって自分の糧にしていくかとか、そういったものについてもこの言語技能の中には含まれています。

特にリーディング、読む技能以外に大事なこととして、語彙があります。皆さんは今まで入試用の参考書や、単語帳で単語を勉強してきたと思います。単語がわからないと英語はわかりません。学術英語でもやっぱり大事なものは単語になります。これをまずしっかり身につけてほしいと思います。英語のライティングのクラスで語彙集が配られることもあります。京都大学には、学術語彙集、大学でつくった学術用の単語集がありますので、それをまずしっかり単語の勉強をしてほしいと思います。よく言われることですが、語彙を制するものが英語を制するという言葉があります。まずはしっかり単語の勉強から英語の勉強をこつこつと始めてほしいと思います。

あとは余談ということになりますが、この中には例えば自分は研究者になるわけではないから大学の英語は必要ないと思っている人がいるかもしれません。けれども、研究者にならないからといってこういう学術英語が必要でない、ということそうではありません。今の世の中どんなところに行っても英語が必要になります。技術者になろうが、それから一般の会社に勤めようが、ほとんどの人が世界とやりとりするような状況になってきています。20年前、30年前だったらそんなことは余りなかったわけですがけれども、今、皆さんがいる世界というのは、インターネットで1本つながればすぐ海外の人とやりとりをする時代になっています。

理系の学生さんは研究者になりたいという人が多いと思いますが、例えばここ（スライ

ド資料：10枚目）に挙がっているさまざまな機会、これらには全部英語が必要です。うんざりするかもしれませんが、研究室によってはこういうことを全部英語でやっているところがあります。そのための英語力が身につけていなければ、研究室に入ってせっかく専門の勉強ができると思っても、英語の勉強からしないといけないうことになりかねません。それからもちろん研究者にならなかったとしても、専門家としても、いろんな仕事についても、全部英語が必要ということになります。なので、ようやく大学に入って英語から逃げられる、特に理系の皆さんは英語が苦手な人が多いと思いますが、理系の皆さんほど英語が必要になります。ちょっと理系を選んだことを後悔している人もいるかもしれませんが、理系の人ほど英語からは逃げられないというふうに思っておいてください。

最後、ちょっと簡単に京都大学の英語のカリキュラムの説明をして終わりたいと思います。まず1回生、これはクラスというのが英語で決まっているのがほとんどですが、リーディングとライティングです。これは学術英語の出発点として、多くは英語論文、英語のレポートといったものについての基礎を学ぶことになります。それから2回生になりますと、ちょっと選択肢がふえます。リーディング、ライティング以外にもスピーキングとか、リスニングのクラスがふえてきますので、自分の興味・関心に従ってより英語力を深めてほしいと思います。

それから、最後にもう1点だけ紹介なのですが、今、**Liberal Arts and Science through Learning English**、英語で学ぶ全学共通科目というのがあります。京都大学ではこういうふうに英語で一般の教養科目が学習できるようになっています。これらをぜひ積極的に受講してほしいと思います。最初はレベルが全然足りない、英語力が全然足りない、歯が立たないと思います。ですが、それにチャレンジして、それについていってこそ専門の道が開けると思ってください。逆に言うと、これについていけないと世界で皆さんが一流の研究者、専門家として戦っていくには力不足だということですので、恐れずにぜひ積極的に授業に参加してほしいなと思います。

まず4月18日のTOEFLの試験、頑張ってください。英語教育については以上です。

※4月3日(金) 理学部、医学部、薬学部、農学部を対象に実施したものをまとめたものである。

# 京大英語の WHAT・WHY・HOW

なにをするか    なぜするか    どのようにするか

京都大学 国際学術言語教育センター  
金丸 敏幸



## TOEFL iBTとTOEFL ITP

TOEFL iBT	TOEFL ITP
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>I</u>nternet-<u>b</u>ased <u>T</u>est</li> <li>● 受験料：\$230</li> <li>● 試験内容： Reading, Listening, Speaking, Writing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>I</u>nstitutional <u>T</u>esting <u>P</u>rogram</li> <li>● 受験料：4,000円程度</li> <li>● 試験内容： Listening, Structure and Written Expression, Reading</li> </ul>



スコアに強い相関あり



## TOEFL ITPのスコア計算

セクション	得点
リスニング	31~68
文法・表現	31~68
リーディング	31~67
合計	310~677

合計点 = 各セクションの合計 ÷ 3 × 10  
≒ 平均点

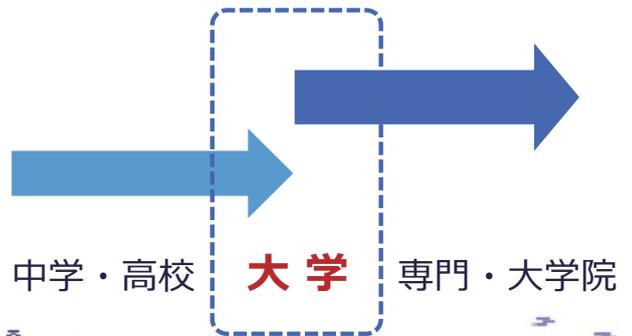


## ITPとiBTのスコア換算

TOEFL ITP	TOEFL iBT
640~677	111~120
590~637	96~110
<b>550~587</b>	<b>79~95</b>
513~547	65~78
<b>477~510</b>	<b>53~64</b>
437~473	41~52
397~433	30~40
347~393	19~29
310~343	9~18
310	0~8



## 大学英語教育の位置づけ

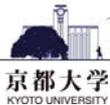


## 京都大学の英語は……

「**学術研究に資する英語**」  
English for **A**cademic **P**urposes



「**学術的教養**」  
と  
「**学術的言語技能**」



## 「学術的言語技能」とは？

- **リーディング**：  
論文の**ルール**（引用や脚注等）や論文の構成要素を学ぶ
- **ライティング**：  
英作文（和文英訳）ではなく、**構造化**された英文を書く
- **リスニング**：  
講義で使われる**言い回し**やノートの取り方を身につける
- **スピーキング**：  
ゼミでの発言や**プレゼンテーション**の方法を練習する



## Why “Academic”?

研究者にならなければ「**学術英語**」は必要ない？

→ **NO !!**

高度に国際化・情報化した現代において  
知的労働を行う者への**高等教育は必須**



9

## 研究者として……

- 論文を読んで、研究動向を調べる (リーディング)
- 学会に参加して、講演や発表を聴く (リスニング)
- 実験をして、ディスカッションをする (スピーキング)
- 実験結果をまとめて、学会で発表する (スピーキング)
- 一連の研究をまとめて論文を投稿する (ライティング)

→ あらゆる場面で「**(学術) 英語**」が必要！



10

## 専門家として……

- 報告書を読んで、データをまとめる (リーディング)
- 電子メールで会議のアポイントをとる (ライティング)
- 会議に参加して議論する (スピーキング・リスニング)
- 専門的見地からアドバイスを提案する (ライティング)
- 解決策のプレゼンテーションを行う (スピーキング)

→ あらゆる場面で「**(学術) 英語**」が必要！



11

## 語彙の重要性

- リーディングにおいて
  - 未知語は**2%以下**でないとも内容理解は困難
  - 論文の95%を理解するには**4,000語**が必要
- ライティングにおいて
  - 単語が分かると**全体の構成**に目が向く
  - 文を完成させるための**動機づけ**になる

**語彙を征する者は英語を征す**

Academic vocabulary knowledge ... has(ve) been **directly linked to** academic success, economic opportunity, and social well-being.



12

## 英語I (1回生対象)

- アカデミックリーディング (E1R)
- アカデミックライティング (E1W)

→ 学術英語の**出発点**として  
「英語論文」について学ぶ



13

## 英語II (2回生対象)

- アカデミックリーディング (E2R)
- アカデミックライティング (E2W)
- アカデミックリスニング (E2L)
- アカデミックオーラルプレゼンテーション (E2P)
- セミナー/ディスカッション/ストラテジーズ (E2P)
- テストテイキング (E2T)

→ 自らの興味と関心に仕がって  
学術英語の**言語技能**を深める



14

## 「英語で学ぶ全学共通科目」

「**英語を学ぶ**」のではなく「**英語で学ぶ**」

- 海外の大学と**同じ水準**で学ぶことができる
- 学術英語を**実践的に**身につけることができる
- 留学生とも**積極的に**交流することができる



15

## 国際学術言語教育センター (i-ARRC)

「英語で学ぶ全学共通科目」を支える  
**実践的な英語運用能力**育成のための組織

「国際言語実践教育プログラム」の実施

- 専門家による一人一人に合わせた**アドバイス**
- e-Learningによる多彩な**英語教材**の提供
- 学期ごとの振り返りや**達成度**の評価



16

## 国際言語実践教育システム(GORILLA)

---

- **e-Learning** (講義を活用したオンライン教材)
  - 「英語で学ぶ全学共通科目」の講義収録・視聴
  - 「英語で学ぶ全学共通科目」を素材とした自学教材
- **e-Portfolio** (成績や成果物の一元管理)
  - 外部試験や学内試験などの成績一覧
  - 授業で提出したレポート等の一元管理
  - ソーシャル機能を活用した語彙学習



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

**GORILLA**  
Global Online Resources for  
International Language  
Learning Assistance



17

## (5) 留学について

国際交流推進機構 長山浩章 教授  
国際交流推進機構 河合淳子 教授

皆さん、おはようございます。国際交流推進機構国際交流センターの河合淳子と申します。よろしくお願いいたします。

きょうは国際交流とか留学の話をしたと思います。私自身は京都生まれの京都市育ちで、今、京都大学で仕事をしていますのでかなりドメスティックな経歴ではあるのですが、仕事は国際交流センターで留学生に囲まれてインターナショナルなことをしております。それで、私自身も2回留学した経験があります。1回目は高校時代、皆さんより少し若いころにしました。2回目はアメリカのカリフォルニア大学のバークレー校の大学院で学びました。この2つの経験から考えても、留学はすばらしい経験です。ですので、皆さんにぜひ一生に1回は経験していただきたいものだと考えております。その理由はおいおい話していきますけれども、きょうは20分ということですので、京都大学はどんな留学のチャンス、国際交流のチャンスがあって、どういう準備をしていただきたいかということの話をしたと思います。

その前に、なぜ留学・国際交流を勧めるかということのお話をしたいと思います。まず、京都大学の理念の1つにこのように書かれています。「世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する」。その主役は学生の皆さんです。このミッションを実現するために、留学・国際交流というのは非常に大事な要素となってくると思っています。

留学すると色々ないいことがあります。ここに幾つか挙げておりますけれども、留学しますと、これまで出会うことのなかった新しい価値観に出会うということ、それから先進的な学問に触れられる。それから多くの友達と出会う。それから将来のキャリアにつながるような経験ができるということです。この中でも特に私は人との出会い、多くの友人と出会うということは留学のかけがえのない意義だなと感じています。留学することによって、日本にいたのでは絶対に出会えないような人たちに出会うということ、当たり前のことですけれども、そういうチャンスがあるというだけでも意義深いことだと思えます。

それからもう一つ、よく言われることですが、日本文化・日本語。つまり、今まで自分が身につけてきた文化とか考え方を改めて見直してみるという経験ができるということです。留学しますと、その土地の人から日本について聞かれますし、日本にいても留学生からいろいろ日本のことを聞かれることがこれからあると思います。そのときに意外と相手にわかりやすく説明できないですね。日本語について、日本文化について質問されたときに答えられない。例えばきょうは桜が満開でしたけれども、桜がハラハラ散っている。花びらが少し散り始めています。ハラハラとヒラヒラはどう違いますかと言われたとき、何となく違うなというのは日本語ではわかるのですけれども、それをまず日本語で説明するのが難しいですし、英語でと言われるとちょっとホープレスな感じになります。それを中国語でということになってくると、どんどん難しくなっていくわけです。そういうことで日本文化・日本語の再発見ができるということです。

次のスライド(省略)も同じようなことを言っています、留学を通じて外に出てみる

ことで、これまで当たり前だと思っていたことを疑うことができるようになってくると思います。そのことは皆さんのものの見方を豊かにして深めていくことにつながると思います。

この留学・国際交流が必要だということに絡めて、皆さんを取り巻く環境について3点申し上げたいと思います。一つは、教育の国際化が今、世界的に非常に進んでいるという話です。学生の国際移動が非常にふえてきています。つまり留学する人たちがふえているということです。一昔前、三、四十年前は発展途上国から先進国へ留学するという流れが主流だったのですが、今はそういう流れだけでは説明がつかない多くの流れが出てきています。例えば、ヨーロッパのエラスムス計画、これは外国で取った単位が自分の国でもカウントされるという単位認定のシステムを含んだ留学促進計画ですので、これを利用してヨーロッパの学生たちは動き回っているわけです。中国の高水平というのは中国のトップレベルの学生を外に出す政策で、京大にも来ています。アメリカはこれまで留学生を受け入れるほうの国だったわけですが、今、自分の国の学生をどんどん派遣するというのをやっています。ハーバードでも数名に1人、今のところ9名に1人の学部生が4年間の間に必ず海外に留学すると言われていています。こういう形で世界中の学生が動き回って、国際経験を積んでいるという状況です。その中で皆さんだけ日本にじっとしていることができるのかということです。

それから研究に関しては、教育より一層国際化が進んでいます。先ほど学生が動いていると言いましたが、大体年間400万人の学生が海外で学んでいると言われていて、研究者を含む高度な人材が研究目的で動いているのはその10倍とも言われています。それはなぜかといいますと、最近の研究課題というのはグローバルな課題が多くて、一国だけで対応するというのは難しい。環境問題とか金融危機などもそうですし、iCeMSなどの自然科学のエリアでもそうです。ですので、国際的な成果を得るためには国際的な連携というが必要になってくるのです。

もう1点なのですが、これは長山先生がつくられたグラフ（省略）ですので頑張って説明したいと思いますけれども、このグラフは世界の主要五か国、中国、インド、米国、日本、英国のGDPのシェアの推移を西暦、向かって左が0年、右が2050年で表したものです。（注：1998年まではAngus Maddison (2006)、2010年は世界銀行：世界開発指標 (WDI)、2025年、2050年はゴールドマンサックス(2007)の予測) こういう計算をする人がいるのかなと思いますけれども、例えば赤の国、わかるでしょうか。西暦0年から1800年ぐらいは大きなシェアを誇っていて、だんだん小さくなって、また最近広がっているという国です。ちょっと右側に答えが書いてあるのですが、これは中国です。右下のブルー、1800年ぐらいから登場して、ガッとシェアを伸ばして、今、少し落ち着いた感じになっているという国、これはアメリカです。紫がインドで、上のブルーがイギリスです。緑の部分が日本です。右寄りのちょっと下の部分、1980年代から2000年あたり、日本は経済の調子がよくて非常に大きなシェアを誇っていたことが示されています。しかし2050年にはこんなに小さくなる、数%になると予測されています。このグラフから何が言いたいのかといいますと、大きなシェアを誇っていたときは黙っていても世界が日本の意見を聞いてくれるのです。小さくなってきますと、しっかりとした英語で、しっかりとした経験に基づいた発言をして振り向かせないといけないということです。だから、皆さんにはその力をつ

けていただかないと、日本が危ういということです。

もう一つこういうデータもあります。これはTOEFLのスコア、先ほど金丸先生のお話に出てきた英語スコアですけれども、2008年と2013年、5年間の変化を見たものです。日本はほとんどランキングも得点も、少し得点は上がっていますけれども、ほとんど変化はありません。136位から135位です。最下位に近いところです。韓国は78点から85点、ランキングは89位から58位と上げています。先ほどTOEFL 80点が留学の基準だという話がありましたけれども、韓国は平均でそれを上回っているという状況です。将来社長さんが外国人になることもあります。中国の人、韓国の人が出てくることもあるかと思えます。

以上が皆さんを取り巻く環境ですけれども、京都大学でどういうチャンスがあるかという話に移っていきたくと思います。これから私が話しますのは、国際交流推進機構が全学向けに提供しているプログラムです。皆さんの学部にはまた特別なプログラムがあるかもしれませんので、皆さんの学部のプログラムもチェックしてみてください。

それで、きょうの資料の中に2つ国際関係のものが入っています。一つは「海外留学の手引き」という本です。もう一つは「留学支度」という薄いものです。この2つを合わせてご覧ください。

最初のスライド（省略）は、京都大学でできる留学とか国際交流とかのリストなのですが、細かいことは後で説明しますが、交換留学、私費留学、それからKCJS、SJCの英語講義、それから国際交流科目、英語研修、東アジア超短期プログラム、いろいろあります。これで何が言いたいかといいますと、こういうプログラムは大学がかかわって、それなりに苦労してつくっているいいプログラムです。ですので、このプログラムを大いに活用してください。英語が必要なものもあるし、必要ないプログラムもあります。

まず、交換留学の話をしておきます。これは半年から1年間、京大が協定を結んでいる大学に行くというプログラムです。京都大学に授業料を払っていれば、留学先の授業料は払う必要はありません。留学先の単位を京都大学の単位に認められるケースも多いですので、これは皆さんの所属学部によって違いますので、皆さんの所属学部にご相談してください。最近、単位を取って帰ってきたら京大の単位になるかどうかという審査が事前に受けられるようなシステムも整ってきていますので、そういうシステムも使いながら、留学先の単位を本学の単位と認められるケースが多いということを理解しておいてください。

京都大学は23カ国68大学、かなり多くの大学と協定を結んでいまして、協定を結んでいるということは皆さんこういう大学に留学するチャンスがあるということです。何卒、何人行けるかということは、この海外留学の手引きのところにリストがあります。2人から5人ぐらいですけれども、リストになっていますので、ごらんください。

あとは交換留学をするためにはやはり英語力が必要です。TOEFLと、もう一つ同じような英語力テストなのですが、IELTSというイギリス系の英語テストがあります。ほとんど違いはないのですが、1つ大きな違いはスピーキングのセクション、TOEFLのスピーキングは先ほど金丸先生のご講演にありましたように、あれはコンピュータに答えるのです。IELTSのほうは人が出てきて面接をします。ですので、日本人とか京大生はIELTSのほうの方が点数が比較的出やすいと言われていました。

交換留学で各校が要求する最低点を示しています。ペンシルベニアの100点から各大学が並んでいます。過去の京大生の平均が60点とか70点のあたりとおっしゃっていますので、

このあたりです。

同じような図ですけれども、これは縦軸に実際の学内の応募者の点数を取ってあります。横軸は最低の合格の基準です。これは何を見ていただきたいかといいますと、80点から90点のあたりに、赤い玉が団子状態です。だから、80、90で応募することはもちろんできますけれども、競争相手が非常に多いということです。100点になってくると頭1つ抜ける感じになり、いろんな場所に選択肢が広がるということです。ですから、まずは80点を目指していただいて、受験勉強が終わったところで恐縮ですけれども、最終的には100点超えを目指してほしいと思います。

それから、英語圏だけではなくて、その他の語学圏でも英語で留学できる場所があります。スウェーデン、オランダ、シンガポール、香港、トルコなどです。それからもちろん英語以外の言語、初修外国語を皆さん習うと思いますけれども、それをマスターして、その現地の言葉を駆使して留学していったという先輩方もいます。それは非常に素晴らしいことです。現地の言葉を知ることによってその土地の人と話ができるわけですから、世界が広がりますし、本当に文化も理解が深まると思います。

次、2枚のスライド(省略)は、1回生で交換留学を志す場合のタイムスケジュールです。これについては4月22日に交換留学説明会というのがお昼にあります。そこで詳しく話しますので、きょうは幾つか大事な点だけ申します。留学の準備は早くしてください。2回生で交換留学に行くのを我々は勧めたいのです。なぜかといいますと、3回生になりますと、理系の皆さんは特に実験が入ってきたり、必修の専門科目が入ってきたりします。ですから、2回生で行こうと思います。1回生から応募しないといけないということなのです。最初の募集がこの7月から10月頃の間にあります。早速あります。それを逃しますと、次は来年の2月から4月です。来年の2月から4月になると、2回生の1月の可能性もありますけれども、出発は3回生になってしまいます。そういうことで、7月から10月に本当に関心がある人は応募できる態勢を整えておいていただきたいのです。これも所属学部によって状況が異なりますので、先生と相談したり、先輩の様子を見たり、各所属の学部に相談してください。

今までは交換留学の話でしたけれども、ほかのチャンスのお話もしたいと思います。夏休み、春休みを利用して、東アジアやASEANの国々、ベトナム、タイ、インドネシアに二、三週間、短い留学をするというチャンスがあります。これは単位のことも気にせずに行けますし、留年とか気にせずに行けますので、お勧めです。そして現地の人と、現地の学生と交流するプログラムもたくさん用意されていますし、また現地の言語も学びます。東アジアプログラムは交換留学枠で授業料免除もついていて、ASEANプログラムは各種奨学金がついていて、比較的安く留学できます。1回生の夏休みとか春休みに参加する学生もたくさんいますので、考えてみてください。5月ぐらいから募集が始まりますので、アンテナを張っておいてください。

それから、国際交流科目という全学共通科目があります。これは非常に人気のある科目で、先生から事前講義があって、そのあと実際にその場所に出かけていくという科目です。ことしはブータンなど。いろいろあります。旅行では絶対行けないような場所に連れて行っていただけますし、いろんな経験ができます。お金は少しかかります。その説明会が4月8日からスタートします。

今までは皆さんが実際外に出かけていくお話をしたのですが、京都大学にいながらにして国際交流するチャンスは実はたくさんあります。その一つは、留学生の存在です。京都大学には今、1,700人ぐらいの留学生がいます。留学生の内訳は中国が一番多いですが、中国、韓国、台湾という形になっています。こういう人たちと机を並べて勉強するKUINEPという授業があります。Kyoto University International Education Programということで、これも全学通科目でリストに載っていると思いますので、見てください。これは英語で行われる講義です。全学共通科目として提供されますけれども、卒業単位として認定されるかどうかはまたその冊子を見て調べてください。

こういう授業もあります。系統講義「京都で学ぶアジアと日本」というのがありまして、これは特別にこういうプログラムがあるというわけではなくて、京大で提供されている京都とかアジアに関する授業を集めてみたら224個もあったということです。それをリストにして皆さんにわかりやすく提供しているプログラムです。そのグループ群の中から何単位かを取得しますと修了証がもらえます。パンフレットを別に用意されているので、興味のある人はホームページを見てください。

国際交流関係の学生サークルもあります。学生がやっているプログラムで、海外に出かけてインターンシップをアレンジする集団です。最初のほうはIAESTE、これは理系が中心です。下のほうはAISEC、それからキャンパスで国際交流をするiAT (international afternoon tea)、みんなでお茶をします。KIXS、ESSK、そういう団体があります。ESSKは交換留学して帰ってきた人たちです。交換留学に興味のある人はこういうESSKに聞くのが一番いいです。絆での交流会もやっています。

以上をまとめまして、2点申し上げたいと思います。まずは、語学力は非常に重要です。ぜひ勉強をきょうからしてください。それから留学準備です。留学準備は今からすぐに始めてください。それで今、お話ししてきましたように、ステップ・バイ・ステップ、一段階一段階積み重ねていくということが大事かと思います。例えば今学期KUINEPの英語授業を取って、夏休みに超短期で東アジアとASEANへ行って、そして2回生での留学を目指すということです。また2回生での交換留学を足がかりにして、大学院とか研究者になってからの国際的な活躍につなげていくということです。1回生からできることはたくさんありますのでやってください。

それに関して、留学に関する説明会が4月にたくさん行われますので、そこで情報収集してください。こういう情報は京都大学のWebサイトにもありますし、それから国際交流センターのホームページ、そしてFacebookもあります。今朝、喜多先生にお聞きしたのですが、教育院のホームページからも留学に関する情報がまとめてありますので、そこからも入って行ってください。

最後に、今後の説明会はこういう予定になっています。関心のある人はメモを取ってください。全部お昼に開催されますけれども、国際交流センターで昼休み、国際交流科目について8日から21日、ベトナム、タイ、フランス、タイ、ブータンとなっています。4月17日は大使館の人によるアメリカ留学説明会。大事なものは、1回生のための交換留学説明会。4月22日水曜日に行います。

ぜひ留学・国際交流に関心を持って、こういう説明会に出てきてください。そこでお目にかかれるのを楽しみにしています。

以上です。

※4月3日(金) 理学部、医学部、薬学部、農学部を対象に実施したものをまとめたものである。【講演担当者：河合 淳子 教授】

※スライドは省略

### Ⅲ. 支援機構ガイダンス

平成27年度支援機構ガイダンスは以下のプログラムで実施した。

#### 1. 日程

	4共11	4共21	4共30	4共31
4月2日(木) 14時00分～ 16時30分	工学部 (物理工学科)	工学部 (工業化学科)	工学部 (地球工学科) (電気電子工学科)	工学部 (建築学科) (情報学科)
4月6日(月) 9時30分～ 12時00分	文学部	経済学部	法学部	総合人間学部 教育学部
4月6日(月) 14時00分～ 16時30分	医学部 (医学科) 農学部 (資源生物科学科)	医学部 (人間健康科学科) 農学部 (地域環境工学科) (食品生物科学科)	理学部 農学部 (食料・環境経済学科)	薬学部 農学部 (応用生命科学科) (森林科学科)

#### 2. プログラム

- ① 9:30 ～ 9:50(14:00～14:20) 学生生活のコンプライアンスについて 杉万俊夫 理事(学生・図書館担当) 4月2日午後  
阪上雅昭 理事補(学生担当) 4月6日午前  
赤松美紀 理事補(学生担当) 4月6日午後
- ② 9:50 ～ 10:10(14:20～14:40) 大学内での人権尊重のために 毛利透・法学研究科教授
- ③ 10:10 ～ 10:50(14:40～15:20) ECS-ID 講習および情報セキュリティについて 情報環境機構
- ④ 10:50 ～ 11:00(15:20～15:30) 図書の利用について 附属図書館、吉田南総合図書館
- ⑤ 11:00 ～ 11:30(15:30～16:00) 救命講習について 西山知佳・医学研究科講師
- ⑥ 11:30 ～ 11:50(16:00～16:20) アンケート回答

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成27年度支援機構ガイダンスプログラム</li> <li>2. 支援機構ガイダンスアンケート</li> <li>3. 学生便覧2015</li> <li>4. 平成27年度京都大学情報環境スタートガイド</li> <li>5. 京都大学における情報セキュリティポリシーについて</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 情報セキュリティミニハンドブック</li> <li>7. 情報環境機構ガイドブック</li> <li>8. 京都大学附属図書館利用案内</li> <li>9. 京大図書館MAP(図書館機構スタンプラリー台紙付)</li> <li>10. 附属図書館ラーニング・コモンズ</li> </ol> |
|--|---|

このガイダンスの中で医学部人間健康科学科の全面的協力を得て、救命講習を実施した。心停止者に対する胸骨圧迫と AED の利用は一般人が行える救命活動の中で最重要なものである。これについてはスポーツ実習の初回授業で試行的に講習を実施した経験を踏まえ、全新生生に対象を広げて実施した。詳しくは別途、作成されている報告書を参照頂きたい。

「H27年度 新入生3000名への救命講習会 実施報告書」および

「H27年度 新入生3000名への救命講習会 サポートスタッフ手順書」

URL : [http://www.med.kyoto-u.ac.jp/blog/japan/news/20150706\\_hsnews\\_newstudents/](http://www.med.kyoto-u.ac.jp/blog/japan/news/20150706_hsnews_newstudents/)

(京都大学医学研究科人間健康科学系専攻ウェブサイト内)

#### IV. 履修相談

全学共通科目を担当する国際高等教育院の教員による「全学共通科目履修相談室」を時間割作成期間中である平成 27 年 4 月 8 日（水）～4 月 10 日（金）のお昼休みに吉田南 1 号館で実施した（最終日は、16:30～17:30 も実施）。

相談員の専門分野に応じ、主に全学共通科目の履修について、新入生からの相談を受けた。

新入生からは、履修相談の他、レポートの書き方や、専門基礎科目と専門科目との関連性についてなど、様々な質問が寄せられた。

#### 相談件数

日付	総人	文	教育	法	経	理	医	薬	工	農	合計
4月8日(水)	1	5		1	1	1			6	3	18
4月9日(木)	1	2		2	1	1			6	6	19
4月10日(金) 昼		3		1	1		1		7	2	15
4月10日(金) 夕		1					1		5	4	11
合計	2	11	0	4	3	2	2	0	24	15	63

## V. コンプライアンス e-Learning

コンプライアンス関連の指導が重要であることは言うまでもないが、その内容は多岐にわたっており、短時間のガイダンスでの指導には限界がある。そこで要点のみをガイダンスで示し、詳細はe-Learningで学習してもらう方法で展開をはかった。このため関係部局の協力を得て以下の4つのe-Learningコンテンツを開発し、新入生に受講を求めた。

- 心の健康について
- 危険ドラッグについて考える
- 急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント
- 京大生と自転車

これらのe-Learningの受講状況を以下に示す。コンテンツの開発に時間を要したこと、ガイダンス内容を大幅に変更したことから、履修への誘導が必ずしも十分でなかったため、受講率が低くなっている。

e-Learning	受講者数	受講率
心の健康について	1,167名	39.40%
危険ドラッグについて考える	1,101名	37.10%
急性アルコール中毒とアルコール・ハラスメント	1,082名	36.50%
京大生と自転車	1,095名	36.90%



## VI. 新入生アンケート（全学共通科目ガイダンス）

### ○調査の概要

#### （1）質問項目

あなたの京都大学入学に際しての抱負を聞かせてください

1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？
2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育として  
どんなことを学びたいと思いますか？

#### （2）実施方法

平成27年4月2日（木）～3日（金）の2日間に、国際高等教育院が実施した全学共通科目ガイダンスの際に記名式のアンケート調査を行い、全学部合わせて2,874名（提出率96.9%）の提出があった。

このアンケートの内容は、2回生進級時に行う2回生進級時アンケートの際に各自に通知し、自分の入学当時の抱負、期待を振り返ってもらうこととしている。

学部・学科		在籍者数	提出者数	提出率
総合人間学部		125	121	96.8%
文学部		225	222	98.7%
教育学部		62	62	100.0%
法学部		336	318	94.6%
経済学部		252	245	97.2%
理学部		319	310	97.2%
医学部	医学科	111	103	92.8%
	人間健康科学科	147	146	99.3%
薬学部	薬科学科	54	53	98.1%
	薬学科	30	30	100.0%
工学部	地球工学科	189	172	91.0%
	建築学科	81	78	96.3%
	物理工学科	242	234	96.7%
	電気電子工学科	136	134	98.5%
	工業化学科	240	237	98.8%
	情報学科	96	96	100.0%
農学部	資源生物科学科	96	95	99.0%
	応用生命科学科	52	50	96.2%
	地域環境工学科	41	40	97.6%
	食料・環境経済学科	35	33	94.3%
	森林科学科	59	58	98.3%
	食品生物科学科	37	37	100.0%
合計		2,965	2,874	96.9%

※在籍者数は2015年4月7日現在

## ○アンケート回答

京都大学入学に際しての抱負について、各学部の提出者全員分をそのまま記載した。

※ 修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

※ 重複した回答もそのまま記載している。

※ 判別が不可能な文字については、代替文字として「■」を入力している。

- (1) 総合人間学部 (36頁～)
- (2) 文学部 (41頁～)
- (3) 教育学部 (50頁～)
- (4) 法学部 (53頁～)
- (5) 経済学部 (65頁～)
- (6) 理学部 (75頁～)
- (7) 医学部 (87頁～)
  1. 医学科 (87頁～)
  2. 人間健康科学科 (91頁～)
- (8) 薬学部 (96頁～)
  1. 薬科学科 (96頁～)
  2. 薬学科 (99頁～)
- (9) 工学部 (100頁～)
  1. 地球工学科 (100頁～)
  2. 建築学科 (107頁～)
  3. 物理工学科 (110頁～)
  4. 電気電子工学科 (119頁～)
  5. 工業化学科 (124頁～)
  6. 情報学科 (133頁～)
- (10) 農学部 (137頁～)
  1. 資源生物科学科 (137頁～)
  2. 応用生命科学科 (141頁～)
  3. 地域環境工学科 (143頁～)
  4. 食料・環境経済学科 (145頁～)
  5. 森林科学科 (147頁～)
  6. 食品生物科学科 (149頁～)

(1) 総合人間学部 (アンケート提出率 96.8%)

## Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

### A. 以下のとおり

- 主に外国語の勉強に専念し、海外留学に行きたい。
- 自らの探求心に従い、学び、研究する。
- 様々なことを学び、知り、研究をする。
- ・脳科学や認知科学について学びたい
  - ・積極的に様々な分野に携わる人々に出会い刺激をうけたい
- まだ決まっていないが、まず語学にとり組みたい。
- ・英語力を高める
  - ・人の心理について学ぶ
- 漠然としていますが、国際社会で色々な人と人をつなぐことのできるような素敵な教養人になるために、今まで挑戦したことのないことにも積極的に参加し、幅広い教養を身につけたいと思います。
- 一生追究できる学問を見つけること。
- 食欲になって、とにかく幅広い分野の講義をうけ、自分の興味のある分野を見つけたいです。そして、2回生以降での専攻、副専攻の選択に生かしたいです。
- 広範で深い教養を得、新たなものの見方を得たい。
- 以前から興味があった脳科学について、専門的に学びたい。
- 心理学がどのようなものであるかを知り、それについての理解を深めたい。
- 人の役に立ちたい。
- 興味のあること全てに対して積極的に学び、知識を吸収し、論理的かつ効率的に思考を進める術を身につけたい。留学もしたい。
- 人間的に成長して夢に近づく。
- 卒業後の進路を見つけたい。
- 良い仲間を作り、各部門で得たことを社会に還元したい。
- ・人との出会い
  - ・自分の考えを深める
  - ・音楽活動
- 自分の関心に従って、京大でしかできないことを学びたい。
- 幅広い知識と思考力を身に付けることで、これまでぼんやりと感じるだけだった問題意識や疑問について、言葉を用いて考え、答えを探していけるようになりたい。
- ・留学生と仲良くなりたい
  - ・興味があれば、なるべくひっこまず取りくみたい
  - ・留学もしてみたい
- 中身のある人間・教養のある人間になりたい。
- グローバルに！！
- ・語学力を磨きつつ発信する内容も強化して世界に通用する力を身につけたい
  - ・何らかの形で在学中に海外に渡航したい
- 高い語学力と幅広い知識を得たい。
- 大学院への基礎、専門家としての第一歩。
- 自分の興味に従って勉強する。
- 特に語学をしっかりと学んで、環境保護・文化交流理解についてとりくみたい。
- 幅広い分野の授業を提供することを求めます。多角的に考えられるように、多くの分野の授業を取ることに取り組みたい。
- ・英語力を上げたい
  - ・国際協力関係の仕事ができるだけの知識をつける
- 勉強はもちろん、サークル活動などにも力を入れたいと思っています。
- 自分が将来的に取り組みたいことにとらわれず、幅広い分野での様々な考え方を身につける。
- 専攻科目に取り組む。
- ・留学を通して国際感覚を身につけたい
  - ・幅広く学びたい
- ・様々な知識、教養
  - ・ここでしかできない経験
  - ・自分の興味のあることには全て取り組みたい

- 幅広く、自由な選択をし、領域を増やす。
- この分野は自信をもって説明できるというところをつくる。
- 積極的に学びを深化させていくこと。
- 何かに興味を抱くきっかけを沢山与えてほしい。それは授業内でも良いし、別の機会でもいい。それらを自分で経験していくことで、自分の取りくみたいことがわかってくるだろう。
- 人間と世界の知識の総合化、体系化。
- ・様々な学部・学科の人と親しくなり、卒業後も互いに力を貸せるようになりたい  
・興味をもったことには積極的にとりくみたい
- 自分を大きくしたい。
- 国際社会で通用する力を身につけ、高等的な教養を身につけたい。
- 幅広い教養を身につけること。
- ・人と出会い、自らの世界観を少しずつ変化させたい  
・広い世界を見、それを社会に還元させたい
- 言語（字）を通じ、「人間とは何か」という疑問の解決を試みる。
- 幅広い教養を身につけること。
- 伝達力を身につけること。
- 多様な学問を学ぶ。
- 留学や、友人との討論や研究など、新しいことに前向きに取り組み、多くの経験を積みたい。
- 人間としての教養を高めつつ、国際的感覚を養いたい。そのため、留学など国際的行事に積極的に参加していきたい。
- 将来やりたいことを具体的に見つけ、それにつながることに組みたい。
- ・語学力を高める                      ・幅広く、多く学ぶ
- 高校と違い、国際的な分野に視野を広げるために留学したい。
- 大学でしか経験できないことを、おくびょうにならずに挑戦して行って、社会に出たときに役立つようにしたい。
- 社会学や動物行動学について学びたい（今のところ）。
- 興味のある分野に取り組む。
- レベルの高い講義を受けたり最先端の研究に取り組んで、自分の知識を広げ、思考を深めたい。
- 様々な種類の学問に触れてみたい。
- 軸、留学とか。
- 自由に勉強して自由に遊びたい。
- 圧倒的成長！！
- 自由に言語も含め、時間割を組めること。主専攻は言語学にしたいです。
- 色々なことを広く。
- 有意義に過ごすこと。
- 己の不明に目を向ける。
- 文・理にわたる科目。
- 自分のやりたいことを見付けられるような幅広い分野に関する授業を求める。
- プログラミングで起業。
- せっかく手に入れた最高の環境なので、京大の設備や制度をフル活用して積極的に勉学、研究に励みたい。
- 自分が熱中できるものを求め、それに取り組むたい。
- 様々なことに対して積極的に触れ、取り組む中で自分の好きなことを見つけ、そのことに全力で取り組みたい。
- 心理学に取り組むたい。
- 専門を軸とした学際研究。
- 学際系の強みを生かして幅広い教養を身につけ、国際社会で活躍出来る人材になること。
- 国際関係や貧困（日本、アジア含む、子どもの）について学習したい。ひとつだけでなくいくつもの目標をよくばっておいかけたい。
- ・4年間で社会に出る準備をする                      ・自分の進路を確立する
- 様々な分野について学び幅広い教養を身につける。

- 一つのことにとらわれず、幅広く勉強する。
- 知的好奇心を持ち、幅広いことを学びたい。
- 様々な分野を学ぶことで生まれた興味・関心をもとに、学ぶことのおもしろさを実感できる学習をしたい。
- 勉学面、生活面、共に充実した学生生活を求めている。大学でしか経験できないこと（留学、サークル、専門的勉強など）に取り組みたい。
- 英語で学べるだけの能力。
- 視野を広げる。
- 主に脳についてを中心に、興味のあるものについて学びたい。
- 中国語を究める。
- 多分野に渡る知識を得て、幅広く活躍できる人物になりたい。勉学、スポーツ共にしっかりと取り組みたい。
- まだ分からない。
- 幅広い分野について学びたい。
- 幅広い分野を勉強し、立派な総合人間になる。
- ・高校の範囲を越えた幅広い一般教養                      ・自分で選ぶ科目の深い知識
- 専門的な最先端の学問を学び、様々な新しいことに積極的に挑戦したい。
- 学問、コミュカ上昇。
- サークルに、バイトに、勉学に、充実した大学生活を送りたい。
- 今までに学ばなかった、新たな知識を取り入れたい。海外経験を深めたい。
- 広い世界観を持ち、国際的教養を身につけたい。
- 自分の探究したい学問を見つけ、打ちこみたい。
- ・一つのことを多角的に見る姿勢                                      ・様々なことに興味をもてる思考
- ・社会で必要とされる教養    ・新しいこと（高校までには経験しなかった）
- 自分の学びたかったことを求めて自分の足りない物を補うことに取り組みたい。
- 自分が興味を持ったことを納得のいくまで学び、研究する。また、その結果として身についたこと、発見したことを正しく使うための倫理を学ぶ。
- サークル、勉強、バイトを両立していきたい。
- 様々な分野のことを主体的に学ぶ。自分から積極的に多くの体験をして、自らの視野を広げる。勉強だけでなく、様々なことにチャレンジする。
- 自分が今後したいこと、すべきことを見つけ、希望を持つこと。
- おもしろいこと。
- 学問を追究する機会を求め、積極的に自分を高めていきたい。
- 他の人の意見を聞く。幅広い考え方に触れて、自分自身の考え方の選択肢を増やす。
- ・進路の確定とその準備    ・様々な学問を深く学びたい
- 興味のあるままに、あらゆることを学び、背後の普遍性などを見出したい。
- 一回生の間で様々な分野の授業をとり、選んだ専攻について、国際社会で通用するレベルで取り組みたい。
- 好きな学問。
- 様々な分野で深い理解に努め、視野を広げたい。
- ・学術的な議論の進め方を学びたい  
    ・英語でのコミュニケーションのとり方を学びたい
- 京大は自由の学風であり、こちらが望めば勉強したい学問は何でも勉強できる環境であるから、それを最大限活用し、自らの関心のある教育・英語を中心に幅広く学んでいきたい。
- 様々な事を学びたい。
- 多面的に物事を捉えて社会の問題を解決できるようになる。楽しみたい。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 英語。
- 国際化社会で役に立つこと。
- 幅広い分野を学びたい。
- まだ決まってない。
- 外国人と話せるレベルの英語。
- 様々な学問の基礎。(専門的なことは専門家に聞けばいいから、ある■のところまでは理解して話が聞けるようになればいいなと思うので)。
- ・専門科目の基礎になる科目                      ・英語を使う講義をする科目
- 理系、文系にかかわらず様々な教科のものをとりたいと思いました。また、英語で行われる講義にも興味があります。
- 英語で授業を受けてみたい。
- 語学を中心に、いろんなことに触れていきたい。
- 様々な分野につながること。
- 多分野にわたって興味のあることを学びたい。世界史、心理学、生物、地学、社会学分野。
- 幅広く深く。
- 国際的な勉強。
- 視野を広げるための勉強。固定観念に捉われずに行動できる人間性を磨きたい。
- 人文系、英語で行われる授業、生物など。
- 文理問わず、幅広く学びたい。
- 本物の学問をしていく上での可能性を広げるために、語学も含め多くの切り口を身に付けていきたい。
- ・英語                      ・数学                      ・物理
- ・英語                      ・国際関係
- 今後学んでいく専門科目のための基礎として、応用のきく柔軟な知識を学びたい。
- 理系の科目もとってみたいと思った。(数学など)社会学や政治学、経済学の授業などをとりたい。
- 心理学、社会での倫理、幅広いてつ学思想。
- 世界で通用するもの。
- ・環境のこと                      ・文化のこと
- 日本について、そして海外について。
- 日本についての知識を深める科目。
- 自分が将来的に取り組みたいことにとらわれず、幅広い分野での様々な考え方を身につける。
- 語学。
- ・法律について                      ・有機化学について
- ・英語                      ・心理学
- 世界に通用する教養。
- 宇宙物理。
- 人生をより豊かにし他の人々との交流の資となるようなこと。
- 英語を中心として幅広く、いろいろなことを学んでみたい。
- 哲学。
- 留学生と交流し、日本と諸外国の違いやそれぞれの長所・短所を生かす方法を学びたい。
- 基礎。
- 枠にとらわれない学問。
- グローバルな視点を持つこと。
- ・英語の上達                      ・理系・文系を問わず、広い分野の知識を得たい
- 幅広く、教養を。
- 自分の専門とは一見関係のなさそうなもの。
- 多分野の基礎的な知識。

- ・英語                      ・国際関係
- 英語の重要性が改めてよく分かったうえ、自分の今の英語力ではスピーキングは難しいと思ったので、英語学習に力を入れていきたい。また、1つの分野にかたよらず、広い知識を得たいと思った。
- ・英語などの外国語を用いたコミュニケーション                      ・国際事情
- ・英語の重要性を思い知った                      ・留学に少し興味が出てきた
- ・TOEFLをまずは頑張りたい
- 国際的な問題を理解するための知識と、対処するための行動力。
- まずは英語で交流できるくらいの力をつけたい。
- 英語をメインに多くの言語を学びたい。数学もやりたい。
- 社会に出て困らないようなこと。
- 1つの分野にかたよらず、多くの分野を幅広く学びたい。また、英語による講義も受けてみたい。
- 英語をしっかりとできるようにして、国際的な人間になりたいと思う。
- 人間関係。
- 法学や経済学と英語。
- グローバルな思想。
- 言語系統のものを学びたい。
- 理系科目を広く、学びたい。
- 高校時は、理系だったので文系のことについて学びたい。
- 多面的な見方。
- 文・理にわたる科目。
- 幅広い分野について学ぶ。
- ・数物                      ・英詩、シェークスピアのぎきょく                      ・英語                      ・グラフィックデザイン
- 様々な分野の授業を履習して柔軟な思考や発想を身につけたい。
- 英語を学びたい。
- 語学について、より積極的に学び、留学も経験したいと思う。
- 世界で通用する英語。
- 英語を中心とした、英語で学ぶ講義を受けたい。
- 精神分析学。
- 理系向けはさすがにムリでも、文系に考慮された理系科目をとろうと思う。
- 留学に興味があった。
- 専門とはちがう分野。
- 今まで自分と縁のなかったジャンルもしっかりと勉強する。
- 英語を中心として、多くのことを学びたい。
- 今の社会で不可欠な英語は、積極的にふれたいと思った。自分の専門としたい学問にこだわらず幅広い教養を身につけたい。
- 幅広い教養と、それを基礎にした専門分野の学問を学びたい。
- 英語を重視して学びたい。
- 専門外のことのうち、興味のある分野について学びたい。
- リベラルアーツ。
- 高度な内容でこれまでに学んだことがないようなこと。
- まだ分からない。
- 幅広い分野について学びたい。
- 社会を生きていく中で困らない常識。
- 英語、まずはTOEFL ITP。
- 外国語。
- 英語で行われる系。
- 英語をしっかりと学ぼうと思った。
- 興味のあるような幅広いこと。
- 自分の興味ある分野だけでなく、人間的に成長できるもの。
- 社会に出ても通じる知識。

- 紙とか。
- 現代社会の様々な分野で生きている人々との会話を成立させ、意見を交換するための幅広い教養を学びたい。
- 心理学。
- TOEFLの基準を見て、これから尚いっそう英語を勉強しようと感じた。
- 「語学」+「自分の専門に関係し得ること」。
- ・人文学                      ・芸術系
- 心理学を学び、人の心の動きを知りたいと思った。
- 特に語学を極めたい。英・中国語は、その言語で考えられる（頭の中でいちいち日本語に変換しない）レベルまでもっていきたい。
- 好き嫌いせずに、広く学び、以降に役立てたい。
- 地理学、歴史学など、国際社会で生活するのに直結する科目を学びたい。
- 英語を重視し、国際社会に対応できる語学力を学び身につけたい。
- 議論をするにあたって、必要となる知識（特に国際関係の学問）をたくわえたい。
- 学部の専門科目がカバーしていないような、他分野の学問を積極的に受けたいと思う。1年次には、理科や数学、また高校では扱わなかった心理学や哲学など、文系色の濃いものにも挑戦したい。
- 語学。
- おもしろそうなこと。

## (2) 文学部 (アンケート提出率 98.7%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 楽しいことを求めて、おもしろいことに取り組みたいです。
- 学問 (地理、歴史)。
- 世界史、哲学で高校よりもっと高度なことを学びたい。
- 広範に渡る知識・経験の摂取・修得、その他分野 (文学、哲学) への応用。
- 自分の興味があることを深く理解し、オリジナルの考えを見出す。
- 国を越えて、出来るだけ多くの人の思想に触れたい。
- 語学力とコミュニケーション力を高め、世界ともっとつながりたい。
- 自ら学び、研究したいことをとことんつきつめたい。
- それを今考えている。
- ・高校までとは違う、より先のことを学ぶ                      ・自主的に学ぶ
- ・自分の好きな学問をして自分で考え、議論できる友人がほしい  
・研究のためにまずは語学を特に頑張り基盤としたい
- 勉強できる環境を求める。
- 自らの学びを深めることのできる環境を求め、それを最大限活用して、近畿圏の文化財を巡り、研究したい。
- 生きたいと思えるようになること。
- 積極的に学習やサークル活動に取り組み、様々なものの見方を身につける。
- 宗教や国際情勢について深く理解したいです。
- うちこめる学問を求める。また部活、サークル等うちこめるものを見つけたい。
- 多角的な視点から物事を考える力を身につけるために、幅広い分野を学びたい。
- ・専門分野を広めること                      ・積極性を獲得し、様々な経験をすること
- ・日本史について真剣に学びたい                      ・部活も真剣に行いたい
- 勉強はもちろん、クラブ、サークルの活動やバイトも、ある程度の余裕を持ってどれもおろそかにせず取り組みたい。勉強については、将来の役に立つことを意識して取り組みたい。

- 多くの人と話をして見聞を広めたい。
- ・幅広く学ぶこと ・積極的に学ぶこと
- 日本について知り存在を維持。
- 将来の進路設計をする。
- 教養を高め、自らの進むべき道を求める。
- 教員となる為に必要な課程をとると共に、自身の専門性を高める学習をする。
- 文学や歴史について、より深く理解したい。
- 関心のあることについて学びたいです。
- 「カッコイイ」人間になりたい。
- ・様々な分野を学びたい ・留学
- 多角的・客観的視点による他文化の理解。
- ・国際性を身につけ、留学をしたい ・学際的に学びたい
- 多くの人と関わりながら何にでも興味をもって学びたい。
- 柔軟に。
- 細分化に細分化を極め、指数関数的に増殖する各専門を統一するような新たな概念を創出する。
- 自立した人間になる。
- 研究。
- 語学を集中的に勉強したい。交換留学を視野にいれて、経験値をふやすことに努めたい。
- 国際交流、他学部生との交流を多めにとって、経験値を増やしたい。
- 自分の世界を広げて本当にやりたい事を深める。
- 様々な考えを持つ学生や教授と接し学ぶ中で自分の視野を広げ、自分の考えを自信を持って主張できる力を養いたい。
- 日本史の研究をしたい。
- 魅力的な人物。
- 自分の好奇心を満たす。
- 高校ではできなかったこと、しなかったこと、また自分ができないと感じていたことに積極的に取り組みたい。新たな自分を求める。
- 言語を含め、文化、歴史についてもグローバルな考え方を身につけたいです。英語で講義を受けたい。
- 高いレベルの教育環境で、自己を高めるとともに社会に資する人材になる。
- 職業に直結はしないと思われるが、将来の仕事で役に立つ知識や経験を得たい。
- 様々な考えを持つ人々と議論し、その中で自分の意見をはっきり主張できるようになりたい。
- 国文学を広い視野から研究したい。
- 将来つきたい仕事につくために必要なことを学びつつその他の教養も深める。
- これからの世界について考えるため、学生や教授、留学生と、議論をしたい。
- 自由な生き方をすることを求めている、様々な考えの人と触れ合いながら、知らないことを沢山知りたい。
- 国内トップレベルの教育環境をフルに活用できるように何事にも積極的に取り組み、グローバル社会に通用する多面的な考え方を手に入れたい。
- 成長。
- 学術的能力を持ち合わせた独立自尊の精神を有した学生になりたい。
- 自由の校風の中で自分なりに目標を立て、努力する、そのような自主的・積極的な自分を作ってゆきたい。
- 公務員になるための基礎教養、レポート作成能力、スピーチを行う能力、協調性を養うために授業やサークルやゼミに積極的に参加したい。
- 探究心を解き放つ。
- 目標とする英文学のより深い研究。
- 今まで正しいと思っていた知識を疑うことができるようなことを学び、深い教養を身につけたい。
- 自分の語学力を高め、国際感覚を身につける。
- 人文分野における国際的に通用するような教養を身につけたい。
- 総合的な学際的な学問の知識を求め自己の思考力の向上に取り組みきたい。
- 実用的な英語を身につけたい。
- 自由に勉強すること。

- ・幅広いことを学び、打ちこめることを見つけたい
  - ・留学生向けの授業の受講など難しそうなことにも積極的にチャレンジしたい
- 多くの人と議論し、考え方を吸収したい。友達をたくさんつくりたい。
- 成長を求め自立に取り組みたい。
- 先人のあらゆる言葉。
- ・自分の引き出しを多く、かつ丈夫につくりあげてを求める
  - ・幅広く、深い学問にとりくみたい
- 優秀な先生の講義を受けて、様々な知識を身につけ、多くの仲間と切磋琢磨して、主体的に勉学に励み、サークルやバイトも充実させたい。
- 自分の考え方（哲学）の礎となるものを形にしたい。多くの人々や社会、世界と関わりたい。
- 今を生き抜く力。
- 自分の意見をちゃんと発表して理解してもらえようになりたい。
- 高校で学んだこと以上に専門的な知識を得て、自分の力で探求していきたい。
- 主体的に学べる環境の中で言語について学びたい。
- やりたいことがまだ決まっていないので、一年生のうちに、多くの人と関わって、今後の目標を固めたい。
- 学系に関わりなく多角的な知識・興味を持ち、それを探めていきたい。
- 友人と議論をしたり外国語の知識をもって日本語の研究をしたい。
- 西洋史学に取り組みたいです。
- ・知ることに食欲に ・経験することに食欲に
- そろそろ本気でやりたいこと、やるべきことを確定する。そのために積極的に学ぶ。モロッコに近づく。（語学以外にも多方面からのアプローチで）。
- 1回生の間にできるだけ沢山のひとと出会い、その人たちとの対話を通して自分の進路を自分で決めたい。
- 深い知識や教養を得るため自主的な学習を行う。
- ・自ら考えて行動する力を身につけたい ・社会について学びたい
- ・自分が大学にやりにきた心理学の勉強 ・英語を話せるようになる
  - ・サークルやバイトなどで社会勉強を行う
- 熱心に取り組めることを求め、興味をもって、未来の自分のためになるようなことに取り組む。
- 授業をとおして様々な文化について学び、サークル活動などを通して多様な人々と交流することで、自分の視野を広げていきたい。
- やりたいことを探す。
- 「純度の高い人間性」を求め、知識・思考力の増強に取り組む。
- 積極的に外国語習得に努めたい。
- 第2外国語（スペイン語）の勉強を本気でとりくむ。
- 自ら意見を発信できるようにしたい。
- 自らの知的好奇心を満たしたい。
- 勉強に取り組み、自分を知らりたい。
- 積極的に人と交わり充実した学生生活を送ることや興味を持った学問の勉強。
- 興味の有無に関係なく幅広い分野に渡って好奇心をもって取り組む。
- 自分の興味ある事を求め、英語・中国語の習得に取り組む。
- 様々な事を学んで自分の進む道を見定めて、国際社会で役立つ人間になること。
- 多くのことに好奇心を持ち、打ちこんで、最終的に哲学の勉強に打ちこみたい。
- 単位取得を求め、積極的な授業への参加に取り組む。
- 常に向上心を持って積極的に学ぶ。
- 自発的に、西洋史の勉強をする。
- 興味のある学問の知識を深める。
- 強固な自己、未開拓なこと。
- 海外の文学についての研究。
- 自分から物事を動かせる教養・対人能力を身につける。
- 新しい発見を得られるような議論ができる相手との出会い、人間関係とそれに対する私たちの立ち位置について研究したいと思います。

- 日本史。
- 学問探求。
- 英語教育。
- 教養を身につける。創造力の獲得。
- 一生の友人と、一生役立つ経験を求め、青春に取り組む。
- 教員免許の資格を取りつつ、様々なことを見聞して自分の進路を決める。
- 生きるための教養。
- 深い思考力を求め、日本人の歴史を探りたい。
- 楽しいこと。
- 知識の高度化、他人に話すときに自信のもてるような学力が欲しい。
- 日本史や文学が勉強したくて京都にきました。でもいろんなことやりたいです。自分の興味のアンテナが反応したこと全部。
- 民俗学がやりたい。(専修がないので不安。ポケゼミのやつにうかりたい) 他にも哲学、歴史を知りたい。
- 社会に繋がる教養を身につけると共に、自分の専門に学びたい分野を探究すること。
- 将来したいこと、夢を見つけ出す。
- 人文学研究の道に進むにあたって必要な素養を身につける。
- 英語力を高めて、国際人になれるよう語学学習を取り組みたい。
- 内面・教養共に豊かにする。
- 自分の興味のあること。特に社会系を頑張りたい。
- 英語を徹底的に学び、海外で生きて行く力をつけたい。
- 日本の良さを知って海外に広めたり、海外の良さを日本に広めたりしたい。
- 様々な経験を積み、国際的な場で活躍できる人になりたい。
- 知識や行動力を持った友人と出会い自分を高めたい。
- 自分の好奇心に従って積極的に知識を得られる機会を求め、専門的な学問はもちろん、それ以外の学問、文化活動に取り組みたい。
- 自分のやりたい勉強を積極的にやる。
- 何に取り組みたいかを探しに来ました。
- 古文、漢文についての知識・教養を深め、関連する知識を得る。
- 京都大学だからこその高度な教育、研究。
- 留学生との交流をし、世界・日本への理解を深めること。
- 幅広い知識を得て、人格の形成へつながる教養を身につけたい。
- 社会に通用する教養を身につけ、よりよい進路を選びたい。
- 実学を身につける。
- 一人前になること。
- 大義の確立。
- 色々な物事にふれ、自分が本当にしたいことを見つけてそれに取り組む。
- 自らが興味を持てる分野を見つけ、真摯に取り組む。
- 人文。特に歴史系の学問探求。
- 日本史を深く理解し海外の研究者とも主体的に交流できる能力を身につけたいです。
- 学びたいことをたくさん学ぶこと。なりたい職業の資格をとること。
- 主に自分が関心を持っている分野に取り組む。
- たくさんの人と知り合いたい。
- 幅広い分野に触れる。
- ・勉強を楽しみと思えるようになりたい                      ・留学など、積極的に活動したい
- 興味ある分野や社会で必要とされる分野において主体的な学習に取り組むとともに憧れていた京都での生活を十分に楽しみたい。
- 様々な分野の学問に触れて、幅広い知識を身につける。その中で自分の興味があることを見つける。
- 研究などをするために必要な力をつける。自分が興味をもつ広い範囲の勉強に取り組む。
- 力を持った言葉を扱える人間になるために、積極的に外へ出てゆくこと。
- 英語の力を磨き、特定の科目だけに留まらず、様々な分野の知識を深めたい。





- 自分の専門と関係ないものも含めて、幅広い分野にわたって学びたい。
- ・英語                      ・日本史
- 専門科目にも応用できるような柔軟な学習を心懸けたい。
- 将来に役立つこと。
- 物理や化学など、今までにできなかったことにも積極的に挑戦したい。
- 現代社会の問題を考えるにあたって、その背景も含むあらゆる事象を多角的に考えられるよう、歴史を学びたい。
- 科目横断的に「つながり」を意識した学習をする。
- 幅広い一般教養を得て、その上で深くまで知りたい。専門を見つけて学びたい。
- ・学術英語                      ・世界史                      ・宇宙科学
- 広い視野を持つために、文学に関係あってもなくても、色々な分野について学びたい。
- 英語に関係したこと。
- 2回生以後の専修選択に向け、どの分野に最も興味があるか探る。
- 理系の科目もとっていきたいと思う。やりたいと思ってた事は全てやり尽くす。
- 自分の希望する専門分野に関する授業だけでなく、理系分野の授業も積極的に受講したい。
- 現代社会において、一般的に必要なとされる分野を学びたい。
- 海外留学について詳しい話を聞いたことで、ひとつの道として留学への認識が高まり、英語の勉強に身を入れたいと思う気持ちが生まれたかもしれない。
- 法・経済など文学部以外の科目も学びたい。
- 多くの学問の共通する部分を探したい。
- 英語への理解力。
- 興味のある分野だけでなく、今まで触れることのなかったことも学びたい。
- とりあえずは、留学を念頭においた外国語習得。
- 自らの専門分野とかけ離れたように思われる学問。
- 人文系以外のものを多く学びたい。
- 英語に力を入れたい。
- いろいろ興味のあることを、とくに外国語、ならいたい。
- ・語学力の強化に力を入れる  
    ・専門の勉強をする上での土台になるよう、理系の科目もしっかりとりくむ
- 幅広い知識を身に付けたい。
- 自学自習をすること。
- 幅広く深く。
- ・英語（実践的なもの）                      ・哲学（世界も含めたもの）
- 文系の科目だけでなく、物理や数学も勉強したい。
- （1）のため、広い知識と、その体系化、いろいろな視点から考えることを学びたい。
- 分野を問わずあらゆることを身につけ、一つの間いに対して様々なアプローチが出来る方法を学びたい。
- 幅広く学びたい。
- 自分を取り囲む環境・社会について様々なことを学びたい。
- 実用的な英語（特にリスニング、スピーキング）化学など受験期にはあまり触れられなかった理数系の学問。
- 将来、人生を豊かにすることが出来るような知識を学びたい。
- せっかく京大に来たので自分のやりたい学問をしたいです（史学）。あと語学。
- 語学を身につけたい。
- 語学（英語を中心に）。また、人間関係や、人間の集合としての社会の構造についてその特性などを理論的に学びたい。
- 言語。
- ・語学                      ・社会学
- 今まで習わなかった自然科学の科目や将来の自分のためになったり必要とされたりする科目。
- 様々な文化などについて、自分の知らなかったことを知り、当たり前とっていたことを見直すことができるように学びたい。

- 広い視野の中で自分が興味のある科目。
- 様々な分野（今まで興味が無かった分野にも視野を広げて）。
- ・西洋哲学           ・精神病理学           ・宇宙           ・生命
- 理系科目の基礎を学びたい。
- 英語の運用能力を高め、専門性を身につける準備をしたい。
- 基礎教養。
- 英語や第二外国語にも積極的に取り組みたいと思った。
- 専門に進んだらとれないであろう理系科目の基礎。
- 理系的な学問にも目を向ける。
- ・地理           ・イスラム
- 興味のある人文系の科目に加えて、国際社会でも通用する英語や他の外国語を学びたい。
- 英語がんばりたい。
- 英語が第一、人文系の学問はもちろん理系科目も学びたいと思う。
- 理科系・文科系問わず様々な分野の教育に触れたい。
- 文理関係なく幅広く学ぶ。
- 分野にとらわれない新たなこと最低限、英語と情報。
- 文理にとらわれず様々な分野のことを学びたいと思う。
- 自分の興味のあることだけではなく幅広い分野を。
- 専門分野に進んだ際に役立つだけでなく、新しい視点を与えてくれるようなこと。
- 考え中。
- 今後の人生の指針となること。
- 時代の変化についていけるような根本の学び。
- ・歴史学           ・倫理学
- 英語。
- 幅広い分野。
- 楽しいこと。
- とりあえず語学だと思います。TOEFL難しそうでした。がんばって勉強したい。ほかにも今まで自分がやってこなかったことにも飛び込んでみたい。
- 理系にもトライしてみたい。
- 様々な分野（文系でも理系科目の選択など）について広く学びたい。
- 未定。
- 文学に重点を置いて学ぶ。
- 英語（語学）。
- 社会、世界で通用する教養。
- 自分に必要と思えるもの。
- 心理学を学びたい。
- 英語のレベルを上げ、他の言語にも習得していきたい。
- 自分の興味のある史学や文化学の知識を深めたい。
- 1回生の全学共通科目を受ける中で今後専門に進んでも役立つ知識を学びたい。
- 大学だからこそできること。
- 歴史系。
- 自身の見方だけでなく、多角的な視点から、事象を見る知識。
- 英語力向上のため、国際交流系のプログラムに積極的に参加したい。
- 理系の科目にも挑戦したい。“教養”を身につけると同時に、英語力の向上になるよう、授業を受けたい。
- 日常コミュニケーションに必要であったり、研究に必要な言語を学びたい。第2外国語も自分のものにし  
たい。
- 外国語。
- ・心理           ・社会学系
- 心理学。
- 宗教について。

- 専攻をしぼるために人文社会系は幅広く学びたい。個人的に興味があるので自然科学系もできるだけ学びたい。
- 幅広い分野の基礎科目。
- 語学、研究の基礎を身につけたい。
- 社会のしくみ。
- 人文系の科目。
- 国際交流に通じる英語力。
- 世界の文化。
- 幅広い知識。
- 大学在学中だけでなく社会に出ても役に立つような教養、知識。
- 文系とかそういう枠組みにとらわれず、多くの分野に触れる。
- 語学などこれから先につながる勉強。
- 一般常識。
- これまで留学は考えていなかったが、これからは留学も視野に入れていきたい。
- 論理的に表現する力。
- 学部の枠組みに捉われない広い視野をもって自分の興味を惹くものを積極的に学びたい。
- 英語で学ぶ科目を受講したいです。
- 少しでも興味のあることなら積極的に学んでいきたい。
- 学部にとらわれないこと。
- 理系科目での論理の組み立て方も学びたい。まずは日本の言語、思想などをじっくり、他国と比較しつつ学びたい。
- 語学（英語＋数ヶ国語）。
- 歴史学の基本として必要なものや、現代社会の特に情報に関する事など。
- 色々な文野。
- 研究の仕方、論文の読み方、その基礎となる語学を学びたい。
- 自分は文学部だが、理系の学問も学びたい。
- あらゆる分野に通じたい。
- 専門分野でない、理系の分野も学びたい。
- 英語を完璧にしたい。
- 幅広い教養を身につけたい。
- 多様なこと。
- ・言語                      ・心理学
- 具体的には、はっきりと決められないので、まず、一般教養を幅広くとり、その後、自分の興味・関心に基づいて、学びたいことを決定したい。
- 特に理系の科目。
- 文学をまなぶうえで役に立つ一般的教養。
- 文、理に捉われず様々なことを学びたい。
- 日本の文学や美術に関心があるので、深く学んでみたい。また民俗学や欧米の文化、社会のことや自然科学（生物系）も好きなので、幅広い教養を身につけたい。
- 幅広い教養。
- 専修だけでは見えないことも学び、色々な視座から物が考えられる為の知識を身につけたい。
- 「学問」としての教養を身につけるべく、人生をあかろくするようなものを学びたいです。
- 文系・理系にこだわらず、幅広く学ぶ。価値観・視野を広げるものを取る。
- 他の文系学部の範囲。
- 心理学のようなことを学びたいと思った。人間の心や行動について基礎的なことを学び自分の進む分野との関連について考えていきたい。
- 幅広く。
- いろいろなこと。
- 国際社会で通用するような英語力分野を問わず様々なことを学びたい。
- まずは海外に通用する語学力、特に英語力をつけたい。

- もともと自分のとりくみたい分野を決めているがまずはそれだけにとらわれることなく、いろいろな科目群を幅広く学びたいと思う。
- これまであまり関わりのなかった分野なども含め、様々なことを学びたい。
- 日本の文学を研究したい。
- 使える英語を身に付けたい。国際感覚を身に付けたい。
- 世界で戦えること！
- 世界で通用する英語力を身につけたい。
- 世界の人々の考え方や、その背景にある歴史。
- 文理の枠にとらわれず、広く興味のあることや社会的関心の高いものに取り組みたい。
- 英語での授業や留学について少しだけ興味をもった。
- 英語（自由に運用できるようなスピーキングの力）。

(3) 教育学部（アンケート提出率 100.0%）

**Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？**

**A. 以下のとおり**

- いろいろな学問にふれてみたい。
- ・自分の興味がひかれることには積極的に取りくみたい  
・飛躍できる4年になるような基礎づくりを求めたい
- 様々な友人や教授などとの交流を通して、自分の将来像を少しずつ構築しつつ、勉学に励みたい。
- 語学の勉強を特に取り組みたい。そして短期の研修には行きたい。
- 自分の興味に従って自由に勉強し、研究すること。
- 英語。
- 人間としての成熟。
- 楽しさを求めます。
- サークル。
- 知識、能力を広く高め、幅広い経験をして視野を広げたいです。
- 英語にたんのうになりたい。
- 現代の日本について高いレベルで学び、友人たちと議論していきたい。
- 自分から学ぶ姿勢を身につけること。
- 自由にやりたいことをしたい。
- まずは広い視野を持てるよう様々なことに興味をもち、学んでいきたい。
- 教育とはどうあるべきか、効率的な勉強の仕方、教育方法はどんなものかを考えたいです。
- 何とか卒業したい。
- 偏見を捨て、視野を広げ、様々なものを広く学んでいきたい。その中で特に興味を持った事柄について深く学び専門的な知識を身につけたい。
- 面白さ。
- 高校では学ぶことの出来なかったことを積極的に学び、豊かな人間関係をつくりたい。
- 学問的に人についてみつめる。
- 英語系の仕事につきたいと思っているので、留学などにも参加し新たな価値観をつくりたいです。
- 己を見つめ直し、将来の道を決めるため、知識を増やして、学びを進める。
- 人間の心理という抽象的なものを理論的に学び理解する。
- 学業。
- 心理学を学びたい。
- まだやったことのない新しいこと。
- 最先端の学問。
- 教育について自分がどの分野を専門に扱っていききたいのか、わかるようになりたい。

- 自分の目を新しく開いてくれるもの。
- 将来の下準備をし社会経験を積みたい。
- 京都大学で自学自習のスタイルの下、教育の意義を探求することで、自分がより一層人間として成長することを目指します。主体的に幅広い物の考え方に触れたいです。
- 人生の指針となるような人との出会いや刺激となる友人とも出会いたい。教育を通じて、青少年の犯罪を減らすための方法なども学びたい。
- 自分のやりたいこと（一生で）を見つけたい。京大でそれを実現させる充実したサポートをされたい。
- 特別支援教師として身につけておくべきスキルの会得。様々な分野について学びたい。
- 自主的に勉強するようにしたい。
- 一般教養の習得と臨床心理の勉強。
- 自分の興味のある分野について、自由に集中して学ぶ。
- 将来、教育行政にたずさわる上で、必ず学ぶべき内容の他に、様々な分野にも関心をもつことで問題に対して色んなアプローチをとれるようにする。そのなかで積極的に知識と知恵を身につけることに取り組み、大学にはそれを可能にする環境を求める。
- 英語にみがきをかける！！
- 深い教養を身に付けて、生きる力を養いたい。
- 卒業までに自分の根っこを固めて、その為に自分を豊かにするものを沢山吸収したい。
- 様々な視点から興味のある心理学を学びたい。
- 教育学を学び国際的に活躍できるための基礎をつくること。英語を特にしっかりと学ぶ。
- 様々なことに触れて、自分の視野を広げたい。
- 人の心のはたらきについて理解を深めるための研究。
- 私は国連のUNESCOやUNHCRで発展途上国や難民キャンプの子供たちの教育機会を作る。開発教育をしたいと考えています。そのためには、語学力と専門知識、そして実践力が必要です。京都大学での学生生活を通して、様々な背景を持った人と出会い、多面的な視点を身につけたいと思います。具体的には、ゼミでの研究活動、フィールドワークに積極的に取り組んでいきたいと思います。
- 将来自分がやりたいことを見つけるために色々なことに挑戦する。
- 高いレベルの教育に積極的に取り組みたい。
- 一生懸命勉強し、幅広い知識を身につけたいです。
- 自分が打ちこめるものを見つけたい。
- 自己の適性を求め授業にとりくむ。
- 人間としての豊かさを身につけ、新しい価値観に出会う為、様々な講義を受けたい。特に外国語に力を入れたい。
- 対話を通して自分では思いつかないような視点から物事を考える。
- 多様性にふれる。
- 東アジアの入試事情についての考察等。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 文系科目だけでなく宇宙、生物など理系科目も考えてみたい。
- 専門科目とは違う分野も含めて幅広い知識を身につけたい。
- まずは英語とドイツ語という語学分野をしっかりと学びたい。
- 語学を中心に専門科目に意欲的に取り組みたい。
- これまで学んできた英語を基礎に使える英語を学びたい。
- ・英語                          ・国際社会
- 専門科目だけでなく、色々な知識を吸収していきたいです。
- 今まで、自分が興味があるのが日本についてだけだったので英語を特別重視してはいなかったが、英語について、また留学についても興味を持ち、時間のある大学生のうちに挑戦できることは挑戦していくべきだと感じた。

- 思想の基礎となる知識。
- スペイン語。
- 英語力を向上させることと幅広い授業に参加すること。
- ドイツ語。
- 外国語をしっかり学びたい。
- 数学。
- まずはあらゆる事柄を広く浅く学ぶこと。その上で、学校制度について深く学び、日本の教育制度のあり方について考察できるだけの知識を身に付けたい。
- 面白いこと。
- 人文学系、社会学系の教養科目を多くとって学びたい。
- いろいろ。
- 幅広く、自分の分野にとらわれることなく学びたい。
- ただ知識だけをつめこむだけでなく、その知識がいかせるように学びたい。
- どうやって社会に貢献するか。
- 世界で起きる諸現象について。
- プレゼンテーションのスキルを上げたい。
- 一人の大人として必要なこと。
- 様々なこととはば広く学びたい。
- 高度な英語、国際的に通用するレベルに高めたい。
- まだわからない。
- 社会に出た際の基礎知識。
- 教育の基本や世界の情勢をより詳しく学んでみたいと思います。
- 心理学を通じて、心に悩みを抱える人の助けとなるような人になるための一般教養を深く学びたい。
- 人生の指針となる考え方を身につける。
- 英語のリスニング、スピーキングと語彙をふやす。
- 英語に力を入れて勉強したい。
- 英語。
- 英語を積極的に用いて、留学への準備を整える。
- 1年生のうちに英語力を高める。文系ではあるが、理系の基礎となるような科目も学びたい。加えて、もしかすると社会科教師になるかもしれないので、その履修をする。
- 文系科目だけでなく積極的に理系科目をまなぶ。
- 道徳的な問題など。
- 英語力の向上につながるような講義に力をいれたい。
- 幅広い分野を学びたい。
- 英語。
- 将来の日本の教育に役立つことを学びたい。
- 国際化の中で戦える語学力と主体性。
- 英語で学ぶ全学共通科目にとっても興味を持ちました。将来的に、海外で修士号を取得することを目指しているため、留学を早めに視野に入れて何事にも、積極的かつ早期に取り組んでいきたいと思っています。また、教養は多面的な視野を育むのにとっても大切だと思うので、幅広く履修したいです。
- 教育心理。
- 幅広い分野の教養・語学（特に英語）。
- 自分の得意分野だけでなく、苦手分野にも挑戦し、世界で通用する知識を学びたいです。
- 自分の意見をしっかりと持てるようになりたい。
- 自分の知識として自由に使えること。
- ・外国語                      ・世界の実態
- 一つの分野にとどまらない根底となる知識を学んでいきたい。
- 留学を考えたい。
- 地球など地学的な学習。



- 多方面から物事を見る視点を養い、幅広い分野に取り組みたい。
- 社会人にちゃんとなれるよう、成長する。
- 広い分野に関心を持ち、教養を深めたい。
- 高校までではできなかった、自分が興味を持てる学問の探究。
- おそらく最後となるだろう学生生活で、自分の興味に従って、数多くの経験をしたい。
- 勉強したい分野にしばらず幅広い教養を身につけ、語学をしっかり習得して国際的に活躍できる能力を身につけたい。
- ・自分から求めればきちんと提供してくれること  
・積極的に学校を活用し、国際的感覚を養うこと
- 法についての知識を習得する中で、論理的思考力を磨きたい。また、外国人と交流を持ちたい。
- 変化し続ける国際社会、深刻化する日本国内の諸問題に対し、自分なりの答えを出すために必要な教養と専門知識を広く求め、答えを出すための要素を吸収したい。
- 法曹になること。
- 今まで受験勉強でいっぱいだったが、これからは自分に関係ないと見えることも積極的に知り、視野を広げ、その上で自分というものはしっかりと持ちたい。
- それを探す。
- 将来の進路に対する明確な指針を得るとともに、そのための能力を身につける。
- 世界に通用する人間になる。
- 異なる文化に接し、新しい視点を獲得するための、文化・歴史の理解。
- 社会人としての一般教養や知識を身につける。
- 英語力を高めインターナショナルになる。
- 高いレベルの講義を受けることで将来に向けて力をつけたい。
- 自分の意欲、興味に基づいて法律学を学びたい。
- 専門科目にとらわれない幅広い知識の獲得。
- ・高レベルの授業  
・将来のために計画的に法学の勉強しつつアルバイトやサークルなどに入って、多くの経験をつんだり人の輪を広げたい
- ・国際交流をしたい  
・国家公務員を目指して、一緒に頑張れる友達と共に勉強にいそむ  
・様々な活動をして、社会人になったらできないような経験をしたい
- 未定。
- 自分の進路を考え、心からやりたいと思えることを見つける。
- ・優秀な周囲の人間からの良い影響      ・司法試験合格
- 世界的にも高度な内容を自分の中にかみくだき応用すること。
- 何ごとにも自主的に取り組む。
- 法曹志望なので、司法試験に合格するために必要な知識、思考力を授業、自習を通して身につけたい。
- 生き残るためにとにかく何でも出会って、学んで、血肉としたい。
- 地道に勉学に励み、将来への道を開きたい。
- 幅広い知識を身につける。
- 高校までとはレベル感の違う積極的な学習。
- 高い授業の質を求め、またそれを自身のものとしてできるよう勉学にはげむ。
- ・自らの学習意欲に応えてくれる学術環境  
・自分の興味に従って学んでいきたい
- 英語を学び国際的な見聞を広めたい。
- 本気で取り組むことのできる学問分野を見つけそれに取り組む。
- 地理学と政策科学を軸として、社会の動き方を学ぶ。
- 将来自分の武器になるような力を得るために多方面のことを学びたい。
- 本物を求め、今しかできないことを全力で取り組みたい。
- ・おもろい人に会いたい      ・知らない世界を聞いてみたい
- 様々な分野を学び、多様な視点を持ちたい。また英語も頑りたい。

- 英語、スペイン語が話せるように勉強したい。
- 政治について他人と話し合いながら知識を深めること。
- 全てのことに真剣で取り組みたい（部活・サークルや勉強も）。
- 卒業までに、経歴や環境に依存しすぎず、自分の力で自立するスキルを身につけること。
- 様々な人に出会い、語学、コミュニケーション能力を上げたい。
- 国際的な活動。
- 現代の法のあり方。
- ・新しい自分                      ・国際交流                      ・対話を根幹とした自学自修
- ・刺激しあえる仲間とともに、国際感覚を身につける  
    ・世界に羽ばたく準備をする
- いろいろな広い知識を身につけて、自分の可能性を広げていきたいです。
- 自主的に学ぶ力をつけて、国際的に役立つ人になりたい。
- ・広く、深く学びたい                      ・法学にしっかり取り組みたい
- 自ら積極的に学び、法学がんばる。
- 法学・政治学はもちろん、幅広い分野の学問に触れることで、視野を広げ、どのような問題・課題に対しても立ち向かうことができる力を身につける。
- 学業。
- 自由な校風の下で成長につながると思えること、新たに挑戦できるようになったことは積極的に取り組みたい。
- 英語力をつけるために留学したい。
- 勉強・サークルなど、やるからにはしっかり、本気で取り組み、特に英語を本当に頑張る！！
- これから何を求めるべきで、何に取り組まなければならないか探していきたい。
- ・人間的な経験の蓄積                      ・知識の運用方法  
    ・新しいことを一から積み上げられるという自信を得たいです
- 人の意見に触れたり新しいことを学んだりすることで、一人で勉強するだけでは得られない体験を得たい。
- 受身的な学習でなく積極的な学習。
- 自分の興味を抱く分野に関する知識を求め、それを深く学ぶことに取り組みたい。
- 語学をよく学び、海外でも対応できる知識を身につけ、様々な経験を積みたい。
- 専門分野のみならない広い見識と、深い考察力の根幹を培うために様々な講義やイベントに参加し、交流を深めたいです。
- 優秀な仲間・ライバルに出会う。
- より知識を広げ、社会でやっていく上で必要となる能力を身につけることを目指す。
- 自分が将来進む道を見つけるために、様々なことに積極的に取り組みたい。
- 駑馬十駕の実践。
- 大学でしか触れられない学問と、学部ならではの専門科目の両立。
- より高度な学力を身につけ、社会に出て通用する人物になるための専門的な分野における能力を育む。
- ・向上心のある友人たちとの競いあい                      ・将来の夢へむけて専門的な勉強が楽しみ  
    ・高校以上に勉強したい
- 世の中の事象を深くほり下げて解明することをしたい。そのための知識を得る授業、議論できる仲間を求める。
- 国際法、特に I C A O、I A T A といった国際航空機関と関連した法律や航空事故裁判の判例などの研究。
- 洗練された環境に身を置き、自分の中の可能性を模索しながら向上心を持って活動する。
- まだ決めてません。
- 将来やりたいことを見つけてなれるように法系の学問を学ぶ。
- 自分の学力の可能性を引き出すために、様々な議論がしたいです。
- 多様な価値観を持った国際的な人材になるための教養を学びたい。
- 社会に出て、周囲の人々をリードしていけるレベルの知識の修得並びに人間性の形成。
- ・法科大学院をめざす                      ・勉強以外にも充実した生活を送る
- 世界に通じる学力を身につけたい。
- 自分が興味をもてる教科を探し、それを究めたいです。

- ・高い水準の講義を受け、討議できる友人、教授に出会いたい
  - ・留学にも積極的になり、国際化した世界に対応できるようになりたい
- ・高校よりも専門的な勉強をしたい
  - ・部活やサークルなどで様々な人と交流したい
- 京大の自由な学風の中で、社会を動かすような人材として成長すること。
- ・今まで学んだことに関連する発展的なものや、まだ学んでいない分野のものを学ぶ
  - ・自分の中の見識を増やし、自らを洗練させていく
- 全力で勉学に励む。
- 英語力を高める。
- 英語力の向上。
- 卒業後、検察官として活躍できるための知識と実践力を養う。
- グローバルな社会で通用するような人間になりたい。
- 様々なことに興味をもって、学部の勉強だけでなくさまざまな知識を身につけたい。
- 国際政治などを学んで留学などをしてみたい。
- 興味のあることをとことん追求したい。
- 積極性を身につけたい。
- 幅広い教養と深い専門知識を身に付けたい。
- 自由を求め、勉学と遊びの両立に取り組みたい。
- やりたいことを自由に勉強したい。
- 高度な専門分野の教育を受け、それを将来の仕事等に活かしていきたいと思います。
- 幅広い知識を求め、自分の限界を決めることのない膨大な経験を積んでいけるように様々なものに挑戦したい。
- 国際的な価値観。
- 勉強。
- 教養・語学を学びたい。
- いろんなことを学んで、いろんな人に出会って、人間的に成長したいです。
- 自分の知見を広め、より教養ある人物になること。
- 自分の興味のある分野を深く学びたい。
- 社会に出てから使える確かなものを学びたい。
- ・語学力を向上させる
  - ・学問の素養を身につける
- ただ司法試験に受かるための勉強でなく、将来、法曹となったときに自身の糧となる勉強をしたい。
- 自分の将来に役立つことを求め、興味があることに積極的に取り組む。
- 幅広い分野を学び、国際交流を深めたい。そのためにも留学に行きたい。
- ・学生の立場である以上は、第一に勉学に取り組みたい
  - ・学際的な講義や、他学部の提供する科目にも取り組み、自らの可能性を広げる
- 法律。
- 政治哲学を専攻して、混沌とした現状を打波する一助になりたい。(現行社会秩序の矛盾の解明 e t c)。
- 言語の幅をひろげたい。
- 勉強もがんばりたいけど、部活もやって充実した生活にしたい。
- 幅広い知識に触れて視野を広げる。
- 今までになかった経験をし、自分の視野を広げる。
- いろいろな価値観を持った人々と出会い、幅広く友人作りたい。
- 世界でも通用する人間、京大という看板がなくても認められる人間になりたい。
- 自分のやりたいことや将来の目標を明確にして、それに向かって積極的に取り組み、人のためになることをしたい。
- 基礎的、一般的な教養を身につけ、法学を深く学ぶ。
- ・高校ではできなかった興味のある分野の学習
  - ・国家公務員試験に向けた勉強
- 興味のあることに取り組みたい。
- 様々な人の知見にふれる。
- 法曹界に進むための知識を身に付ける。

- ・ 勉学                      ・ 自由
- 自分の将来に資する勉強をしたい。
- 自分で学習する姿勢をこころがけたい。
- 様々なことを学び世界の人と交わる。
- 様々な人と出会い、様々な事を学び自分の幅を広げる。
- 講義の内容にとどまらず自ら探究心を持って取り組む。
- 自分の学部の分野だけでなく幅広い分野を学びたい。
- 学問を学ぶことを通して、これから自分が仕事をする、何かを成す中で、基礎となるものを身につけたい。  
そのため授業の予復習はもちろん、自分から教養を身につけていきたい。
- 法曹関係の仕事につくため、法律について詳しく学びたい。
- 法律に関することを学び、世の中をよく知りたい。
- 法や政治を学ぶことで、時流を見極める力をつけたい。
- 幅広い教養を身に付けたい。
- 積極的に学び、様々なことに挑戦したい。
- あらゆることに対して、能動的に取り組んでいきたい。
- 可能性を拡げたい。
- 経験。
- 自由を求め、幅広い経験をしたい。
- 高い水準の講義を受け、意識の高い仲間と切磋琢磨し、卒にとられすぎず自由に学問に取り組んでいきたい。
- 物事の根本を成すものを探究する。
- 様々な文野に対する知見を広げたい。
- 専門科目はもちろん、幅広い分野に対する教養を深めたい。
- まじめに勉学に励みつつ、部活動やバイトも真剣に行きたい。
- 自ら積極的に動き、視野を広げた上で、早いうちに自分の将来を考え、それを実現する。
- 志を高くもった友人に刺激をもらいつつ、法について学びたい。
- 知。
- 自分の視野を広げてくれるようなことを学びたいです。
- ・ 自主性                      ・ 新たな体験
- ・ これからの自分を高めてくれること                      ・ 自分を高める
- これまで知らなかったようなことを多くまなぶことでより広い視野を持てるようになりたい。
- グローバルな知識を得るために、積極的に留学生や外国人教員に話しかける。
- 英語。
- もちろん勉強にも熱心に取り組みつつ、学生生活を楽しまたい。
- 自分磨き。
- 法律。
- 将来の目標につながる事、及びそれとは直接関係なくても興味深いこと。
- 国際的に通用する「考える力」を育てる。
- 「外の世界」との交流を行いたいです。
- 自分の興味・関心を積極的に追求すること。
- 新しい分野に飛び込んで色々なことを吸収すること。
- 法学にかぎらず、経済・哲学・文化など、様々なことを学び、知識を広くもちたい。
- 視野を広げたい。
- 自律・自立した主体に成ること。
- 英語力の向上。
- やりたいことを見つけたい。
- 多方面で人と関わって、様々な視点を得つつ、自分自身の考え方や、卒業後の姿勢を形成していきたい。
- 就職、資格試験で有利に働くスキル。
- レベルの高い仲間とそれぞれの目標に向け、互いに良い影響を及ぼし合い、大学でしかできない経験をたくさん積んでいきたい。

- 自由な勉学に取り組み、新しい発見を求める。
- 専門科目に取り組みながら、最終的には、法科大学院及び司法試験にむけて勉強していきたい。
- 自由な校風の中で、自らでやるべきことを設定し、専門的な知識をつけ、社会に出た際に通用する力をつけること。
- 自分を成長させてくれる様々な授業に参加して学力を高め、人間的にも向上すること。
- 社会に出てから役に立つ勉強だけでなく、幅広い分野の勉強をして自らの教養を深めたい。
- 将来就く職業から逆算して、必要な教養に視野を広くもって取り組む。
- ・自分の学びたい学問について、志の高い人たちと議論を交わしたい
  - ・論理的な発言をする力を身につけたい
- 面白い授業を受けて、教養を身に付けたい。
- 専門とする法律を中心として、主体的に考え、自らの考えを表現することに取り組みたい。
- 生涯学びつづけるため、自力で課題を見つけ解決していく力を身につけたい。
- 国際関係の学問に取り組みたい。
- 未定。
- 法学部の専門的な知識だけではなく、幅広い知識をつけていずれは留学して国際的な視野を持てるようになりたい。
- 最高級の授業を求め、自分を深化させてくれるものごとに挑戦したい。
- 分野を超えた広い視野を持ち、深く研究しながら学問の根幹を理解する。
- 国際交流・留学。
- 生涯取り組み続けられることを見つける。
- 学習をいままで以上に。
- ・優秀な仲間との出会い
  - ・自分の興味のある分野の学習
- 英語力を高め、教養を身につけていきたい。
- 広い視野を持ち、現場の事情にも精通した弁護士となるために基礎理論を重視しつつも、実地にも積極的に出ていきたい。
- 外国語をしっかりと学び外国人との交流がとれるようにする。
- 日々の学習を通して、自らの見識を深めるとともに、周囲の人々との交流を通じて、豊かな人間関係を構築していきたいです。
- ・法曹界に進むに足りる知識
  - ・志を求めため、勉学に熱心に取り組みたい
- 専門の法学だけでなく、はば広い分野について学び、視野を広げたい。
- 友達との交流や広い読書・語学学習。
- とりあえずの目標として法曹を目指したい。素敵な物が落ちていたら順次拾っていきます。
- より、見える世界が広がるような多くの知識を求めており、それを以て、社会に献身できる生き方を探することに取り組みたいです。
- 色々なことに挑戦して、充実した生活を送る！
- 司法試験に向けて頑張ることに加えて、広い分野について学んで視野を広げたい。
- 自分の考えを明確にし、それを発信する力を身につけたい。
- 積極的な学習姿勢を身につけるとともに様々な学問に関心に向けて視野を広げたい。
- ・幅広い知識を身につける
  - ・国際感覚を養う
- 法学の知識を習得し、英語・中国語をつかえるようにする。
- 多くの人との交流から様々な考えを理解し、多くの経験を積むこと。
- あらゆる教養を見につけ、社会に出る準備をしたい。
- 留学などをして色々な世界を知る。
- 英語をちゃんと使えるように大学が提供する様々な機会を利用したい。
- 語学への理解を深めたい。
- 自学自習につとめ、様々な教養を得たのち、専門科目を勉強したい。
- 自分の興味のある分野（政治学・歴史）はもちろんですが、様々な文野に関わりたい。
- 深く考える力を得る。
- 知識に貧欲になりたい。
- 自分探し。



- 日本と海外の憲法や刑法の違いとその理由。
- 興味を持ったこと。
- 文理を問わず、地方の再生に役立つ可能性のあるすべてのこと。
- 国際的に役立つこと。
- 幅広い分野の知識を学びたい。
- 英語を学んで世界を広げたい。
- 将来社会に出ても通用する英語や社会性などを身につけたい。
- 自分の専門以外の分野。
- 文系科目にとどまらず広範な知識を得れるもの。
- 専門科目の基礎となり、また幅広い視野を身につけることができるような多様なことを学びたい。
- 自分の視野を広げるような様々な分野の授業をとりたいと思いました 特に語学をがんばりたいです。
- 自分の専門とはかけ離れているように見えるものから、共通点を発見したい。
- 様々な分野の基礎となる学問。
- 自分の興味を優先しながらも英語で学ぶことにも挑戦。
- 現代社会で生きていく上で必要なことを興味のあるなしにかかわらず幅広く学びたい。
- 英語を上達し、専門、教養ともにしっかりとやりたい。
- 経済学と、心理学に興味があります。
- 英語での自然なコミュニケーションやプレゼンの方法。
- 将来の基礎となるもの。
- 特に語学の力を深めて、海外でも実践できる力をつけたい。
- どんな人物とも話ができるように、法学のみにとらわれない学問。
- 人文系において、特に現代社会になってあらわれはじめた諸問題を幅広く学びたいと思った。
- 物事を表面的でなく根源的なところから考える糧となること。
- 専門科目では学ばない、別分野でありながら、専門科目にも生きそうなこと。
- 英語に真剣に取り組みたくなった。
- 英語。
- 自分たちの知らない、物事の側面、世界の現状を知りたい。
- 興味がない分野にもあえて挑戦。
- 将来、必要とならないかもしれない分野も含めて幅広い内容の事象を知りたい。
- 英語。
- 外国語。
- 身近な人から世界中の様々な人まで、たくさんの人と交流するために外国語を身につける。
- 英語。
- 英語を大学に入ってからさらに高いレベルで学びつづけたと考えました。
- 幅広い知識。
- できるだけ自分の専門から離れた科目。
- 法学にかかわらず、数学とか心理学とか学びたい。
- ・学部の枠にしばられない学問                      ・実用的学術的な英語
- 色々。
- 自分の専門に役立つとともに、それにとどまらず将来的に役立つこと。
- 海外で働ける程の英語力。
- まずは、英語を話せるようにし他の学問の手段にできるようにする。
- ・専門的に学習したい分野だけでなく、様々な分野の基本的な知識を身につけたい  
   ・英語で行われる授業を積極的に受講して、学術英語を習得したい
- 文系、日本語にとらわれない、広く深い知識。
- 英語やフランス語など国際理解につながることを学びたい。
- 自分の視野を広げられるように様々な分野や多様な考え方を学びたいと思う。
- 法学部として重点的に学んでゆく科目に応用できるような知識や考え方。
- 法学系のものとは関係がない科目、具体的には比較認知学など。
- 英語で学ぶ全学共通科目。

- 外国語による論文作成。
- 語学（英語、独語）にも力を入れる。
- 実際に使える英語。
- 自分にしかできないこと。
- 理系科目（主に物理）。
- 法学だけでなく様々な分野を学びたい。
- 英語・中国語の実践的な力。
- 理系科目。
- 英語力をおとろえさせず、更なる向上を目指すと同時に、環境、差別、貧困、経済等これからの社会が対面しなければならぬ問題に対し、主体的に、自分の意見を持ってとりくめるようになりたいと思います。
- 自分が今まで触れなかったような領域。
- 法学の専門学習に役立つこと。
- まだよくわからない。
- とにかく英語！！
- 国際的な感覚をやしなりたい。
- 英語とか、語学中心に…。
- 国際的な視点を身につけるために英語をがんばります。
- 英語。
- グローバルな教養を身につけたい。
- 法学の専門科目につなげられるようなこと。
- ・法学・政治学はもちろん、幅広い分野の学問に触れることで、視野を広げ、どのような問題・課題に対しても立ち向かうことができる力を身につける
  - ・色々な物ごとの捉え方、考え方を学びたい
- まだわからない。
- 法学を学ぶ上で一見不必要に思える分野を新たな視点を得るために学びたい。
- ・異文化について                      ・理系科目も
- 留学も少し視野にいれ、外国語、特に英語を頑張って学びたい。
- 世界の水準に劣らない知識。
- 大学でなければ触れられないような分野。
- 自分の知らない文化や地域ごとの特長などを学べる分野。
- 専門科目だけにとらわれず、幅広い教養を見につけること。
- 自分の学部に関連する科目だけでなく様々な系統の科目。
- 幅広い分野について学び、知識を豊富にしたい。
- 外国人とコミュニケーションできる英語や理科系もさわりくらは学びたい。
- ・国際感覚を身に付ける
  - ・関西圏（とりわけ京都、大阪）の世界における特色・相対的地位について考えたい
- 宇宙物理学、日本史、哲学など。
- 専門教育で役に立つ基礎となるようなこと。
- 人の心。
- 哲学や政治学など、概念的な学問。
- グローバル化する社会についていけるような英語力。
- 身の回りの社会のこと、現象について深くほり下げること。
- 法や政治に関連した学問だけでなく、幅広く気象や地勢といったことも学びたい。
- 将来に役立つ科目。
- 理系科目にチャレンジしたいです。
- 英語等の外国語。
- 社会人として恥ずかしくないよう、総合的な良識を身に付けたい。
- 幅広い知識と実践力。
- 様々な授業を受けて、特定の知識ではなく、幅広い知識を身につけたいです。
- 自分の興味・関心のある分野はもちろん、今まで興味をあまり持っていなかった分野も幅広く学びたい。

- 英語で授業が行われる教養。
- 学部に興味のある分野だけでなく、文理の枠を超えた学術的知識を身につけること。
- ・国際政治                      ・公共政策                      ・経済学                      ・西洋史
- 語学をみがく。
- より高度な英語。
- 英語。
- 法学に関することだけでなく幅広い知識を身につけることで、社会で役立てる。
- 英語。
- 国際社会に通用するような知識。
- 心理学や英語での一般教養科目を受けたりしたい。
- 興味のあること。
- 他人と交流する際に役立つ知識。
- 分野にとらわれず様々なこと。
- 人の役に立つこと、未来に羽ばたくつばさがあるものを学びたい。
- 学部にとらわれず幅広い分野のこと。
- 様々な学問の基礎となる教養を身につけて専門科目の勉強や、普段の生活に活かしていくこと。
- 大学時にしか学ばないようなことを多く学び、これからの社会生活に活かせるようなものを学んでいきたい。
- 国際的なこと。
- 環境。
- きちんと理系科目も学ぶ。数学から逃げない。
- 法学だけでなく、語学や哲学も学びたいです。
- 今はまだわかりません。
- 自分の興味のある事を中心とし、多様な分野の教養を身につけたい。
- 広い分野に視野を広げて様々なことを学びたい。
- 英語。
- 法学はもちろん、それに結びつく英語や政治・経済。
- 文理の科目に拘らず、面白いと思う科目を学ぶ。
- 人文・社会系など、法に関することではないことでも広く学びたい。
- 特定の分野だけにこだわるのではなく、様々な分野の教育を受け、教養を深める。
- 幅広く様々なことを学びたい。
- 哲学、文学を重点的に、物理化学にも関心を持ってやっていきたい。
- 言語系や芸術論について学びたい。
- 心理学とか。
- 英語の学力の向上。
- 使える英語。
- これからの人生に役立つような実用的なものを学びたい。
- 日本の文化。
- 法学。
- 英語力をさらに伸ばしたい。
- 将来的に基礎となること。
- 幅広い知識を獲得する。
- ・メディア                                      ・宇宙系統
- 環境・経済・社会など。
- 語学に関すること。
- 幅広くたくさんの科目を学ぶ。
- 英語などの外国語を扱う能力と、様々な人と交流し理解するグローバル的な感覚。
- 学部とは直接関係のない分野も学習し、視野を広げる。
- 特に世界史を、地理や経済、国際関係をからめて広く学び、これからの世界の動向を知る一助としたい。  
英語をしっかりと学び、海外の優秀な人々とも話や仕事がまともにできるようになりたい。

- 苦手な理系の分野。
- ・経済                    ・歴史（西洋史）
- 幅広い分野を学びたい。
- 幅広い分野の知識を得て、多様な視点を持ちたい。
- ・日本史                    ・心理学や行動学といった人間に関わるもの
- 専門と違う分野でも、興味を持って広く学びたい。
- 今まで触れてこなかった分野にも関わり、経験を積みたい。
- コツコツすること。
- 何か新しいこと。
- いろんなこと。
- 特定の学問について深めつつも幅広い分野について学ぶ。
- 理系の科目も学んでみたい。
- 自分が今まで知らなかったことを知れるものを学びたい。
- 分野にとらわれない幅広い知識を身につけ、国際的な理解を深めたい。
- えいご。
- 積極的に行動し、視野を広げて自分自身を見つめられるような学び。
- 語学力を向上させたい。
- 全く興味のないこと。
- 幅広い教養となるもの。
- 特になし。
- 専門に関係あることだけでなく、直接は関係のなさそうなこともやりたい。
- より深く英語を学びたいと思った。
- 社会に出た時に必要あるいは有利になる知識。
- 英語。
- 英語をもっと深く学び、最新の海外の学問にも触れてみたい。
- 英語。
- 国際系。
- 「今できること」は「今しかできないこと」だと思うので、留学や国際交流を視野に入れつつ、どん欲に、責極的に何でもやってみたいです。新しいことにチャレンジしたい。
- 社会をわたり歩くのに必要な社会のこと。
- 自分の専攻以外のことも学んでいきたい。
- 上にかいたように、広い知識を持てる様、学びたい。
- 物理学。
- 色々。
- 理系科目。
- 実用的な英語。
- ・大学にいる間しか学べないような学問                    ・大学卒業後に活用できるような知識
- 法律につながること。
- 文系理系の枠に捉われず、様々な分野について多くのことを学びたい。
- 国際社会に出られる英語力を身につける。
- 勉強に集中できる時間は限られているので予習、復習を欠かさず、各科目の内容を吟味して新たな発見ができるような生活をしていきたい。
- ただ知識を得るだけでなく、人間性や倫理性についても目を向けられたもの。自らと異なる見方をもつ人間との意見の違いを客観的に理解できるように助けになるもの。
- 今日の、グローバル社会の社会人としてふさわしい教養。
- 文系の枠にとどまらず、理系の興味ある分野も学びたい。
- ・法学に関わるものを幅広く                    ・社会科学、政治、経済にも取り組みたい
- 法の成り立ちを学びたい。
- 世界史や宗教論、法理学 e t c。
- 法学部という分野にこだわらず、理系分野も含め幅広く学んでいきたい。



- 語学に力を入れたい。
- 文系科目だけでなく、理系科目など、様々な分野の科目を学習したい。
- 2回生から本格化する専門科目への土台づくりと視野を広げること。
- 国際的な仕事ができるほどの言語力をつけるため、外国語を学ぶ。

(5) 経済学部 (アンケート提出率 97.2%)

**Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？**

**A. 以下のとおり**

- ・将来のことを考える                      ・いろいろなことに挑戦する
- がんばる。
- 自由。
- 経済の正体が何か、少しでも分かればいいなと思う。
- 経営学、海外研修。
- 自分が何に興味をもっているかを様々なことを経験して見つけていきたい。
- 知識を求め、積極的に授業にのぞみたい。
- 専門だけでなく、幅広い教養を身につけたい。
- グローバル性。高校は文系科目ばかり勉強していたので理系科目を勉強したい。
- 高度な教育を求め、様々な技能を身につける。
- 英語力を高め国際社会に対応するスキルを身につけつつ経済関連の資格の勉強がしたい。
- 質の高い人々に出会い、互いに高め合うこと。自ら課題を見つけ、勉強すること。
- 単位を求め、早々に就活に取り組みたい。
- 今後、何を求め、どんなことに取り組みたいかを見つけない。
- 見聞を広めるために、様々なジャンルの人とコミュニケーションをとる。
- まず英語をしっかりとる。国際化のなかで役にたつ教養。
- 多方面・多様な科目の学習をしたいです。海外への留学もしたいです。その中で自分のやりたいことを見つけない。
- 多様な人間関係や学問を通じた人間的成長を求めている。
- 求めれば求めるだけ知的世界の奥深くをのぞける。それを自由に愉しみながら、思考力や、教養を培っていききたい。
- 京都でしかできないことをしたい。
- ・知識の蓄積                      ・外国語の修得
- 新しいことを創造するために修行を積む。
- できるだけ広く深く学びたいです。
- 一般的な人間の行動様式を決定づけるメカニズムを社会における経済の原理から読み解く。
- 充実した生活をおくりたい。
- 自立して生活ができるようになり、経済について詳しく学びたい。
- 国際交流。
- 外国語を習得し、海外と積極的な交流をすること。
- 今後の方向性をよく考えて頑張りたい。
- 学習や友人との交流を通じ社会に出た時に役立つ豊富な経験を得たい。
- 自分のやりたいことを見つけて、本気で取り組む。
- 自分の学びたいことを学習する。
- グローバル化の中で英語や他の言語を学びながら、経済学を学んでいきたい。
- ・英語の力を伸ばしたい                      ・留学したい                      ・積極性を身につけたい
- 良い友を求めたい。英語と、経営の知識を学びたい。
- さらに勉強して、社会に出る最後の調整をしたい。

- 自立して学習する。
- 日本人としての自分をつくる。
- 日本の伝統が詰まった京都という土地で、世界で活躍できる人間になるために、多面的な思考ができるようになりたい。
- 柔軟に多角的な視点から総合的に物事を分析する能力を養成したい。
- 広い視野を持って、色々な経験をしたい。
- 社会人として生きていく上での教養を身に付けるために、自立して物事にとりくむ。
- 他の人とは違う、特性のある魅力的な人間になりたい。
- 国際教養と英語力。
- 将来的に自らビジネス等を行う際、自分の能力不足が障害にならないよう、様々なことを意欲的に学びたい。
- 人との出会いや新たな知による刺激により、興味を持った事柄に、創造的にとりくみたい。人間について学びたい。
- 社会貢献。
- 一生の糧になることを探し求め、取り組みたい。
- それを見つけたいです。
- 経営学、ディベート力。
- 自分の時間が取れる時期なので、留学や勉学、それ以外のスキルの向上などに臨みたいです。
- 幅広い教養を身につけたい。
- 広く人に情報をまとめ、伝えられるようになる。
- 興味分野の追求。
- 自由な学風をもとにして、様々な学問に触れ、その先の真理を追求するための必要な所が京都大学であると感じます。
- 英語を話せるようになること。
- 豊かな学習環境。英語や地理学、自己発見に努める。
- 自分の能力の限界を勝手に決めず、前向きに挑戦すること。
- 専門知識を修め、多角的に物事をとらえられるようになりたい。
- 経営についての自習研究ができるように。
- 自主性、自らで計画した物事の達成。
- 幅広い交流により自分の視野を広げる。知識の育成。
- 自由な学風の下で、サークル活動、勉学に自発的に取り組みたい。
- 高校生の時より詳しく実践的な学習をしたい。
- 自由な校風と評されているので、形式にこだわらず、また様々な分野の研究に取り組みたい。
- 自分にとって興味のある人文社会学系の分野について深く勉強したい。
- 自由を重視した学風の下で、自分の興味あることを積極的に学ぶこと。発展途上国における経済発展と、その影響について学びたい。
- 自分の専門科目だけでなく、文系、理系関係なく幅広い知識を身につけたい。グローバル化の時代だからこそ、日本について多く学びたい。
- 国際交流の機会を求め、留学生との交流に積極的に取り組みたいです。
- 他の学生や先生方との交流を通して、政治・経済・文化・芸術など幅広い分野のことを学習したい。
- 幅広く勉強したい。
- 自分の本当に勉強したいことを見つけていろいろな人と交流する。
- あらゆる分野で基礎となる教養的な知識を求め、興味の幅を早い段階で狭めずに大学でしか学べないような専門的なことも沢山学んでいきたい。
- 自分で学習計画を立て、しっかり勉強できるようになりたい。
- ・様々な分野に目を向けて、幅広い知識を手に入れたい
  - ・サークル活動等も含め、様々なことにとりくみたい
- 視野を広げるために幅広く様々なことに取り組みたい。
- 自分の興味・関心を伸ばし、それを生かされるようにする。
- 英語力の向上、経済学を一から学んでいきたい。

- 充実した日々。
- 社会人としての高い教養を身につけること。
- 英語を自分のものとし、英語で興味のある経済を学んだり友達をつくって、自分の世界観をひろげたいです。
- 他の国の人と関われるように能動的に英語を学びたい。
- 経済学。
- 語学力をつける。
- 教養深い人間になる。
- ・様々な人脈や経験を求め、勉強のみならずクラブも取り組みたい
- 学問をやりたい、特に経済系。
- ・経営の理論などを学ぶこと                      ・英語や外国語で学べるようにする
- 学問的知識を深めたい。
- 幅広い視野や教養を身につけたい。
- 将来の事を語り合う友を作る。
- 自らの資格取得のための技能を身につけるだけでなく、留学などを通し、様々な視点で周囲を見て、多くの人と交流していくこと。
- 経済の勉強を通して、もっと社会や人間について知り、留学生とも交流しながら自分の世界を広げたいです。
- 多分野に渡る教養。
- 自分の知らないことがたくさんあるので、とにかく積極的にさまざまなことに取り組みたい。
- 語学に力を入れ、留学をしたい。
- 何事においても新しいことやより深いことに挑戦しつつ、様々な考えを持つ人と交流し、多くのことを知り体験していきたい。
- 英語力が低下しないよう継続的に学習したい。
- 経済・経営について学び、将来実践とつなげられるような学びをし、国際的な経験もしたいです。
- 様々な学問を修めたい。
- 経済学。
- 個性豊かな様々な人に出会って、自分の世界を広げたい。
- 入学にとどまらず、自主性、向上心を忘れずに高度な学問を追究したい。
- 様々な人や学問とであい、自身の視野を広げる。
- 自分が本当に興味を持てる内容を見極める。
- ・個性的な人達との出会い
  - ・これから自分が役に立ちそうだと思う分野を徹底的に取り組む
- ・何か1つ追究したいものをみつけ、それを極めつつ、学業と両立させる
  - ・立派な大人になる準備をする（精神面、金銭面）
- 様々な人々との出会いを求め自分の見識を広めれるような活動に取り組みたい。
- 社会に必要な知識の吸収。
- ・経済×心理                      ・京都の風土を楽しむ
- 教養を身に付ける。
- 英語力を高め、経済学を学ぶ。
- 高度な教育を受けたい。
- 自身の教養を深めたい。
- 知識人になりたいと思うので多くに手を出したいです。
- ・自身の興味をかきたてる分野に出会うこと                      ・関心のある事柄への理解を深めたいです
- 英語力、経済に関する知識を深めたい。その為に様々な活動に参加したい。
- 英語を中心に勉強し、経済関係の知識を高めたい。
- 興味のあることに取り組みたい。
- 専門知識の運用力と英語力。
- 専攻する科目に限らず幅広い教養を身につくことを求め、様々な人との交流、知識を吸収し表現できるような勉学に取り組みたい。

- 様々な機会をいかして多くの経験をする。
- ・将来会社を経営するために必要な基礎力                      ・経営について+野球
- 学問、スポーツ、遊びのバランスがとれた生活をする。
- やりたいことをやる。
- 実社会で通用する能力の獲得。
- いろんなことにちょうせんしたい。
- 高校生までで学ばなかった専門的なことに取り組みたい。
- 使える人材になるための学び。
- 自分の学部の専攻科目以外にも様々な授業を受けて、自分とは異なる意見を持つ教授や仲間に出会い、自分の将来の進路を明確にしていきたい。
- 大学でしか学べないことを学ぶ。
- 経済政策を中心に一般教養等含広い学問を履習し、経済についての専門知識を身に付けたい。
- 将来経営者として成功するため、あらゆる物事を広く浅すぎず学び、経営学について深く学びたい。
- ・常識のある人になること                      ・人間としてまともな人になること
  - ・自由の中でも自律して生活すること
- 将来は、遠山啓の主張する「観」教育を重視する中学校・高等学校を創立したいと考えているので、本学では、そのために必要なリベラルアーツと経営学を学び、同じような志を持つ仲間を集め、それ以外にも留学のための英語の勉強に励み、豊かな人間性形成のためにもサークルやボランティアに取り組んだりしたいと考えます。また、ボランティアで培った、「自発性（ボランタリー性）」をもとに、社会をよりよい形に作り変えていくために自己組織化して教育系のNPO法人を立ち上げたいと考えております。
- 内容が濃く、自分の為に役立つ授業をしっかりと聞き、今後の生活に反映させる。
- 勉強。
- 高校までとは異なる専門的な学習。
- 経営のプロフェッショナルを目指して、幅広い視野をもてるような学びをしたい。
- 広範囲の分野の知識と公認会計士を目標とする学問の吸収。
- 勉強にはげむ。
- 会計学を学んで公認会計士の資格を取る。
- ・知識を多く得て、物事を自分で考えられるようになること
  - ・とりあえず英語に取り組みたい
- 英語力を高め、教養を身につけ、国際的に活躍できる人材になる。
- 規則正しい生活をつづけること。
- これから探す。
- 様々な知識や視点を学び、社会で通用する大人になりたい。
- 経済を中心に多くの分野を学びたい。
- 自学自習の習慣を身につけたい。
- 専門に関する高度な知識を得るために一生けん命頑張りたいです。
- 学問研究。
- 自分のやりたいことを見つけてそれを追求する。
- 自分のやるべきことを見つけたい。
- 多くの友人とともに色々な経験をし、学業では経営についてたくさんの方のことを学ぶ。
- 自分の人生を豊かにするような活動。
- 将来の進路にとらわれず、おそらく専門外になるであろう内容についても幅広く学びたい。
- できるだけ様々なことに取り組みたい。
- 経済学だけでなく、幅広い分野の知識を求めて、様々な分野の勉強をしたい。
- ・経済の勉強をがっちりやりたい                      ・英語の力を身につけたい
- 日本を知りたい。
- 国際性豊かな京都の雰囲気を利用して様々な考えの人と交流する。
- ・他人とぶつかっても揺がない、実力ある強い人間になれるような経験がしたい
  - ・語学は勿論、世を見る力を大学生活を通して培っていきたい
  - ・欧米への留学にも是非参加したく思っている

- 豊かな国際性を身につけ、自分の知識や言葉で世界に向き合える人間になるため、語学を中心に積極的に世界へ羽を広げようとする。
- 様々な視点から物事を見て、考えられる視点を身に付けるため、分野・国境を越えた取り組みに参加したい。
- 社会にでても活躍できるようプレゼンテーション能力を高めたり、国際社会に対応できるようにしたい。
- ・将来役立つようなスキルを身に付けたい                      ・英語とか経営学とか…
- 実学に近い虚学を求め、世界のエリート層とわたり合える知力を得たい。
- 視野の広い人間になることを目標に自分の学びたい科目に積極的に取り組みたい。
- 自分のやりたい仕事をやりぬく。
- 社会に出て通用する何らかの能力を多く身につけること。
- 教養を深める。
- 様々な人と関わり、その考え方にふれることで自己の考えをより明確にもつとともに自身の興味ある分野の勉強・研究に力を入れたい。
- 国際感覚・英語運用能力を身に付ける。
- 自主的な学習によって、世界を舞台に活躍できるように、まず言語を十分に学んだ上で、それを有効に発揮できるように幅広い知識と独自の考えを持ちたい。
- 広く深く正しい知識を基にした適切な行動。
- 公認会計士などの資格に興味があるので、それらに関連することにも触れていきたい。
- 学びたい学問や自分の知らない学問を学び、人生を多いに楽しむ土台としたい。
- 社会の大きな部分を占める経済の仕組みを知ること。
- 興味のあるものに対して積極的にとりくむ。
- 自分の視野を広げ、また興味関心のある専門分野についての知識を深めるため、多くの人と交流を持ち、自ら積極的に学びたい。
- 広く教養を身につける。
- ・学習やサークル活動など、幅広い面において充実した学校生活  
・英語を積極的に学習したい
- ・高度な学問や技能                      ・国際的な教育活動
- 自分の好きなことを学び、それに対する深い知識を身につけたい。
- グローバルな視点を持った、国際社会に貢献できるような人材になれるよう、他の人が驚くような発表力、そして適格に考えを伝える発信力を身に付けたい。
- 社会に貢献できるだけの知識、考え方を身に付け、日本や世界の経済を上手く回す手助けになることを探し、取り組みたい。
- ・優秀な他生徒との交流                      ・英語力の向上
- 短期留学をしたいと思っている。
- 自々が関心のあることについては積極的に取り組みたい。
- 外国語をしっかりと学ぶことでグローバル社会に適応できる能力を鍛えるとともに日本語での講座もしっかり利用し、教養豊かな人間となること。
- ・英語をあたり前に話せるようになりたい                      ・企業で即戦力となれるような経営知識を身につけたい
- 学びに関する理解を深め、特に英語を日常で使えるようにしたい。
- 真面目に勉学に取り組み、充実した4年間をすごしたいです。
- 様々な人と関わり、社会がどういうものなのか知るための勉強がしたい。
- ・やりたいことをやる                      ・経験値を積む
- 違う分野の学問の考え方を組み合わせて、新しい研究を始めたい。
- 自立して生活を送り、興味のある分野（環境）に思う存分没頭して研究したい。
- 自らの狭い見を広め、また、今日の経済事情の解明と解決策の思索を行ってみたい。
- ・いろんな分野に触れながら、総合的かつ実戦的なスキルを身に付けたい  
・英語を学びたい、国際教育も受けたい
- ・専門知識の勉強                      ・語学力の向上                      ・海外交換留学などを行い友達作り
- べんきょうしよう。
- 自分から動いて学ぶこと。

- ・可能性を広げる教養、学力が欲しい                      ・語学、数学をまずしっかりと身につける
- ・新しいことに挑戦する
- 京都にいるからこそ学べる物事を学ぶ。
- ・将来につながること                      ・大学生の間しかできないようなこと
- 経済学や経営学について主体的に学習しつつ、英語学習に力を入れ、留学を経験したりしてみたい。
- 英語技能の修得。
- ・英語力の向上                      ・人脈を広げる
- 楽しさを求め、勉学に取り組む。
- 様々な価値観をもつ人達と出会い、視野を広げる。
- ・多様な人々との交流を求める
- ・自らの意見を論理的に発表できるようにコミュニケーション技術の向上に取り組みたい
- ・自主性を持って、世界を渡り分けるだけの語学力
- ・社会人になったときに備えての経営学
- ハイレベルな人々との出会いや、新たなことへの挑戦。
- 多方面に渡って学問を広げていきたい。
- 全国から集まった優秀な人材や留学生と積極的に交流し、様々な意見を聞きたい。
- 自分の興味関心に応じ、おもしろい講義を積極的にうけていきたい。
- 社会に出る際に必要な力を身につける。
- 今までの知識をもとに、経済の深部を追求したい。
- めぐまれた環境の中で、社会にでても誇れるような自分になれるよう自分磨きを行いたい。
- 人間としての深みを得るための学びを求め、物事を多角的に考えられるように講義を多様に受けたい。
- 英語を勉強して、たくさんの人とコミュニケーションがとれるようになりたい。
- 国益のために自分ができるものを見つける。
- 多くの人との出会いと、目標となるようなことを見つけ、それを目指す過程で今まで、自分の知らなかったたくさんのことを学びたい。
- 日本のトップレベルの大学である京都大学の自由な校風のもとで興味のあることにはどんどんチャレンジし、内容の濃い学生生活にすること。
- 国際人として、そしてグローバルリーダーとして生きていくことができるように学習する。
- 様々な分野で一流の人と出会って、自分の知的世界を広げたい。
- 様々な挑戦をしたい。
- 興味のあることを効率よく学ぶこと。
- 今までに経験したことがないような価値観を変えてくれるもの。
- 勉強、サークル活動と国際交流に取り組みたいです。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- まだ決められない。
- がんばる。
- 幅広い分野。
- 自分の思考の土台となる分野に触れたいと思う。
- 英語、ディベート。
- 幅広くいろいろなこと。
- 政治、経済、国際関係、英語。
- 広く自らの興味を満たしたい。
- 文理の垣根を越えたことを学習したい。
- 文系・理系科目関係なく様々な分野の学問。
- 英語を頑張りたい。
- 今まで関心のなかったことにも取り組む。

- 人文系の授業、近代・現代の世界史など。高校までではできなかったニッチな内容のもの。
- 外国語。
- まだ日本に入ってきていないような最先端の研究の成果。
- 多種多様な学習をして視野を広げたい。
- 語学は特に頑張ろうと思った。
- 物理。
- 国際社会で生きていくうえでの素養。
- 論文が読める程の英語の力を身につける。
- 国際社会に通用する学問。
- 現代に至るまでの人類の学問における営為を理解できるような講義をとり、学びたい。
- まだ思っていない。
- 文理の幅を超えた全般的なことを浅くてもいいから学びたい。
- 理系科目。
- 数学などの理系科目。
- 近年のグローバル社会に適応するために必要であり様々な学問の根幹となる確固たる知識を身に付けたい。
- 将来までずっと自分の生活に役立てていけるように学びたい。
- 語学力。
- 自分の学部における専門分野のみでなく理数のような科目にも取り組みたい。
- 理系科目もとりたい。
- 自分の専門分野だけでなく、哲学や法などを学んでみたい。
- 幅広く、かつ深く多様な分野。
- 文理を問わず幅広い科目を学習しようと思う。
- 将来に必要なこと（英語、数学等）はもちろん、興味のあることを積極的に t r y し、頭を刺激したい。
- 英語を使いこなせるくらいできるようになりたい。文系だけど数学をやりたい。
- 物理・数学といった文系科目とは対極にあるものもじっくり学んでいきたい。
- 先入観にとらわれず、幅広く学びたい。
- 国際社会の中で通用する言語能力と、今後の生活に活用できる知識。
- 自分の興味があることを優先して勉強したい。
- 文理問わず自分の興味のあること。
- 英語が大変そうなので、がんばりたい。
- 社会でのマナー。
- 専門文野につながる学問。
- 未定。
- 実践的な英語力をつけれる授業。
- 広く世界に通用するように、多くのことを学びたい。
- 理系基礎科目。
- 考えるための基礎。
- 社会学系統。
- 哲学や類学、きそ科学など。
- 経済・経営に関する専門的な知識。
- まだ分からない。
- 国際的に活躍できるほどの英語力とコミュニケーション能力。
- 英語で受ける講義に参加してみたい。
- 世界で活躍できる英語運用力。
- 幅広い交流により自分の視野を広げる。知識の育成を達成するための方法。
- 幅広い知識を身につけたいので、経済学以外の分野も学びたい。
- 特に英語を学びたい。
- 単にうわべだけの学習ではなく、物事の核心をつくような学習をしたい。
- 経済学だけでなく、これまで触れられなかった分野についても学びたい。
- 外国語、経済の基礎から応用的なことまで。

- 京都で学ぶ日本とアジア。京都にある大学ならではの授業。最先端の理系研究を英語で学ぶための、理系科目の基礎教養。
- 幅広い視野をもつために、幅広いことを学びたいと思います。
- 文系だったので、数学や理科を詳しく学びたい。
- 幅広く勉強したい。
- 世界に出ても恥ずかしくない教養。
- 世界に引けをとらないレベルの英語。
- 特に英語の能力を高め、英語でのコミュニケーション能力を高めようと思った。
- 興味のあることだけでなく、普通に生活していたらふれることのない事柄も学びたい。
- 世界で通じる能力の基礎ステップとする。
- 経済学に必要な基礎数学力を身につけたい。
- 幅広い知識を得たいです。
- 大学でしか学ぶことのできない専門的分野。
- 日本人として日本のことを説明できるような授業を学びたいと思います。
- 海外で交流ができる方法。
- 英語。
- 経済系。
- 学問に打ち込み、楽しめるような人間になるために、様々なことを学びたい。
- 英語・独語。
- 自分の知らない、または興味のないことを積極的に学びたい。
- ・心理学                      ・哲学                      ・英語で学べる授業
- グローバルな考え方を身につけたい。
- 語学を中心に、国際的な教養を身につけたい。
- 国内、国際政治状況。
- 自分の専門科目だけでなく、自然科学にまつわること。
- 統計学とか興味があります。
- 社会に出たときに役立つこと。
- 専門科目のベースとなるものはもちろん、留学先でしか学べないことも多く学んでいきたい。
- 自分の特に興味のある分野と自分の専門と全く関係のない分野。
- まだ特に考えていないのでとりあえず幅広く学習したい。
- 現在の国際情勢や日本の政治についてなど。
- 英語。
- 経済学。
- 数学。
- 理系科目も含め幅広く学びたい。
- 哲学。
- 英語の授業。
- 歴史など自分が興味を持つものはもちろん、数学など避けて通るべきではないものも学びたい。英語も。
- ・様々な分野に通じる、文理の枠を越えた学問、知識
  - ・どんどん挑戦していきたい
- 英語と経済関連。
- 自身の自己力向上に役立つこと。
- 経済×心理。
- 外国語を中心に学びたい。
- まだわかりません。
- 専門教育の基礎となる知識。
- あらゆることを学ぶ。
- 最終的には質問される存在になるように多くを知りたい。
- 今までおろそかにしていた英語を一から勉強しなおそうと思いました。
- 「英語で学ぶ全学共通科目」にチャレンジしてみたい。

- 英語。
- 今まで知ったこととつながるようなこと。
- 政治。
- 英語の講義を受講したい。
- 語学。
- ・世界に通用する英語力                      ・文系で、あえて理系のもの（数学、物理）
- 自分の狭量な価値観を改めること。
- やりたいこと。
- 人生に役立つこと。
- 海外でも通用する英語力。
- 日本のことだけでなく海外のことも学びたい。
- 自分の人生、そして他人の人生の豊さにつながる学ぶ。
- 行動心理学や、教育学を学びつつ、経済や経営も学んでいき、教育における経済のあり方の学習を進めたい。
- 専門科目に役立つようなこと。
- 文系学問の講座のみならず、理科系・拡大科目等多様な分野の講義を取り、専門の経済学と理系分野との接点を見出だしたい。
- 語学や高校では学んだことのないもの。
- ・興味があること                                      ・社会に出て困らないための常識
- 荻谷剛彦さんが主張する「知的複眼思考」や「問題提起&解決に必要な知的背景」を滋養するのみならず、文理を越えた学際的思考をも活養することができるよう、シラバスから、自分の将来のビジョンも見据えて履修登録をしてゆきたいと考えております。
- 必要最低限のこと。
- 文理問わず幅広い分野の教養。
- これからの専門学習に向けての基礎となること。
- 文理関係なく、自分の興味のある分野を学びたい。
- 多分野にわたる様々なこと。
- ・英語の重要性                                      ・留学情報                                      ・KURASIA運用情報
- 英語を自然に読んだり話したりできるようになりたい。
- 歴史、経済経営に関連すること。
- 興味がある分野を深く学びたい。
- たくさんの分野を、基礎の範囲で学びたい。
- わかりません。
- 語学関係。
- 英語。
- 英語と、専攻に関わらず、自分が興味あることを勉強したい。
- 英語などの国語の勉強に心がけたいと思いました。
- 一般教養。
- 歴史。
- できるだけ広範囲にわたる知識を身につけたい。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 興味・関心のある分野、あるいは将来に関わる分野等の勉学。
- 外国語（少し発展的な内容も）。
- 将来に活かせる幅広い分野を学びたい。
- 英語。
- まだ決められない。
- 日本について学びたいと思う。
- 哲学など、人間に深く関連のあるもの。
- 経済学部に入ったからには、経済経営に関わる事柄は一通り身に付けたい。又、以前からゲーム理論は学びたいと思っていたので是非履修したい。



- 学部を超えて、興味があることを積極的に学びたい。
- 自分は文系として入学したが、理系とされる科目、講義にも積極的に手を出していきたいと思う。
- 他国や自国の言語、文化を理解する。
- 今まで自分が触れることのなかった世界について学びたい。
- 今日の社会の動きに対応できる能力。特に語学力です。
- 未知なことで自分の価値感を覆すこと。
- 国際競争力をつけるために英語を学びたい。
- 役に立つ立たないはとりあえず無視して、雑多に幅広く。
- 国際的な視点を持った人になる為、英語を修得したいと思った。
- 将来、世界を相手にできる確固たる自分を持つために、豊富な知識と言語力を身につけていきたい。
- 経済学の上で重要となる数学を重点的に学びたい。
- 数学や物理など文系の人あまりやらない勉強をしたい。
- 苦手なものも積極的に学びたい。
- 数学、物理。
- 新たな視野が広がること。
- 法律、社会、数学、外国語。

#### (6) 理学部 (アンケート提出率 97.2%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- いろいろなことを広く勉強してその後に専門的なことに深く取り組みたい。
- 将来、世のため人のために何かできる人になるための準備期間になるような大学生活を過ごしたい。幅広い教養を身につけるとともに何か1つ深い教養も身につけたい。
- 興味関心のある専門知識と共に、社会で必要となる知識を獲得し、人格の形成に役立つ経験をしたい。
- 現代物理学に浸り、また、国際的な交流を通して研究をする糧としたい。
- 文理問わず、自分が興味を持った学問に積極的に挑戦したい。サークル活動やバイトにも励みたい。
- 学問において何を求めるのかを、大学生活を通じて考え、そして決めること。生活において自立しかつ自律すること。生活、運動などにおいて健康な身体を作ること。
- 世界で活躍できる人材、研究者になるために、外国語学習に力を入れつつ、志望する系を見据えて専門科目に取り組んでいく。
- 数学の根本である数字についての研究をすすめ、主に壁数論の未解決問題に取りくんでいきたい。
- 深く広い知識をもち、常識にとらわれず思考できる人になりたい。
- ・充実した専門科目の教育                      ・国際的な教育  
   ・人生の核となるバックボーンを育てる教養科目 (特に日本に関するもの)
- 自由、理学。
- 積極的に学習をしたり、英語関連のイベントをしたい。
- 生物学をとことん追求する。
- 興味のある学問をとことん追究したい。
- 物理に関する様々なこと。
- 興味深い講義、それについての追究。
- 自らの見識を深め、自分の進みたい道を見つけたい。
- 数学・物理を学びたい。
- とりあえず本を読む。
- 日本を代表する総合大学に入学できたので、いろんな分野 (文理を問わず) にチャレンジしてみたい。
- ・幅広い知識を身につけたい                      ・英語力を上げたい
- トップレベルのクソオタクになるためにイベントを積極的に取り組みたいです。

- 卒業単位を求めたい。
- 色々な考えを持った人と接し、視野を広げたい。
- 自由さ、研究。
- 研究者として世界で戦える知識を見につけて実践する力。
- 基礎を固めて、宇宙に対して正しい疑問を持ち、解決する。
- 色々なことを知りたい。
- 語学力を高め世界で通用する科学者になりたい。
- ・自分の好きな分野の研究                      ・広く教養を身につけて見聞を広める                      ・語学力強化
- 科学についての知識や興味を深め、グローバルな人間になりたい。
- 数学をやりたいです。
- 最先端の学問探求と楽しいサークル活動。
- 自由、留学してみたい。
- 知らないことを知ること。
- 精神的・生活的に自立すること。幅ひろい教養、深い知識を見につける。
- 多様で多彩な友人と優れた教育を求め、生物学に深く精通したい。
- 物理・化学の垣根を飛びこえた学習。
- 自分のやりたいことを明確に定め、それにとり組みたい。
- 自分が本当に探求したいことを見つけたい。
- 国際的に通用する力をつけたい。
- 生物以外のことも幅広く学び、教養を身につける。
- 大学でしか学べない、より高度な理数。積極性。
- 広い視野と、専門知識を得ることを目的に、様々なことに取り組みたい。
- 興味に合わせた研究に打ち込みたい。
- 宇宙物理学を専攻して最先端の学びがしたい。
- 勉強を積極的にし、その他の活動も通して人間的に成長する。
- 広い分野を学び、その中で特に学びたいことを決め、その分野について深く知りたい。
- 自然災害発生のメカニズムを解き、予防、対策、予知をする。
- 国際社会で通用する力をつけたい。
- 自主性に富んだ人になって、自発的な課題に取り組みたい。
- 知の聖域に遊び、「理学とは何か」に対し自分なりの解答を見出すこと。また、専門分野における深い知見の獲得。
- 多くの知識を学んで自分の思考力を上げる。
- 専門分野を深め、専門外の分野も積極的に学びたいです。
- 興味のあるものから「これ」といったものを搾り込む。
- 幼い頃から興味があった地質・鉱物学を究めることを求め、学業を第一とした充実した大学生活に取り組みたい。
- 将来数学を研究していく上で必要な幅広い技能の習得を求め、様々なことへ積極的に挑戦したい。
- 教養を深め、研究者になるという将来の夢を実現できるよう学業に取り組む。
- 数学づけ。
- 自然科学に関する難問に対して自分なりの考え方で取り組める力を身につけていきたいと思います。
- 自分で良い課題を見つけ、それに全力で取り組めるように、なりたいです。
- 多くの知識を得て、自分で考える力をつける。
- 合成化学者になる為の研究設備と費用。
- 世界で戦える知識、語学、考察、文章力。
- 自由に自分の興味のある分野を研究したい。
- 究極の間（「この宇宙とはどのようにして誕生し、今に至っているのか？そこにどのような機構があるのか？」）へのこたえを自力で導き出すための力をつける場であること。
- 良い環境を提供してもらいたい。新しい事に挑戦したい。
- 視野の広い考え方、物事のとらえ方を身につける。
- 自ら積極的に取り組み、学びを通じて人間関係を構築していきたい。

- 楽しんで学ぶこと。
- 自分が研究したいと思うことを具体的に見つけ、また、それとは関係ないことも学んで考えを広く深くしていきたい。
- 多様な科目の学習。
- 価値観の異なる人間と出会って視野を広げ、幅広い知識を身につける。
- 物理を学ぶ。
- 自分のことを成長させてくれるものを求め様々なことに取り組む。
- 知らないことを知りたい。
- 深く物理を理解する。
- 人との出会いや、将来に向けた勉学。
- 新たな事実を発見し人類の未来の役に立ちたい。
- 自らの理学に関する理解を深め、将来の仕事へつなげる。
- 幅広い文野である程度の理解を得られるようにしたい。
- 夢…！？
- 高度な学問と持っておくべき教養。
- 専門分野の学業を深めつつ幅広い分野を学び広い視野を身につける。部活を楽しむ。
- 理系科目と英語をバランスよく学びたい。また、自主ゼミなども利用して仲間と議論していきたい。
- 数学を勉強したい。
- 学力。
- 生物学（特に再生医療や感染学 細胞学）などを積極的に学びたい。
- 最高の環境で理学研究がしたい。
- 勉学をメインにして、サークル&バイトとの両立をしたい。進むべき道を決め、掘り下げていく。
- 生物についての知識を身につけ、生命について研究したい。
- 物理の大系的理解。
- 知識を深め真理を求める。
- 自由な雰囲気、死ぬほど数理に取り組む。
- 考える力。
- 分子生物学や寄生虫について学びたい。
- 幅広い学習を行い、多角的に興味のある物事について考える。
- 専門的に数学や数理科学と学び、多くの先生や学友と交流したい。
- 自由を生かして自分のやりたいことに取り組む。
- 未知の事象を解き明かしたい。
- 幅広い教養と、自身の専門についての高度な知能。世界で通用する語学力。
- 高い質の授業でさまざまな分野のフロンティアを知る。
- 自分の興味のあるものを取り組みたい。
- ・数学の技術を身につけること                      ・広く、おもしろい気楽な世界にすること
- 趣味を楽しみつつも今までより交友・勉学を重視して自然を探究する基礎をつくりたい。
- 学問に対する深い知見。
- 学問の最先端の分野に触れるとともに、そのために必要な基礎知識、方法論を学ぶ。
- 化学をしっかり学び、研究職につけるよう自学自習ができるよう頑張りたい。留学をしてみたい。留年はしたくない。だから頑張る。
- 科学について自分の興味を持てる分野を見つけ、いずれは世界をひっくり返すような研究をしたい。
- 自由に自分の学習が進められるこの環境で、自分の興味があることを積極的に学び幅広い教養と、深い専門知識を身につけたいです。また、社会交流室のイベント等授業以外にも色々なイベントに参加して経験を重ねていきたいです。
- 生物学を中心に、自然科学に対する知識を深めて、将来は研究者として活躍したいと考えています。
- 授業や課題に縛られすぎず、自分の興味が越くままに数学・物理の研究を自身で進めていきたい。
- 自分の将来の夢を叶えるために必要なこと。高校よりさらに発展したこと。留学。
- 自分のやりたいことを中心に広く学び、研究にも取り組みたい。
- 好きな分野を見つけ、そこへ向けて自分の興味の限り取り組む。

- まだ決めてないが、色々なことに取り組みたい。
- 物理や他の面白いことをやりたいです。
- 成長すること。
- 社会における自分の活躍できる場所を発見し、適応していきたい。
- 打ち込める研究ができるために学問を楽しみたい。
- 英語力を上げ、世界で通用する専門性を持ちたい。
- 数学に全力で取り組みたいです。
- 全国、さらに国外から来た様々な人と交流をもち、高校ではできなかったような専門研究にも力を入れたい。
- レベルの高い仲間と切磋琢磨して自分を高めたい。
- 語学、数学、物理学などについて幅広く学び、専門としては、生物学を深く学びたいです。多くの優秀な先生や仲間と関わりながら学びを進めていきたいと思っています。
- 研究を通し、道を開く。
- 広い視野での研究。
- 自発的に勉強し、数学の知識を増やす。
- 自分の好きなことをのびのびとやりたい。
- 幅広い教養を身につけた上で、専門的分野に触れ、自身の知を高めること。
- 専門的なことを学びたい。
- さまざまな分野に興味をもち、そのうえで専門科目をがんばりたい。
- ・人の交流、会話、激論                      ・広い世界を見てみたい                      ・深く学問を探りたい
- 好きな分野の勉学に全力でとりくむ。
- やりたいことが具体的に決まっていないので、自分の関心のあることをみつけ、真剣に勉強していきたい。
- 自由にする。
- 意識の高い人達に刺激されながら、自分のしたい研究に打ち込みたい。
- がんばる～。
- 様々な人と出会い、色々な経験をする。
- 物理。
- 英語力、専門知識を身につけ、留学し海外で活動できるようにする。
- 自分の興味のあることに積極的にとりくんでいきたい。
- 解析学。
- 自分が疑問に思うことを解決したい。
- まだ興味のある分野は決めてないが、様々な講義などに触れ、専門を深めていきたい。
- 自分の適性を見定める。
- 自分の興味のある科目に全力で取り組みたい。
- 自分が将来専攻する分野を1、2回生の間に様々なことに触れながらじっくり決めて、3、4回生でこの分野の勉強に真剣に取り組む。そのためのヒントになるイベント等に積極的に参加したいと思っている。
- 自分の好きな科目（化学）を十分に学びたいので、1、2回生のうちに苦手な英語の克服をする。
- 様々な学問に対する基礎的な素養の習得と、物理学に関する専門的知識・技術習得。
- 学問を広く学び、自分に合った学問、将来の職業を見つける。
- 研究者の育成を重視する京都大学という環境を活かして、将来理科系の研究者になれるための教養、学力を身につけていきたい。
- 抽象的に考える。
- 知を求め、様々なことに幅広く取り組みたい。
- 物理の研究が主にしたい。海外留学や教員免許の取得にも興味あります。
- 自分で自分を律し目標を達成する。研究を通してもっと生物への知識や自らの考えを深めたい。
- これから決める。
- まず、自分のやりたいことを見つけて、積極的に取り組む。
- 高校では処理能力を必要とされたが、大学ではじっくりと考えることを重視したい。教授の先生方と話して学問についてもっとしりたい。

- 自分の研究したい事を見つけて、どれだけの時間をかけても、その分野を究めること。
- 自分が生涯にわたって研究したいと思える分野を見つけ、そのために必要な能力を身につけたい。
- 孤高。
- 数学やそれに関する分野への理解を深める。コンピューターを扱えるようになる。
- 将来につながる知識、能力。
- 勉強。数学など。
- 勉強。
- より幅広い分野にふれて知識を取り込みたい。
- 生物学の研究を行うための知識を学べる環境を求める。私は、研究に必要な知識を生物学に限定することなく、他の理科学科目や英語等幅広い視野を持てるよう取り組みたい。
- 勉強とサークルの両立。
- 進んで学んでいく。
- 広い視野を求め、幅広く学ぶ。
- 大学卒業後は大学院に進学し、修士を得てから、宇宙開発に従事しようと考えています。よって、系登録の際には、物理科学系の宇宙物理学を専攻しようと思っております。定員が少ない上、物理科学系自体の希望者が多いようなので、1回生のときは勉強をおこたらず、将来への確実な一歩にしたいと思っております。
- 幅広い興味をもち、多くのことに挑戦していき、将来必要な知識・能力を得たい。
- まず、専門とする分野を決め、やりたい勉強をやりまくること。
- 物理。
- 今までよりも実力が試される環境で、限界まで自分を表現する。(学業生活の双方の面で。)
- 知識を身につける。
- 今までの浅い知識を深くかつ広いものにしたい。自分から知識を得に行きたい。
- 就職のためのスキルを身につけたい。
- 宇宙物理学など科学を勉強する。
- 能動的に学習して、知識や思考を深められるようにしたい。
- 自分の対応する世界を広げたいと思います。知らないことをどんどんみつける。
- 自分の夢を見つけそれに向けた努力をしたい。
- まだどの系に進むが迷っていますが、自分の興味のある系へ進み、徹底的に追究したい。国際社会にも目を向けたい。
- 様々な分野を幅広く学び、自分に合った分野を見極めその分野に集中的に取り組む。
- 自由な環境下での、多様なとりくみ。
- 勉強だけでなく、研究者として生きるために必要なスキルを身に付けたいです。
- 研究。
- 数学の知識を増やし、数学を専門として取り組みたい。
- 数学の解析学か物理を研究したい。
- 自らの好奇心を頼りに学問を究めること。
- 広い知識を持ちながら興味のある分野を探求したい。
- いろいろな京大の設備を利用して自分の力で将来役に立つ知識・見識を深めたい。
- 世界で活躍できるような研究者になるために必要な素養を学ぶ。
- 人間的な成長。勉強もそれ以外も全て全力でやりたい。
- 幅広い見識をつける。
- 自分の得意な点を見つけのばしたい。
- 自分のやりたいことをとことんつきつめる。
- 自分が夢中になれるようなものを探す。
- 広い分野を学習し、特に興味を持った分野には集中的に取り組みたい。
- 分子生物学などを中心に研究したいと思っております。その他色々社会活動的なものにも取り組めるといいかと思っております。
- 学友と互いに高め合い、世界に通用する知を身につけたい。
- 自分が本当にやりたいことを見つける。

- 知識を求め勉学に取り込む。
- 自分が今もっている自然科学や数学への興味をより深め、幅広い知識や経験を身につけることで卒業後に繋げたい。
- いろんなことを学びたいかつ深く物事を学びたい。人として成長できるように多くの経験を得る。
- 科学の根本を求め、勉学に組み込みたい。
- 勉学だけでなく社会などもききたい。
- 広い範囲の分野について学び、自分の進みたい専門分野でしっかり生かせるようにしたい。また、留学などにも挑戦して、国際的に活躍できるようになりたい。
- 何かを毛嫌いすることなく、広く視野をもって学び、研究職を目指す。
- 色々なことをしたい。
- 数学について知識を学び、京大の貢献と発展に組み込みたい。
- いろいろな講義に参加し、自分の好きな分野を見つけ、究めたい。
- 理学を中心に、幅広い分野について学習、実習を行い、科学者として基本となる内容を身につけたのち、やりたいことに向けての研究を行いたい。
- 学部独自のものと違った系統の学問についても積極的に学びたい。
- できるだけ多くのことを知り、それを生かして社会に貢献したい。
- 楽しい授業を受け様々な学問を修める。
- 学問世界に何らかの貢献をしたい。
- 数学歴史及び最先端に触れ、次世代に対して自らが授業をする際に役立つ知識を身につける。
- 広く深い知識を得、後進に伝える教養人・知識人となること。
- 幅広く学び、深く興味を持つものを探す。
- 化学の研究。
- 自分のしたいことを見つける。
- 分野にとらわれない教養を身に付ける。国際社会で通用する英語力を得る。
- いろいろ学ぶ。
- 専門的知識の獲得と視野の拡大。
- 幅広い教養。専門（語学）。
- 自律して勉学にはげみたい。留学して視野を広げたい。
- あらゆる分野の学問を探究したいです。
- 将来につながるものの考え方・知識を得たい。そのために幅広いイベント・授業に参加したい。
- 発見、未開拓のこと。
- 幅広い分野での最先端研究。
- 語学力（特に英語）を高め、積極的に世界に目を向けていく。また、自然科学の知識を幅広く吸収するとともに、特定の分野（物理、地学）についての考えを深めていく。
- 有機化学。
- 自分のやりたいことに沿った分野を学びたい。
- 自分の興味がどこに向いているかを見定め、その分野を追究する。
- 自分から進んでやろうと思うときそれができること。
- 幅広い学問分野に取り組み多角的な視点から専門分野に取り組む。実用的な英語を身につける。
- 創造性と論理性を高め、自由な発想で勉学に励みたい。
- 英語。
- 興味のある分野を見つけその分野を深く学習し、その研究がしたい。
- 勉学に励む。
- 理論的に物事を説明する分野に広く組み込みたい。
- 幅広く、かつ専門的に学問に励む。
- 新しい環境で何事にも積極的に組み込みたい。
- 興味のある物理、数学などをもっと勉強して、まだやったことのない生物とかも勉強する。
- 新たな知見との接触を求め、それを踏まえて自己を磨く。
- 自分の専門にとらわれずに勉強をし、また様々なことに挑戦したい。
- 自分の好きな分野について納得がいくまでとことん知識を深めたい。

- 誰もしてない事。
- 数学。
- 物理を深く学びたい。
- 自分自身が興味を持った題材に取り組み、自分自身で考え、理解を深めたい。
- 数学をする。
- 純粋に自分の興味のあることを学びたい。できれば留学がしたい。
- 興味のある学問を見つけて、人の役に立つ研究する。
- 今の気持ちを忘れずに何かに懸命に取り組みたい。
- 学習機会とさらなる学力。
- 就職するための資格・権利を得る。
- 研究者になるための知識、技術を求め、理科学目を中心に興味あることを幅広く学びたい。
- テニス環境を求め、テニスに取り組みたい。
- 化学の理論範囲について、研究したいです。
- Specialist であると同時に Generalist となるために様々な分野の先端にふれたいと思います。
- 幸せを求め、毎日を楽しむ。
- 幅広い知識を身に付ける。
- 自分の興味・関心に従い積極的に学ぶのと同時に、卒業後にも役立つ知識・考え方を身につける。
- 勉強をして、友達もつくりたい。
- 教養を求め、勉学に取り組む。
- 立派な教師となるために深く幅広い教養を得ること。
- 数学を中心に勉強したい。
- 知らないことを求め、様々なことに取り組みたい。
- 知りたいことに納得し、発展させること。(主に物理)。
- 物理がんばりたい。2回生の君、がんばっているか。
- 化学の根本の大系を学ぶ。
- 純粋な理科の探究。
- 自分の学びたいことを中心にまずは幅広く知識・教養を身につけたい。
- 物理、数学を主とした科学的知の広く深い理解。
- 資料の充実。教員との交流。医療関係の研究。
- 自分のやりたい事を探す。
- 勉強する。
- 特にやりたいことが決まっていないので、それを見つけない。
- 数理系の基礎と発展的内容。
- 学術研究に積極的に取りくむ。
- 学生、教授をはじめ、様々な人との出会いを通して、多くのことを学びたい。
- 京都大学は研究するにはすばらしい場所だと思うので、1つのことに興味をもって研究したいと思います。
- 自分で考えて幅広い学問に取り組みたい。
- 様々な教養を身につけ、専門分野を見つけ、研究や、その他の学生生活に精一杯打ち込みたい。
- 数学を学び研究すること。
- 自分が本当にやりたいことをさがす。
- 様々な知識を身につけ、それを元にたくさんの人と交流したい。
- 自分の好きなこと。
- 広く学びたい。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 理系文系問わず広く勉強したい。
- 幅広く、いろんなことを学びたい。



- 言語学、史学、哲学等の人文科学。
- 英語をいっぱい。
- 自然や人間に対する幅広い知見を学びたいと思います。
- 留学したときに、日本のことを語れるように、日本について学びたいです。
- 理科を中心としながらも社会で生きるのに必要な幅広い知識と表現力。
- 色々なことを学びたい。
- 科学全般、人文系では論理学、法律、心理学。
- 語学。
- 自分の考えを広く深くできるもの。
- 色々なこと。
- 分からない。
- 物理学。
- 幅広い範囲のもの。
- 英語を使えるようになりたい。
- 語学。
- 特に英語に力を入れたい。研究者志望であるので、英論文を読みたい。
- 経済学。
- 英語、哲学、宗教、日本文化。
- 日本語と同じくらい英語を話せるようにしたい。
- 大切なコト。
- その時自分が興味のある分野。
- 地理・世界史等。
- 今はまだわからないが、これからじっくり考えていきたい。
- 幅広く。
- 理学系以外の学問の考え方を学びたい。
- 必要十分な英語。
- 教員免許取得に必要なこと。教養。
- 様々なこと。
- 哲学、政治問題。
- 教養。
- 思想哲学。
- 文学・心理学など。
- 制限をとくに持たずに様々な学習を行う。
- 哲学や歴史など、高校で学んでこなかったものを深く学びたい。
- 英語をしっかり学習したいと思った。
- 幅広い知識による深い考え。
- 英語。
- 自分の学部の扱う分野に限らずに幅広く学びたいと思った。
- ・自信がもてる程の技術                      ・人の役に立てるくらいの力
- 自身の知らない世界を開拓し、視野を広げる手助けになるようなこと。
- 他の分野の考え方、論文を読み書きしたり、発表したり会話したりできるだけ英語力。
- 化学はもちろんのこと物理や生物なども興味をもって学びたい。
- 数学、科学以外にも、人文社会系の科目を幅広くとってみたい。
- 外国語をとにかく一生懸命勉強し、職場で通用する英語力を身につけたいです。英語での講義にも挑戦してみようと思います。
- 様々な講義があるのでどれを受けるかははっきり決められなかったけれど、一社会人になるに当たって様々な社会問題について学び、考えていきたいと思います。
- 自分の専門分野に深い部分で良い影響を与えてくれるもの。
- 自分の将来の夢についてのこと。
- 興味があることを中心に、広く学びたい。

- 歴史とか。
- 広範囲に色々なことを学びたい。
- 自分の知らないこと。
- 英語をがんばろうと思った。
- 外国での生活常識。
- 理系の科目だけでなく、文系の科目も学びたいです。
- 理学部では学びにくい、文化系など。
- 分野にこだわらず、興味のあることをいろいろ学びたい。
- 語学をはじめ、世界の文化について、幅広い知見が得られるような科目を中心的に学びたいと考えています。
- 新しい発見。
- これから探す。
- ・特定の分野に偏らない幅広い分野の知識を学びたい  
・専門教育の前提としての語学も十分身につけたい
- 専門的なことと、実用的な英語。
- 自分の住む日本の文化を説明できる程度の知識。
- 人文系の一般教養。
- 英語の必要性を感じたので、国際交流や語学の上達に積極的にとりくみたい。
- おもしろいこと。
- 将来必要となる英語のスキルを学びたい。
- 人間性。
- 理系科目から遠いことも学びたい。
- まだ分からない。
- 専門分野だけでなく幅広い知識を身につける。
- 英語の重要性がよくわかった。英語をしっかりと勉強したい。
- 思考に幅が出るような科目。
- 基礎をきずきたい。
- 将来必要となること。
- 興味ある科目だけでなく、初めは様々なことに興味をもってとりくむ。
- 1、2回生の間は理学の基礎的な勉強に力を入れながら、各分野がどういうものなのかを学んで、3、4回生からは自分が達した分野の勉強に全力を注ぎたい。
- 学術英語。
- 3回生以後学べないような学問。
- 将来海外でも通用する英語。
- 国際交流に支障がないような語学力と、日本人としての自国文化への理解を深めたいと思った。
- 認知。
- (まだ自分でもはっきりしていないので、これから考えていきたい。)
- 物理と数学。
- 理系の科目だけではなく、歴史などにも興味があるので文化、哲学なども幅広く学んでみたい。
- 今まで学んでこなかった自分の知識の幅が広がること。
- 哲学。
- 自分で管理することが大事。大学受験みたいに英語で苦勞したくないので、早めに対策するべきだと思った。
- 様々な分野の知識・教養。
- 自分が関心のもてる分野や、役に立ちそうな分野。
- 幅広い知識。
- 研究者としてやっていくために、専門分野における英語の理解を深める。コンピュータを学ぶ。
- 幅広い知識。
- 英語。
- 後で考える。

- 語学。
- 国際社会内で高度化する科学についていくために、科学そのものはもちろん、高度な英語を学びたい。
- 国際社会で役にたつこと。
- 自分にとって全く未知なこと。
- まず英語力をつける。TOEFL iBTでも高得点をとれるくらいにSpeakingも充実させる。  
また、一般教養科目を幅広くまなび、将来への糧にしたい。
- グローバルな知識。
- 国際性を身につけるための言語学習。
- 物理。
- 哲学、思想、心理などの、他者を理解する学問。
- 教養をつける。
- 英語。他国の学生と交流すること。歴史。
- 自分の視野を広げる色々なこと。
- 文系の科目を真面目に学ぶ。
- 幅広く勉強して見識を広げられるようにしたい。
- 特に語学です。
- 広く様々なことを学んでいきたい。
- 理学だけに留まらず、文化や政・経も学び、広い知見を身に付けたい。
- 今まで学んだことがない大学でしか学べない分野。
- 言語。
- 今まで自分の興味のある分野にばかり力をいれがちだったので、幅広い分野を学び、バランスのとれた人間になりたいと思います。
- 英語教育。
- 専門科目で必要となる英語。
- コンピュータのプログラミングや統計学など。
- 英語を実用的なレベルにし幅広い分野の知識を得たい。
- 京都大学以外で学ぶことが難しい知識や高度な教育から色々なことを学びたい。
- 理系、文系問わず、幅広い分野を学びたい。
- とりあえず広く。
- 将来に役立つこと。
- 物理や数学。
- 一般教養を身につけていく。
- 自分の視野を広げるのに役立つこと。
- 制限なくできるだけ多岐にわたって学びたい。
- 現代社会の理解につながるもの。国際交流のきっかけとなるもの。
- 日本という国を世界に知ってもらうために必要な知識と技能。
- 幅広く、様々な分野を学びたい。
- 深く深く。
- 京都大学には国際交流の豊富な機会があることがわかったので、それらを利用して、日本にとどまらず世界の知識、研究を学びたいと思う。
- ガイダンスを受けて何かをとということはない。帰って調べます。
- 英語と一般教養。
- 多くの知識を得たい。
- 自分の興味があまりない分野も含めた幅広い分野。
- 言語学など、人間の認識に関わる学問を教養としては学びたい。高校でしなかった地学、生物などの理科もやりたい。
- 色々なことを学びたい。
- 科目を問わず、多様な教養科目を幅広く受ける。
- 英語は苦手だが、研究で不自由を感じないために、学術英語とともに、英語圏の文化も学びたい。
- 実用に値する英語、発展的な数学や理科、科学と社会の関連についてなど。





- 新しい、面白いこと。
- 自分が本当に興味を持ってうちこめる分野をみつきたい。
- 人づきあい、知識、高学力。
- 自分で何かやりたいことを見つけ、それに専念する。
- 様々な人と出会い、色んなことに挑戦して、多くの知識を身につけたい。立派な医師になれるよう自分を磨きたい。
- レベルの高い友達に囲まれ、自分自身を高めたい。積極的に自分から取り組む姿勢を身につけたい。
- 勉強、部活、研究室、留学など、興味あることを積極的に行いたい。
- 英語力を高めたい。
- 医学の専門知識を学びたい。
- 総合大学であるので、色々な学部の授業を受けたいです。
- 英語力を高めて国際交流を積極的に行いたいです。また、著名な教授の話をとくさん聞きたいと思います。
- 様々なことに挑戦して、自分の可能性を広げたい。
- 学習と部活の両立。京都大学でしか学べないようなことを学びたいです。
- 色々研究したい。
- 幅広い知識を得て、様々な分野に取り組みたい。
- 医学に集中できる環境を求めます。
- 深い学び。
- 自分のやりたいことを見つける。
- 最先端の病気。
- 積極的に学んでいきたい。
- 研究者になる準備。
- 学生生活を満喫し、今しかできないことを十分に楽しみ、充実した毎日を送る。
- 放っておいてもらい、好きに生きたいです。
- ・数学                      ・物理                      ・医学
- 自由さを利用し、自分の興味のあることにとことん取り組みたい。
- 興味ある分野、自分の特徴を生かせる分野を見つけ、真剣に取り組みたい。
- 学生生活を満喫しつつ、医師として必要なスキルを身につける。
- 豊かな人間性を育む。
- 交流を広げて将来に役立てたい。
- ・教養をつみ文化を理解できる人間となること  
・英語で楽しめるようになること
- 専門科目の勉強。
- たくさんの人々と交流したい。
- 人として立派になる。
- 研究者志望のため、自分の研究したい分野を探したい。レベルの高い同志達と切磋たく磨きたい。
- 熱意。
- 睡眠。
- 学問の追究、今後に役立つ人間関係、人格形成。
- これからの医療発展に役立つような新しいものを生み出したい。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 世界で戦える、研究医になること。
- 知識の獲得。
- 将来医学研究者として働く上での必要な知識を得て、研究の基礎を固めたい。
- できることは何でもやりたい。留学したい。
- 留学。
- やりたいことを実行する力。
- 英語。
- 色々な授業を積極的に受けたい。
- 様々な人たちとの交流を求め、留学に取り組みたい。

- 専門科目に限らずたくさん学んでいきたいです。
- 医師としての専門的な知識の学習はもちろん、一般教養、サークル等の活動にも積極的に取り組みたい。
- 医師免許。
- 専門以外の分野も積極的に取り組みたい。
- 高いレベル。
- 幅広い知識と人脈。
- 自習に適した授業。
- 深く考える力を身に付ける。
- 京大ならではの自由な雰囲気の中でよく学び、よく遊ぶこと。
- 医学の知識・教養。
- 各講義の内容を確認し、自分の興味のあるものを見つけてから、取り組んでいきたい。
- 視野を広げること。
- 自分の興味のあることを見つけ、全力で取り組む。
- 充実した大学生活を送りたいです。
- トップレベルの研究内容をたくさん学ばせていただきたいです。また、英語の勉強に力を入れていきたいです。
- 研究で、未開発の病気の解明を、臨床の場を生かしつつ、行いたい。
- 医者になるための知識、精神、技術、心がけ、医学研究の基礎となること。
- 人として大きく成長し、たくさんの人との関わりを大切にしたいです。
- 勉学と部活を両立したい。
- 優秀な意識の高い先輩や教授（言いようによりゃ先輩ですね（笑））に力添えしていただき、自分でプロフェッショナルを目指して道を切り開きたい。
- 物事の本質を見極めたい。
- 多くの知識を得て、自分がこれからする研究テーマをさがしたり、よい医者になるための糧にする。英語が得意になる様がんばる！
- 様々な分野に精通する医者になれるよう色々なことを学びたい。
- 英語で学び、海外留学をする。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 医者として必要な基礎教育を学びたいです。
- 理系にとどまらず、人文、経済学など幅広い分野を学んでいきたいと思う。
- 何かにとらわれることなく、全般的な能力を身につけ、専門にも活用していきたい。
- 外国語をちゃんと学びたい。
- 幅広い分野を学び、様々な知識を得たい。
- 英語の speaking、listening を重視したい。
- 普遍的知識。
- 多様な分野の知識。
- 英語。
- 何か新しいこと。
- 国際的に広がること。
- 生物学、化学、医学。
- 英語力。
- 他分野も学習し幅広い知識を得る。
- 社会に出て役に立つこと。
- 語学、哲学。
- 語学など。
- 将来国際的に働きたいので、様々な価値観を知ることのできるような内容を学びたい。

- 英語での講義にも参加していきたい。留学生とも交流してみたい。
- 英語を特に頑張って学びたい。
- 色々なことを幅広く学びたい。
- 語学を学びたい。
- 文系（社会科学）。
- 学術英語を学びたいです。
- 国際的な感覚を身につける。
- 専門分野だけでなく多くの分野について学びたい。
- 英語。
- 哲学。
- 語学を頑張る。
- 英語。
- 外国語を真剣に学びたい。
- 幅広いものの見方ができる人になりたい。
- 学部学科にとらわれず、幅広い教養を身につけられること。
- 医学とあまり関係しないような自分の興味のある科目。
- ・数学                      ・物理
- 人間としての円熟。
- 自然・科学系の幅広い分野。
- 幅広く学び、視野を広げたい。
- 幅広い知識を身につけたいと思います。
- 英語の力を伸ばしたい。
- ・文化人類学              ・美学（美とは何か）                      ・地流
- 英語。
- 自らの知の糧となること。
- 自分の専門分野だけでなく色々な分野に興味を持って学びたい。特に英語をがんばらなければならないと思った。
- 経済。
- 趣味に役立つようなこと。
- 様々なこと（広く知る）。
- 視野を広げられること。
- 専門では学べない、幅広い知識。
- 語学。
- 国際感覚をみがきたい。
- 医学を学ぶ為の基礎的な知識。
- 英語。
- 自然科学。
- 文系。
- EAP、仏語。
- 未だ決めてません。
- 歴史。
- 社会に出て必要な文系の科目も受けてみたいと思う。
- 自分の専門と最も離れた分野の授業。
- 使える英語。
- 人生をより豊かにしてくれるような学問。
- 英語を意欲的に学習していきたい。
- 興味の引かれること。
- 実用的な英語。
- いろいろな学部の授業をとってみたいです。
- 英語、歴史。国際交流系にも興味があります。



- 国際的にも活躍できるように、語学力の向上のために、勉強を頑張りたい。
- 英語力の向上／世界で通用する英語力の習得。専門分野内容の習得など日々努力し、世界で将来活躍できる人材となる。
- 単位をしっかりと取得しながら、自分の専門分野についての知識も深めたいと思いました。
- 物事の本質。
- 自主的な学習の方法を見つけて、興味がある科目には積極的に取り組む。
- 様々な分野の知識を持ちたい。
- 留学・語学のための英語教育・情報の開示。
- 自分で責任をもって授業を選択し、生物関係の知識をたくわえて研究していきたい。
- 専門的なことを学びたい。
- 最後の学生の期間だから、いろいろ勉強したい。
- 自分で学ぶ姿勢を身につけ、広い視野からものごとを見つめるように努力する。
- 自分の興味のある分野の学習を深めていきたい。
- 自ら積極的に学ぶ、人と出会う。
- 専門的知識を身につける。
- レベルの高い知識。
- 京大に用意されている環境を利用して、自分の頭で考えて学ぶということをしたい。
- 自分のやりたいことを自主的に見つけて取り組んでいきたいです。
- 様々な分野のことを学びたい。
- ・人間的成長                      ・社会の視野を広げていくこと
- 自ら考えて積極的に学ぶ。
- 様々なことにとりくみたい。
- いろんな講義をうけて、知識を増やしたい。
- 看護についてや、他の様々な分野の勉強。
- これから出会う様々な人、知識に対して、自分から積極的にかかわりたい。
- 自分の好きなことをとことん極めたい。責極的に授業に参加する。
- 専門的知識を深めたり、多くのことに興味をもって行動したいです。
- 未知との遭遇、新しい発見。
- 自分の専門分野だけでなく、幅広い分野に触れたい。
- 必死に学ぶ。
- 医学の知識を身に付けて、今後活かしたい。
- 英語をがんばりたいです。
- 幅広く分野を問わず様々なことに取り組み、色々な視点から物事にとりくめるようになりたい。
- 専門だけでなく、幅広い教養を身につけたい。
- 医学についての知識を深めたいです。英語をがんばりたい。
- 様々な分野の人と関わりを持つ。
- まだあまり考えていない自分の目指すものをみつきたい。
- 将来の自分の道を求め、心に余裕を持って幅広く勉学に励みたい。
- 国際性豊かな人間になる。留学したい。
- 最高の環境で学べることに感謝し、大学生だからといって遊びにばかり力を入れるのではなく、勉学も両立させるため、興味のある学問、将来生かしていける学問に積極的に取り組みたい。
- 自ら実践して学び、様々なことに挑戦していきたい。英語力がこの先重要となっていくなか、様々な人と交流し、自らの姿勢を高めていきたい。
- 様々な分野の知識をもつ人になるように情報を求め、できるだけ違ったことに取り組みたい。
- 積極的に学び、看護師になるための基礎をしっかりとしたものにする。
- いろいろなことに興味をもって、積極的に関わりたい。
- たくさんの人と出会って、視野を広げる。
- 様々な分野について自主的に学んでいきたいです。
- 幅広い教養をもった人間になれるように、自分の専門科目だけでなく、色々な授業に積極的に取り組みたい。



- 様々な分野の学問に触れて、専門分野にとらわれない人になりたいです。
- ・英語に力を入れたい                      ・専門科目についてもしっかり学びたい
- 世界で通用する人材になる。
- 留学したいので英語を頑張りたい。
- 幅ひろい知識をみにつけること。
- ・自分の頭で考える                      ・素の自分をぶつける
- いろんな人と出会って自分の視野を広げたい。
- 広い分野の知識と、医学分野の深い知識が得られるように、授業に積極的な姿勢で参加したい。
- 将来の研究につながる力、国際力。これらの向上。
- おもしろやつになるために、自分の世界を広げる。そのために有益だと思ったことは何でもやる。
- 多様な学問や人に触れることで、自分を成長させたいです。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 自分の興味あることはどんどん学んでいきたい。
- 専門科目の知識にかたよらない幅広い知識を学んでいきたい。
- 英語での勉強がやってみたい。スポーツもやってみたい。
- 自分の専門分野だけでなく、興味のある科目なども積極的に受講して、幅広い見地から物事を見られるようになりたい。
- 国際社会で使える英語、教育関係について。
- 専門はもちろん、自分が使わないだろうと思っているようなことでも積極的に取り組んでいきたい。
- 学部では学べないこと、英語。
- 英語。
- 社会に出て誰かの役に立つために必要な知識を身につけること。
- 国際的なことについて学びたい。海外の経営学や海外での教育などを学びたいです。
- 大学周辺でも大地震の可能性があるので、災害に関するものを学びたい。
- 看護に関すること。
- 今までにやってない一般科目。
- ・専門的な勉強をするために必要な基礎知識                      ・自分が興味をもって取り組めること
- たくさんの人と出会い、様々な、自分と違う価値観に触れたい。
- 自分の英語力を高めたいと思った。
- 役立つこと？
- 英語力を高めたい。
- 外国語。
- 世界で通用するような英語力を身につけることが大切だと思った。
- 国際社会で活躍するため語学は手を抜かず、外国語で自分の意見を発言できるようになりたいです。
- 自分から積極的に学ぶという姿勢を保って学びたい。
- 徐々に考えていきたい。
- 国際交流。
- 英語能力をさらに向上させる。
- 具体的には決まっていないが、幅広く学問したい。英語に力を入れたい。
- 外国語を中心に学びたいと思います。
- 専攻だけの勉強でなく、幅広い視野をもてるように、様々なこと（薬学系など）を学びたい。
- 幅広い分野の学習していきたい。
- 英語の勉強をこれまで以上にがんばろうと思いました。
- 世界で通用する教養。
- 哲学、思想系。
- 古典文学。

- 留学できるように必要な英語力。
- 自分の学部とは関係なくても興味をもって頑張る。
- 自分の専攻にかかわらず視野を広げるために多くのことを学んでいきたい。
- 幅広い知識を修得したい。
- 専門以外にも幅広く学びたい。
- 理系分野だけでなく、様々な分野を学びたい。
- 高校では扱われていなかった、他国の文化など。
- 色々なことを学びたい。
- 日本の文化。
- 興味があること。
- 知的好奇心を抱かせるもの。
- 語学力をきたえたい。
- 医療だけでなく、様々な分野を学びたいです。
- 学部とは関係がないこと。
- グローバルな視点をもって世界でも通用するような知識を身につけたい。
- 短期留学をしたり、ポケットゼミをとったりすることで、積極的に勉強に取り組みたいです。
- より精度の高い語学力を身につける。
- ・他人と討論できる能力           ・世界で通用する英語力
- 色々な分野。
- 国際関係のこと。
- 幅広い分野での知識。
- 専門の最先端のことがら。
- 専門に関わること。(間接的にも)。
- 英語以外の言語、議論を通して相手・自分を知ること。
- 国際性。
- グローバルな世界で活用していけるようなこと。
- いろいろなことを学びたいので、意欲的に授業をうけたい。
- 暗記するだけでなく、理解する教育をうけたい。
- 文系・理系の幅広い分野をバランスよく学びたいと思います。
- 世界の人々の文化、考え方を学びたい。
- 英語のスピーキング。
- 学術英語をしっかり学習し、専門的な学習につながる勉強をしたいです。
- 英語で日常会話、外国人相手に対処できる力を身につけること。
- 国際性のある人間になるため、英語に重点をおいて学びたいと思った。
- 今までに習ってこなかった内容を学びたい。
- 化学、歴史、異文化など。
- 英語のリスニング力やリーディング力をつけて、国際社会で英語が通用するくらいの英語力をつけたい。
- 何を学んでいくにしても英語が必要と感じたので、まず英語に取り組んでいきたい。
- 理系でない科目。新しいことを知れる科目。今まで気づかなかったことを気づける科目。
- 自分の学部を越えてあらゆる知識を持ちたい。
- まだ具体的に把握していない部分は多いですが、興味のある授業には、積極的に参加したい。又、高い語学能力を身につけられるようになりたい。
- 将来に活かせること。
- 外国語を中心に勉強したい。
- 世界的に活躍できるように語学をしっかり学びたい。
- 専門的な知識や技術だけでなく教養も身につける。
- 理系分野に限らず様々な分野を学びたい。
- ・英語をしっかり学びたい           ・自分の興味のあることだけでなく幅広くいろいろなことを学びたい
- 理系科目だけでなく、文系科目なども幅広く学びたい。
- 新しい外国語や、高校時履習していなかった物理など。

- 世界で通用する英語力。
- 今まで勉強したことのない分野を学びたい。
- 国際社会に通用する英語を学びたい。
- 理系科目について深く学びたい。
- 英語での構議にも関心を持ちました。
- 社会で通用していける人間になれるためのことなど。
- 留学してみたい。
- 国際的な英語。
- 英語でのクラスを受けたい。
- ポケット・ゼミとか全学共通科目などで自分の専門以外の興味のある学問に積極的に取り組みたいです。
- 社会についていけるよう、英語力をのばす。
- 積極的に語学を学びたい。
- 倫理性もきちんとおさえた上で、幅広く学びたい。
- 外国語、社会科学、社会適応学。
- 将来社会に役立つ教養を身につける。世界に通用する英語力を身につける。
- 英語の能力を磨きたい。
- いろんなジャンルのことを学びたい。
- 英語。
- 国際社会で通用する英語力を身につけたい。
- 専門科目だけでなく、全学共通科目から、自分に必要なことを学びたい。
- 英語を中心として、将来に役立つようなこと。
- よく分からない。
- 英語を取り組むことで外から日本という国を見つめて、医学を学びたい。
- 医療だけにとらわれず、様々な学問を自分から進んで学びたいです。
- 専門科目以外の科目についても積極的に学びたい。
- 常しきのある人。
- 英語。
- 国際関係について学び視野を国外へ向けていくための予備知識。
- ・たくさんアンテナをはってたくさん吸収　　・いろんな分野に挑戦
- 特に英語に力を入れて勉強をがんばろうと思う。
- 理系だけでなく、文系教科などの広い教養。
- 特に定まっていない。
- 英語、社会、森林。
- 文系科目を含めた、幅広い知識を得たいです。ex. 心理学、栄養素について。

## (8) 薬学部 (アンケート提出率 98.8%)

### 1. 薬科学科 (アンケート提出率 98.1%)

#### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

##### A. 以下のとおり

- 自分の興味の赴くままに様々なことを広く学習したい。
- 広い教養を身につけるために、一般教養に幅広く取り組む。
- 薬そのものよりもその薬が生み出される根源となった植物や動物に興味があるので、薬について学びつつ、植物など自然にも目を向けて学んでいきたいです。
- 自分から積極的に取り組む姿勢をもって、いろんな分野の知識を身につけたい。
- 専門的知識の習得をして、研究の道に進みたい。

- 創薬の研究のための探求。
- 興味のあることを、自ら進んで責極的に取り組みたいです。
- 薬、日本史、世界史について学びたい。
- 知識の専門化、深化のみならず、教養を身に付けるべく未知な世界に触れて行きたい。
- 様々なことを学び薬学研究はつなげたい。
- 世界を知りたい。
- 自分で研究テーマを探し、研究したい。
- 研究者になるという漠然とした夢を具体化していく。
- 視野を広げることを求め、いろいろな人と話をする。
- 幅広い知識を求め、さまざまなことに取り組みたい。
- 専門分野で活躍できるよう基礎をしっかりと固めて研究にとり組んでいきたい。
- 多様な知識を身につけ、研究に生かす。
- 様々な分野に目を向け、それを自分の専門分野に生かしていきたい。
- 様々なことに興味をもち、自発的に行動する。
- 自分の興味のあることをつきつめていきたい。
- 一般的な教養や興味のある専門的な分野。
- 自分の将来に繋がるようなことを求めたい。自分の関心がある分野の研究や語学学習に取り組みたい。
- 幅広い分野を学びたい。
- 高校とは違った、自発的な学習。薬の専門的な学習・研究。
- 薬学に関する最先端の研究をしたい。
- 幅広い知識を身につける。高度な英語を話せるようになる。
- 専門科目はもちろん、他の分野についても見識を広げ、多様な考えに触れる。
- バイオテクノロジーや免疫について、より良い薬の製造。
- 自分の学習の幅を広め、その中で特に興味がわいたものをより深く学習したい。
- 人間的にも成熟した研究者となるために、全ての授業に真摯にとりくみ、多くの人々と交流をはかっていたい。
- 楽しみながら勉強したい。
- 薬の研究における国際的な舞台で活躍できるだけの能力を身につける。また、サークル活動などを通し、交流を広げる。
- 幅広い学問から、より多くのことを学習していきたい。
- 仲間と議論し、広く学んでいきたい。
- 専門的なことはもちろん、それ以外の分野についても幅広い知識を身に付けたい。
- 留学に組みたい。
- 幅広い分野のことにについて学び、これからの人生に生かしていきたい。
- 大学生活を楽しみながら広く学びたいと思います。特に、言語や情報 Literacy は不可欠だと思います。
- 興味を持ち、職にしたいと思う分野を積極的に学んでいきたい。
- 勉強を第1として、その上でサークル等に取り組みたい。
- 創薬の研究をしたいです。
- 国際的に活躍できる人材になれるようにするために、語学に集中的に取り組みたい。
- 夢中になれることを探す。
- 大学でできる自分のやりたいことを見つけて、それに熱中したい。アバウトですいません。
- 英語力をつけ、国際性をみにつける。
- 英語で授業を受けたり、発信できるようになりたいです。
- 薬学の研究に力を尽くしたい。そのためにまずは、基礎となる科目をおろそかにせず、きちんとした土台をつくっていきたく思った。
- より専門的な学び。
- まず自分の学びたいことが何であるかを明確に定め、その上で探求していきたい。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 英語と仲良くしたい。(一生付き合えるように)。
- 将来、多方面かつ物事を考えることができるような幅のある知識。
- 今まで理系科目として扱われていた学問文野を深く掘り下げるとはもちろん、文系科目、特に心理系の分野を学び自分の人生に活かしていきたいと思いました。
- ある分野にとらわれることなくたくさん知識を得て、コミュニケーションツールである英語に力を入れていきたい。
- 英語の全般。
- 将来のためになること。
- 幅広い教養を身につけたいです。また、英語の力をつけたいと思います。
- 日本史、世界史、数学。
- 専門性、国際性。
- 数学は好きなのでやれるだけやってみたい。
- 視野を広げたい。
- 英語をしっかりと身につけたい。
- 専門に関わらない広い教養。
- 理系、文系にまたがっている知識。
- 海外での研究においてもあまり苦労しないぐらいの英語力がほしい。
- 理系科目だけでなく文系科目も学びたい。
- 語学を重視して、様々な事を学んでいきたい。
- 自分の興味のある科目を広く履修する。
- 英語を用いた人々との交流。
- 外国の人々と交流するため、英語をしっかりと学びたい。
- 国内外の文化。
- 法律について少し学びたいと思った。
- 高校で学んだことの発展的学問。
- 世界規模の研究内容。
- これから社会で生きていく為に必要なこと。
- 将来の社会、世界の変化。
- 英語で学ぶ授業。
- より英語を学びマスターして留学してみたい。
- 実用的な学にとどまらず、様々なことをまなびたい。
- 心理学など…。
- 国際的に活躍するのに十分な英語力を身につけたい。
- 分野や専門にとらわれずに、様々なことを学習していきたい。
- 語学を習得したい。
- 英語を学び、世界を広げたい。
- 専門的なことにこだわらずに幅広く学びたい。
- 英語をしっかりと学びたい。
- 専門分野はもちろん、立派な知識人になるために必要なことを多く学びたい。
- 日本語で授業を受ける以外、英語で行う授業や人文系のもやってみたくです。と理科系の授業。
- 英語をとりあえず勉強したいと思った。
- 自然科学に関することを幅広く学ぶと共に、語学、文学方面も学びたい。
- 自分の範囲外のこと。
- 文系、理系を問わず、自分の興味のある授業をとっていきたい。
- 幅の広い分野の学習。
- アカデミックの英語。

- 自分の視野が広がるような他分野のもの、特に生命に深く薬学がかかわるので、命の尊厳についても考えを深めたい。
- まずは何においても必要な語学能力を高めたい。

## 2. 薬学科 (アンケート提出率 100.0%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 薬学に関するだけでなく、世の中についての知識を身につけ、自分の意見を他人にはっきり伝えられるようにしたい。
- 様々な考え、意見をもつ人々とお話して、視野を広めていきたいです。
- 自ら積極的に探究できるような力を求め、専門科目を含む幅広い学問を身につけた柔軟な人間になれるように取り組みたい。
- いかにも京大生らしいユニークなこと。
- 自分らしさを求め、心が赴くあらゆることに取り組みたい。
- 自ら進んで課題を発見し、適切に調査と対処を行う。
- 自由に学びたい。
- 英語などの外国語の能力を日常生活で使えるレベルまで高め、国際化の進む社会で活躍できるよう努力したい。
- 自分の興味のある分野のエキスパートになる。
- 留学の機会があれば、それを利用して留学したい。英語で行われる授業もとってみたい。
- 将来にわたって有益な友人を得ること。薬学だけでなく、物理化学について深く学ぶこと。
- 将来社会人としてしっかり働ける教養を身に付ける。
- 様々な人と交流して視野を広げると共に、幅広い学問に触れて専門にとらわれない教養を身につけたい。
- 時間を有効に使い、生涯かけてやりとげたいことを見つける。高校ではやれなかった実験や研究など実践したい。
- 英語をちょっとは喋れるようにしたいです。沢山の人と交流したいです。
- 自分の知識をさらに深めていきたい。
- 幅広い教養を身につけ、多面的な考え方ができる人になりたい。
- 将来、薬剤師になるまたは、製薬会社で働くために必要な技能をつけ、世界で活躍できるようにしたい。
- 文系科目についても学習したい。
- 薬学の勉強だけでなく、自身の英語力の向上にも努め、国際的な視野を得たい。
- 英語や中国語を学び、国際的な場に出られるようにする。
- 自分自身で学びたいことを見つけ、自由に、積極的に深く学んでいきたい。そのためには視野を広くもつ必要があるので、学部科目だけでなく教養科目も真剣に取り組むたい。
- 将来国際的に活躍するのに十分な知識・能力を身につける。
- 広い視野が持てるように、国際関係に取り組むたい。
- 多くの人に出会い、自分の視野を広げたい。海外にも行ってみたい。
- 自分自身の興味のあることを、自分が主体的に学ばせてもらいたい。
- 抽象的なことを論理的に説明すること。
- 幅広い分野を積極的に学びたい。
- 広い視野をもてるように幅広い知識を身につけたい。そのために、学科指定の講義だけでなく、英語でする講義を受けたり、海外交流もしたいと考えている。
- 好きな事を学び、また危険な薬を根絶やすためにどうしたらいいのかを考えたい。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 使える英語を身につけること。
- まだはっきりと決まっていないので、これから授業を受けて考えたいと思います。
- 国際的な人となるために言語の力をもっと向上できるようにコミュニケーションについて学びたい。
- グローバルスタンダードな物の見方。
- 既存の枠組みに捉われない、幅広い分野における知識。
- 社会に出るものとして恥ずかしくないレベルの知識、教養。
- あらゆる分野のこと。
- まだ具体的には思いつかないが、履修の手引きを読んで、よく考えて決めたいと思う。
- 人が成しとげたことのないようなことをできるように学ぶ。
- 海外で十分通用する英語。
- 幅広い視野を得るために文系の内容も学びたい。(哲学、法律等)。
- 英語で学べるようになりたい。
- とりあえず世界の舞台に立てるよう外国語をまじめに習得したい。
- 英語。
- 自分の興味のあること。
- 語学をしっかり学びたい。法学、人文系や国際関係の授業を多くとりたい。
- 専門科目を受けるまでに、必要なこと。
- 英語が苦手なので英語を勉強したい。
- 国際的に通用する教養を学び、日本だけでなく海外でも通用する知識を学びたい。
- 英語をきちんと学ぶ。
- ものごとを広い視野から見るための良識を養う学習。
- 異なる分野でも生かせるような様々な分野の知識を学びたい。
- 専門科目だけでなく、他の分野も広く学びたいと思った。
- 文系・理系を問わず、自分が学びたいと思えるものを学びたい。
- 文系科目(経済のこと)のことも、積極的に学びたい。あまり興味のなかった国際交流についても積極的になりたい。
- 英語力を身につけたい。
- 化学・物理・生物の基礎的な知識を学びたい。学術英語もしっかりと学び自分の夢に近づく準備をしたい。
- 英語。

(9) 工学部 (アンケート提出率 96.6%)

1. 地球工学科 (アンケート提出率 91.0%)

**Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？**

**A. 以下のとおり**

- 環境工学コースに進んで環境問題について学びたい。
- 自分の学部・学科で学ぶこと以外にも、様々なことに興味を持ち、知識を吸収したい。
- 国境を越えて、土木工学を学ぶために、英語をしっかり学びたい。
- 自分の探求心をみたく。
- 語学力を高める。
- 理系科目に関するさらなる専門知識。
- 学問を追究する。



- 国際的で開けた価値観をもつ。
- 元々興味があった都市計画に関することを様々な所から選ぶ。
- 社会で求められる人材になるため、一般教養、専門分野を共にしっかり学びたい。
- 自由な教育を求め、広範囲に知識を吸収したい。
- 世界に通用する英語の学習。
- 漠然と決まっていないが、まず教養の勉強を頑張りたい。
- 専門科目。
- 自分の専攻をしっかりと見定めた上で、学問に取り組み、研究していきたいです。また、サークル等、他の活動にも取り組みたいです。
- いろいろな考えを持つ人と話してみたい。
- 高校ではできなかった様々なことに挑戦したい。
- 他の大学に比べて環境が恵まれているので色々な事に取り組みたいと思います。
- 幅広く学び、交流する。
- はば広い範囲の知識を深め、高度な研究をしたい。人生を通しての良い友達をつくる。
- 自己を高める様々な活動。
- 世界の環境問題に取り組みたいので、そのために必要な学力をこの大学で学びたい。
- 様々な分野の先人達の考えを吸収し、自らの成長のきっかけとしたい。
- 国際的に活躍できるような人材になれるよう交流を深める。
- 何事にも積極的にとりくむ。新しく興味をもつこと。
- 意欲的に授業に参加し、幅広い分野で様々な知識を吸収したい。そのために、情報に敏感に反応し、積極的に行動したい。
- 勉学に励み、学術的面白さを追求する。
- 自由を求めます。
- 留学できるような語学力を身に付けていろいろな人と交流したい。
- 人と触れ合う力、知識を深める力、考を広める力を身につけたいです。
- 自由のもとに、自分の興味のあることを積極的に取り組む。
- 将来やりたいことが見つけられるように、色々なことに挑戦していきたい。
- 新しい事に挑戦する。
- 国際社会で活躍できるように幅広い知識や考え方、語学力を身につけたいと思います。
- 資源、エネルギー、宇宙など、興味のあることを主体的に学びたい。
- 自分の興味のあることをどんどん学んでいきたい。
- より深い思考力。
- 国際性。
- 友達や先生方と興味のある分野で議論してみたい。
- 英語の力をさらにつけてグローバルに活躍できるようになる。
- 高度な教育。
- なし。
- ・将来像                      ・自分のやりたい道
- これから考える。
- 誰にとっても住み良き街作りを実現するための技術・知識を学ぶ。
- 環境や資源について学びたい。
- 内容ははっきりと決まっていないが、社会に貢献できるような内容をしっかり研究したい。
- ・進路を決める              ・人脈を作る
- 資源の知識について学び、資源の効率的な利用に取り組みたい。
- 国際的に通用する教養を求め、自分の関わる学問を確立し、それに励みたい。
- 文武両道で自立した生活をし自学自習に努める。
- 地球温暖化が進み、省エネや二酸化炭素の排出を減らすなどの動きが活発になってきている今、私は日本の発電状況が火力に大きく依存していることに注目し、再生可能エネルギーの開発をすることで省エネと二酸化炭素排出量削減を実現できるのではないかと考え、再生可能エネルギーの中でも、日本にある豊富な地熱資源を利用した発電をとことん研究してみたいと思いました。

- 留学。
- いろんなこと。
- 一般教養を学び、専門科目を学んでいきたい。
- 社会で役に立つ人材になれるようしっかり単位をとりたい。
- 専門知識を身に付け、国際社会でも活躍できる英語力を身に付けたい。
- ・最先端の研究をしてみたい      ・これからの時代が必要となってくることを学びたい
- 最先端の知識を学び、環境保護やエコな商品を作りたい。
- ・幅広い分野で学びたい      ・理系文系関わらず
- 教養を深める。
- 生きる目標を見つけたい。
- 幅広い人との交流を通して日本の常識にとらわれない考え方を養いたい。
- 自分の興味のある分野を見つけ、それについて深く勉強する。しっかり英語を勉強して、国際的感覚を身につける。
- 自分が熱心に学べると思えるような分野を見つけ、その分野に対し楽しく取り組みたい。
- まちづくりについて、災害について学ぶ。英語を学ぶ。
- 価値観の違う人と対話していくこと。
- 将来やりたいことができるように準備したい。
- 将来の仕事で役に立つこと。
- 積極的に行動して自分の力をつけたい。
- 様々な学問に触れ、視野を広げ、新たな価値観を得たい。
- 幅広く、様々なことを学べる環境。
- 多くの選択肢を持つこと。
- 好きなこと、やりたいことを見つけ、それに没頭したい。
- 予習復習をし、しっかりとした学習。
- ・一般的な教養      ・エネルギーの研究      ・人脈作り
- 自分のやりたいこと、仕事を明確にしたい。
- ・環境、エネルギー、資源について勉強し、かつ言語能力をのばし、国際的な舞台でエネルギー問題の解決をはかる。  
・日本で、エネルギー資源分野を開発し、かつ経済を勉強し、日本経済を支えるエネルギー開発を将来できるようにするための土台をつくる
- より高度で先端の知識や技術を学びたいです。
- 国際的な研究に取り組めるよう、専門的な技術、学力を取り入れるとともに、英語の能力も十分に引き上げていく。幅の広い分野の知識を身につける。
- 英語をマスターする。
- 深く興味をひかれることをみつけて全力で取り組む。
- 勉強やサークル。
- 積極的に勉強に取り組み、単位を落とさないようにしたい。
- 論文を読むにも講義を受けるにも基礎学力が足りていないので、今のままではやりたい専門分野でさえついていけない。やりたいことをやるにも、それに必要な能力をまで身につける。
- 災害に関することを学び、多くの実験に取り組みたい。
- 社会に出る時に役立つ知識を深め、また、より良い人間になるための経験をつむ。
- 学術英語を身に付けることによって、世界の最先端に自分の力で触れられるようになりたい。
- 資源工学を学びたい。
- 国際感覚を身に付けて活役できる人材になる。
- 専門のことだけでなく、幅広い学び。
- 学術英語を中心に英語で研究議論できるようにしたい。
- 自分の夢を叶える為に必要な経験。
- 人間が正しいと思うことを行っていきたい。
- 英語力をしっかり身につけたい。
- 幅広い学問の修得することを求める。日本社会の問題に貢献したい。

- 自身の専門するであろう学問を研究したい。
- 部活、社会の役に立つ人になる。
- 自分の興味に従って深く学び、かつ世界を広げる。
- 自分の適所を見つけ、そこで「岡田朝斗」を出し切りたい。
- 深い学問の世界に触れ、人文、社会科目や現代社会適応科目群にも積極的に取りくみたい。
- 必ず英語を使いこなせるようにする。
- 新しいこと。
- ・知的好奇心の刺激                      ・世界に通用する人物
- 都市計画を含めさまざまなこと。学問だけでなくサークルやボランティアなどもしたい。
- 幅広い教養を身につけ、専門科目に応用。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 外国語をしっかり学びたい。
- 1回生のうちは、理系・文系かかわらず、色々なことをまんべんなく学びたい。
- 実際に使える英語。
- 世界に通用する学力をみにつけ活用する。
- 英語能力が実用できるくらいまで高める学習をしたい。
- 今後社会に出て役立つこと。
- 英語を得意にする←留学も視野に入れる。
- 自分がこれまでに学んだことやこれから学ぶことを社会に還元できるようなこと。
- 英語。
- 英語は重要なので、しっかりやりたい。
- 語学。
- 他人と楽しく話し合えるレベルの英語力を身につけ、是非とも留学してみたいと思った。
- 京大生としての常識。
- 英語の能力を高める。
- ・英語ができるようになりたい                      ・専門分野に強くなりたい  
    ・幅広い知識も得たい
- 幅広い教養。
- 国際関係。
- 社会に出て生きていくための知識。
- 英語。
- 英語。
- 国際社会でも生きていける英語力や専門的に環境について学んでいきたい。
- 専門分野にとどまらずに様々な内容を学習したい。
- 幅広く学ぶ。
- 周りに認めてもらえる程度には教養を高めたい。
- 世界に通じる英語力。
- ・自然科学                      ・英語
- 特に歴史と心理学について学びたいです。
- 哲学など。
- これからの人生に役立つあらゆる手段。
- これから興味が出たものを深く学びたい。
- 自己表現方法。
- 多くのことを学びたい。
- 将来のためになること。
- 自分にとって、未知の分野について探究し、さまざまなことを発見していきたい。

- とにかく使える英語を身につけたい。
- ・国際社会で活躍するのに大切な教養
- 学術的な英語。
- はっきりとはわからないけどマルチに役立つようになりたい。
- 学術英語。
- まだわかりません。
- 学術英語に特に力を入れたい。
- 学術的英語。
- 化学。
- 英語に重さを置きたい。研究に用いたり議論をする際自由に扱えるようになり海外で活躍することを目指したい。
- とりあえず英語。
- 文型の教養科目。
- 英語を用いて専門的なことを議論できる能力。
- 幅広い地識を運用できるようなこと。
- 英語で会話できるようになりたい。
- 自分が関心が無かったようなことでも知ることで新たな見方を持つ。
- 国際的に使われている英語を今まで以上に学びたい。
- 理学系。
- 様々な分野の研究内容。
- 英語。
- 英語。
- 専攻に関係なくても意欲的に取り組み、幅広く、知識を身につけたいと思います。
- 海外の人と話せるような英語。
- 留学するために英語を勉強したい。
- 英語をしっかりと学びたい。
- 英語で学ぶ、日本を知り、国際感覚をみがく。
- 現代社会の仕組み。
- 普段学ばないような興味深い分野。
- 世界的な場で役立つような「学術英語」。
- コミュニケーションの面で障害を感じるようになるくらいの言語能力。
- 国際的な価値観を持てるように学びたい。
- 自分を成長させること。
- ・学術英語
- まだぼんやりとしか決まってない。
- 色々なこと。
- 海外に行って日本のことを説明できるように日本文化について学びたい。
- 社会に貢献し、よりよい明日を築くこと。
- 基礎となるもの。
- 実践的な英語を身につけたいと思った。
- 幅広く。
- 将来の役に立つものだけでなく、学問それ自体がおもしろいと思えるものも学びたいと思います。
- 英語。
- 英語。
- 物化をもっと知りたい。
- 国際関係。
- とにかく英語の力を伸ばす。
- 英語の力をもっとつける。
- クリエイティブな思考力。
- まだ分からない。

- なし。
- 英語により、日本だけでなく世界へ。
- 英語。
- 幅広い科目選択と知識取得によって柔軟な考え方を身につけたい。
- 環境や資源について学びたいのでそのために必要なこと。
- 人文、社会系などの工学部とはあまり関連がなさそうな教育を幅広く受けることで、自分の知識の幅を広げたい。
- 経済。
- 社会の役に立つこと。
- 学術英語を学んで様々な人と議論をかわしたい。
- 実際に参加する形での研究。
- 1回生の内は、理系の科目だけでなく文系の科目（例えば日本史などの歴史や文学、社会についての講義等）を取って教養を深めたい。
- 幅広いこと。
- いろんなこと。
- 英語には力を入れるべきだと思った。
- 専門的知識だけでなく広く確かな学力をつけたい。
- 自分の価値観が広がるように、幅広い分野のものを学びたい。
- 役立つこと。
- まずは英語をしっかりと学び、国際的に交流したいと思った。その上で、専門知識を学んでいきたいと思った。
- 哲学、語学（イタリア語、英語）。
- 英語とアラビア語。
- 留学をして、現地の人と、交流したいと思った。様々な学問に関する知識を得たいと思った。
- 外国語をもう一度しっかり学びたいと思った。
- 英語力を高めたい。
- 新しい文化を学びたい。
- 様々な視点をもつこと。
- 英語関係。
- 文理とわかない様々な授業。
- 国際社会に必要な語学。将来の職に生かせる専門知識。
- 理系の内容だけでなく、文系用なことも学びたい。
- 文理にとらわれず幅広い内容を学びたい。
- 今後の専門科目につながるようなヒントをつかむ。
- 世界の国々の文化や語学。
- 現代社会の諸問題とその解決策を学びたい。
- 英語。
- 英語を重視しつつ工学部の内容を広く学んでいきたいです。
- 専門分野に限らず、幅広い分野での知識を身につけ、柔軟な考え方を身につけたい。
- 語学力をつけ、世界の人に自分の意見を発信し、相手を理解したい。
- まだ分からない。
- 理系科目ではない科目も多く学びたい。
- 人は文化や地域の違いによって価値感も変わる。ただの1次元論な考えは下手をすると、自己満足の考えに陥りかねない。そうならないためにも広い見識、世界についてを学びたい。
- 論文を読んだり、将来のために英語をしっかりと学びたいと思った。
- 国際的な交流をするための英語。
- 万事に通ずる考え方。
- 幅広い教養を身につけたい。
- 他の国のこと。
- 主に学術英語。

- 世界で通用するような人になる為に必要な教養。
- 自分の可能性を広げ、より豊かな人間になるためのこと。
- 言語をきちんと修得する。
- 英語。
- 幅広く学問に触れる。
- 学術的英語。
- ※※先生の話聞いて、幅広い教養を学びたいという思いが強くなった。
- 英語。
- 英語。
- 幅広い、深い学問にふれる。
- 環境問題や都市計画に関わる文化背景などさまざまなこと。
- 環境系科目を学びたい。

## 2. 建築学科 (アンケート提出率 96.3%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 幅広い学問や、人を学ぶ。
- 自由／社会に出るための基礎知識をつけたい。
- 自由を求め、人との交流範囲の拡大に取り組みたい。
- 建築について学ぶと共に、将来は海外で仕事をする可能性も見据え、国際交流に力を入れたい。
- 教養を深めつつ、興味のある分野に打ちこむ。
- 自分の意見をしっかり持ち、伝えられるようになる。
- 学問的素養だけでなく様々な経験を通ずることで豊かな人間性を身につけたい。
- 様々な人に出会い、学びたい。
- 国際的なことにとりこむ。
- 勉強や部活動、サークル活動に参加し、色々な人と話をしてみたい。
- 知的探求心を満たす。
- 世界に自慢できるような建物や都市の開発に携わられるような技能を身につけたいと思う。
- まだまだ自分には足りない知識をどんどん獲得し、自分の視野を広くして、建築に対する考えを深め発信していきたい。
- 楽しみながらも、学ぶことは忘れない。
- いろいろな人と出会いたい。
- 自分から意欲的に学びに行く。英語は特に。
- 京都大でしか学べないものを学びたい。
- 論理の整合性を大切にされた考えを養い、哲学的な意匠をはらんだ建築の学習。
- 将来の夢を叶えるために必要な資格等の勉強。
- 建築士をめざしてがんばりたい。
- 新しい知識を求め、いかしていきたい。
- 物資が少ない状況であるものを使って臨機応変に対応するために、幅広い教養を身につけたい。
- 先人の知識を生かして新たな角度から専門的分野に取り組みたい。デザインと機能性を両立した建築を目指したい。
- 建築士になるための勉強をしたいです。
- 色々なものにふれる。
- 色々な人、価値観に触れ、視野を広げたい。
- たくさんの人と関わり、たくさんを学び、自分の将来につながるよう努力したい。
- 様々な分野にふれ、知識をふやしていきたい。
- 専門的な知識。社会経験や社会交流もほしいです。

- 自学自習に取り組みたい。
- 自らの創造力を高め学力の土台を築き興味のある分野について学びたいと思います。また積極的に様々な価値観を持つ人達と交流していきたいです。
- 建築のデザイン系について学びたい。
- 専門的な学問（建築）に打ち込み、様々な人と交流し自らの知識を深める。
- 学業とクラブ活動、バイトをバランスよくしたい。
- 自分から幅広い知識を求め、英語を身につけたい。
- 建築の仕事で人の役に立つために必要な技能と知識を身につけること。
- 自学自習を確立し、広い教養を身に付ける。
- 専門を中心に様々な学問に取り組みたい。
- 好きを追究する。様々な考えを吸収する。
- いろいろな考え方を知らるために授業に積極的に取り組みまた友人とも積極的に関わる。
- 広範な知識を得、又特定分野において実際的な知識を得ること。
- 専門にとらわれず幅広い知識、教養を身につける。
- サークル。
- 自分の興味のあることをより深く学びたい。
- はば広い知識。
- 学術英語を高めたい。
- 特に英語をがんばりたい。
- 無理な生活をしたい。
- 高校の勉強はつまらなかったのでもっと専門的なことを学び、意欲をもって勉強したい！
- 国際的な力を身につけ、自分の活動範囲を広げていきたい。
- 国際的な能力を得る。
- 建築について学ぶ。
- 自分の興味のあることを見つけ、それについて研究する。
- 地球全体の共存に寄与することが、出来るような教養などの知識や分析力などを身に付けること。
- 建築士として立派になるための学門。
- 広い世界で生きること。
- 建築について学び、将来の仕事に生かしたい。
- 向上心を持って学問に取り組む仲間のいる環境と高度な専門教育を求め、また幅広い分野を学びつつ建築学を深く勉強したいです。
- 建築家に向けて、幅広く、日本と世界の理解を深める。
- 学科の専門的な勉強と国際。
- 英語と専門分野。
- 専門的な知識を身につけられるよう、積極的に学習に取り組みたい。
- こんな短時間では書けません。
- 幅広い範囲を興味をもって取り組む。
- 与えられたことをこなすだけでなく、自分から動き視野を広げ、他の人の立場から考えられるようになりたい。
- 日本を代表して、誇りを持って世界中の人と仕事ができる人になりたい。
- 建築家としてまわりに信頼され得る知識と能力。
- E S Pできるようにしましょうー。
- 研究者として必要な素養を身に付ける。
- 建築についての知識、他者からの刺激、創造。
- 英語を上達させて、国際的な視野を広げていきたいです。
- 建築以外も幅広く学ぶ。
- ・ 専門的な知識を求めています                      ・ 芸術に触れながら充実した生活をした

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 近い将来のために役立つ、自分の専門以外も含む、専門分野。
- ・英語は本気でマスターしたい                      ・好きなことを見つけたい
- 海外からの留学生と積極的に交流して他文化への理解を深めたい。
- 自国と他国それぞれの文化、思想について学びたい。
- 文系科目、英語。
- 幅広い分野の知識を身につけたい。
- 今まで自分が全く関わったことがないような未知の分野。
- 英語が以外と重要だと感じたので、これからはしっかり勉強したい。
- 社会に必要とされる人間になる。
- 英語を中心にして学んでいきたい。
- 工学部生として必要な数学理科などだけでなく幅広くたくさんのことを学びたいと思う。
- 専門科目以外（文系科目）の知識が自分にはかなり欠如しているように思われるので視野を広くするためにも文系科目の知識も得たい。
- 広く浅くいろいろなことを学びたい。
- まずは幅広く、色んな分野のことについて知りたい。
- 工学部に在籍するが、理科系の内容だけに留まらず人文系、社会系、芸術系のものも幅広く学びたい。
- よくわからないので、後に考える。
- 建築を学ぶときに必要な、地理や歴史など。
- 海外での活動を視野に入れ、山かんの観点から物事を見ていきたい。
- 学術を国際的に行うために、英語をはじめとして様々な知識を統合したい。
- 英語、建築関係ならなんでも。
- とにかく英語を満足に使えるように頑張りたい。
- 専門の科目だけでなく、幅広く学びたいです。
- 何に興味もてるかを探していきたい。
- 学術英語にはかなりの必要性を感じた。
- 将来の学問に役に立つように英語をしっかりと学びたいと思います。
- 学術英語、職業英語をしっかりと学びたい。
- 他国の文化など。
- 人文科学系のものと自然科学との両方を、バランスよくとりたい。
- 特定の科目だけでなく、歴史など幅広い知識を学びたい。
- 語学力。
- 今後将来に役立つこと。
- 広く一般教養をもち、様々なことに興味をもち率先して物事に取り組めるようになるよう学びたい。
- 外国語等。
- 英語ができることが必要最低条件ということがわかり、焦りを感じた。
- 学んだことが後々専門科目を学ぶ際に生かせるよう、幅広い知識を身につけたい。
- 語学。
- 英語、建築。
- あらゆることすべて。
- 幅広い分野について学んでみたい。
- はば広い知識。
- 専門的な内容だけでなく様々な視野をもちたい。
- 外国語を学ぶことが大切。
- 雑学とは違うけど、何でも知っているものしりになりたい。
- これからの時代、やっぱり英語！！
- 自分の学力のレベルの自覚をしっかりと、周囲に負けないように活動していきたい。

- 外国の文化に対する理解。
- 学術英語を身につけたい。
- 国際的に通用する英語。
- ・学術英語                      ・他国の価値観
- 実際の仕事で生活で使えること。
- 自分の世界観を広めるような学習をしたいです。
- 英語を学んで自由に使えるようになる。
- 今まで出会うことのなかった分野の学問を学びたいです。
- 芸術・歴史。
- 様々なこと。
- 英語と専門分野。
- 広い視野を得るため、多角的な知識を身につけたい。
- 特に英語。
- 日本という視野に留まらず、視野を国際に広げたい。
- 建築家としての将来に生かせる知識。
- 時代は英語、英語英語。
- 高校では触れる事の無かったミクロの世界に触れたり、より高度な英語能力を身に付けたい。
- 建築を職業としてやっていくために必要な予備知識。
- 全教科において英語が必須になってくるので、英語の技能を高め専門的分野を勉強していきたいと思った。
- スポーツ。
- 言語はしっかり学びたい。

### 3. 物理工学科（アンケート提出率 96.7%）

#### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

##### A. 以下のとおり

- 素粒子研究。
- 落ち着いてたくさん考え事。
- 平和に暮らすための知識。専門分野にとりくみたい。
- 自由を求める。サークル活動と授業を両立しつつ、将来に向けて必要な英語を学びたい。
- 知的好奇心を満たすこと。
- 高度な専門的能力を身につけたい。
- 誇りをもてるような技能を卒業までに身につけたい。
- 物質を自由に合成する。
- 勉学に励むと共に、幅広い人間関係を築きたいです。
- 総合大学なので、幅広い教育に取り組みたいです。
- 将来につながる学習。
- 様々な学問に触れる。
- 専門だけでなく、幅広い学習をしてください。
- 文武両道。
- 様々なことに取り組みたいです。
- 高校ではできないような勉強や活動がしたい。
- 京都大学の自由な校風のもと、自律的に勉学に取り組み、確固たる基礎・専門知識を身に付けた上で専門的に学問に取り組みたい。
- 大きな人間になりたいです。
- 幅広い知識とそれを基礎とした専門技能の修得。
- 自由。
- 新しい考え、新しい技術。

- 積極的な姿勢。
- 幅広い教養の元での専門分野の研究。
- 理系以外の科目も積極的にとって、色々な見方を学びたい。
- ・さまざまな学問を学びたい                      ・英語のリスニングやスピーキングがうまくなりたい
- 知識を求め、学問に取り組む。
- 宇宙工学に取り組みたい。
- 研究。
- 目標の具体化、それに必要な技能の取得。
- 自分から自由に勉強したい。
- 宇宙。
- 積極的に意見を発信し、より深い理解ができるようにしたい。
- 英語をしっかりとできるようにし、また専門的知識も増やしたい。
- ・世界に通用する人材になること                      ・使える英語力や豊富な知識
- 様々な授業を受けたりして自分の知りたいことをたくさん見つけたい。話せる英語を使えるようになりたい。
- 自分の関心のあるものをみつけ、それを深める。
- ・自分の考えを外国人にも伝えることができるようになりたい  
・学生の間（若内）に夢中になれるものを見つけて取り組みたい
- 専門的な研究。
- 今まではふれたこともなかった様々なことに取り組みたい。
- 様々な分野の知識を学び、自分が興味を持った分野を深く研究していきたい。
- 鉄道のしくみを知る。
- ・授業以外にも様々な活動に取り組み、自分の視野を広げたい  
・多くの経験をして人としての力をつけていきたい
- 教養と専門を身につける。
- 大学だからこそ学べる深い所まで学びたい。
- 興味のあることについての研究。
- 専門的な知識。
- サークルや部活動。
- 将来の実現。
- ・興味をそそるもの                      ・社会に役立つもの
- 特に英語、物理、数学などの学問にはげむ。
- 学術英語の能力を伸ばしたい。
- トヨタ、デンソー、三菱重工など、愛知の会社で働きたいと思っているので、そのために物理工学科で機械のしくみなどを知り、学びながらも、大学生としての生活を充実させたいと思っています。
- ・1、2回生で広い知識と3回生以降に専門知識を得たい  
・充実感を得られるように生活したい
- 研究者として成功できるような知識を身に付けたい。特に、英語で議論できるくらいまで身に付ける。
- 広く、深く学ぶ。
- 幅広く知識を求めて、より一層けんさんをつんでいきたい。
- ・自由に知識を得れる環境                      ・工学系の幅広い知識の獲得
- 自らの興味のある分野にしっかりと取り組むための知識の提供を求め、将来的には筋電義手に関わりたい。
- 新しいものを学ぶ力。
- 社会に出て恥じない人間になるために社会の役に立つことを身につける。
- 充実した時間。
- 最先端の技術を応用・発展させるために必要な知識や能力を身につける。
- 自分の専門性を高めるために、高度な基礎を学ぶこと。
- 学問と、大学生活を両方楽しむこと。
- 新しいこと。
- 積極的に学び、自分で考える。

- 具体化しようとしているところ。
- 具体的にはまだ分からない。知的な友人と知的な会話をし、学問を追究し、何か研究したい。
- 教養のある人間になりたいです。
- 物理系研究職につくための勉強。
- 自分の将来像が未だに定まっていないので、自分がやりたいことが何であるのかを探したい。また、自分のやりたいことが見つけられた時に、対応できるよう広い見識を身につけていきたい。
- やすらぎやわらぎ住宅。
- 幅広い教養を身につけつつ、自分の興味のあるものに全力でとりくみたい。
- ・学びたい                      ・楽しみたい
- ・自ら学んでいく積極的な態度を身につけたい  
    ・興味のあることを貪欲にどんどん学んでゆきたい
- よりグローバルな人材になれるように英語を勉強する。
- 語学を積極的に学びたい。
- 将来のことを考え、将来の役に立つ経験をしたい。
- さまざまな考え方を身につけること。
- 高い教育環境下で互いに影響しあい、新たな価値観を得たい。
- 様々な分野の学問に取り組み幅広い知識を身につけること。
- レベルの高い知識が得たい。
- 最先端なこと。
- 高校より専門に特化したこと。
- 自習性を持ち、社会に貢献できる人間になりたい。
- 語学と専門科目のどちらにも力を入れる。
- 色々な事を知って、色々な研究をしてみたい。
- 数学。
- 広い知識をえる。
- 幅広い教養を見につけ視野を広げて専門科目に取り組みたい。
- たのしさ。
- 世界に通用する知識、技能、表現力を取得できる環境。自分の興味のあることに対して能動的に、積極的に学んでいきたい。
- 熱心な講義及び研究。
- 原子力の研究。
- 英語は会話出来るレベルまで勉強する。
- 物理学。
- 興味ある学問を深める。
- 自分が興味を持って打ちこめる専門分野を見つける。
- 専門分野の知識の習得と実践。
- ・知見を広める                      ・ロボットの研究
- ・しっかり勉強する                ・留学をしたい
- 自分の学科とは別の事についても取り組んでいくことによって厚みのある人間になりたいです。
- 自分のやりたいことを見つけ、それに向かって前進できるように努力していきたい。
- 英語力の向上。
- 自分が研究し、知識を深めていきたい分野を見つけない。
- 国際的なつながりを求め、留学や外国について学びたい。
- 京大でしか受けられない授業で知識の幅を広げたい。
- 広い知識を得たい。
- ロボット工学系の機械システムを学びたい。
- 高いレベルの環境で工学について広く学び、専門について自ら研究する姿勢を身につけたいと考えています。
- 専門能力を身につける。
- VR技術。

- 専門能力を身に付ける。
- 国際交流。
- やりたいことをやる。
- 興味の探求。
- 興味の探求。
- 研究、専門の勉強をしたい。
- はば広い知識を学び最先端の研究にふれる。
- 自分の将来就く仕事の分野の深い知識を得たい。様々な分野を勉強し幅広いもの見方ができるようになりたい。
- 社会に通用する教養と技能。
- ・創造的な知の育成                      ・ダイエット
- 早く英語を話せるようになりたい。今は具体的には分からないけど、常に新しい目標を立てて勉強したい。
- ・進学                      ・卒業                      ・留年しない
- 専門知識を身につけ。
- 専門知識を身につけ。
- 社会の役に立つ研究をするために必要な知識をみにつける。
- 世界レベルの技術・知識を求め、興味のあることに積極的に取り組みたい。
- 自分の真にやりたいことを見定めるための礎として、多岐にわたる分野で正確で魅力ある情報を学びたい。
- 様々な分野を幅広く学び、自分の視野を広げたい。
- エネルギーについて学び、環境問題に取り組む。
- 知識と技能。
- 探求心をもって知識を得たい。
- 充実した生活。
- 興味ある分野について深く学ぶ。
- ・国際的な力、英語力を身につけたい                      ・自分の学びたいことを自由に学びたい
- 客観的に世の中を見る目を獲得し地球全体に役立つ努力をしたい。
- 社会で役に立つ知識。
- 最高の環境の中で、自分の知識や能力を高めることを求めて、自分の研究したいことをきちんと研究できるよう基礎を固める学習に取り組みたい。
- 専門科目はもちろんその基礎となる様々な内容についても理解を深めたい。
- いろんな考えを持った人たちとふれ合って、いろんな考え方のできる人間になりたい。
- 世界で活躍する。
- 基礎的な学習を通じて自分の専門としたい分野を探す。
- 自分のやりたいことを見つけ、それを追究する。
- 知を求め、勉学に励む。
- 美しいものを知りたい。
- 自分が好きな科目を見つけ、自由に勉強したい。
- 高校では学べないようなことを学びたい。
- クラブ・サークル等で仲間と共に楽しみ、勉強もがんばっていききたい。
- 物理の本格的な研究がしたいです。
- 英語の運用能力を高め、自分が没頭できる研究分野に出会いたい。
- 多くの人々と交流して見識を深めたい。
- 多くの人と議論をかわし、これから進む道を決めたい。
- 勉学のみでなく、一社会人として十分な能力を身につけ、将来に活かせるようなこと学ぶことを常に意識して行動する。
- 将来の進路を決める。
- 自分が面白い！と思えるような学問に出会いたい。
- 自分の研究を深めていく上で、必要な基礎知識・世界に目を向ける姿勢を身につける。
- 知識の広がり深くまで探求することを求めて、世のためになるような知識を身に付けるために必要だと考えられるようなことに取り組みたい。



- 自分が将来進むべき道を求め、その道を見出せるのに十分な努力をする。
- 大学院への進学に向けて勉学に励むとともに、サークル活動を通して小説執筆のための能力の修練に努めたい。
- 多くの人の役に立つようなことをしたい。
- 英語力を高める。
- 英語の習得（リスニング・スピーキング）。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 政治、経済。
- 何でも。
- 一般教養。
- 興味のあること。
- 偏りが無い広い知識を身につけたい。
- 広い知識。
- 統計学、地理学などおろそかにしていた文系科目。
- 多様な科目を学びたいです。
- 自然・応用科学系科目群だけでなく、人文・社会科学系科目群も学びたい。
- 一見、理系としてはムダに思える授業を取り、教養を深めたい。
- 人としての成長。
- まだ分かりません。
- 英語はしっかり学ぶべきだと思った。
- 学問というものは、1つの分野にとどまることはなく様々な領域にまたがるものである。したがって自分が専攻する分野だけでなく、可能な限りの多様な領域における基礎知識を学び身につけたい。
- 外国人と普通に会話するぐらい英語が強くなりたい。
- 高校時代は苦手であった英語をしっかりと学ぶ。そしてきちんとした論文を英語で書けるようにする。
- 英語。
- 海外で通用する言語力を身に付けたい。
- より深い知識を得る。
- 英語。
- 国際的に活躍できる人間になるために必要なことを学びたい。
- 英語を特にかんばりたい。
- 幅広く、世界に通用する知識。
- 英語を学問の世界で使えるようになりたい。
- 英語。
- 専門以外の生物や文系科目も学びたい。
- 英語。
- 学術英語。
- 学問のために使っていけるような英語。
- 日本や外国のことを知りたい。
- ・様々な国の文化                      ・留学にも興味
- ・芸術と文化の関係                ・音楽
- とにかく英語が絶対に必要だと知ることができたので、高校よりも力を入れて勉強をしていきたい。
- 国際的に活躍するのに必要なもの。
- 英語を身につけないことには始まらないと感じたので「英語で学ぶ」を目標に頑張りたい。
- 情報。
- 自分の専門外をしっかりと学びたい。
- 専門的な自然科学系科目など。

- 色々な教養を身につける。
- 様々な分野について学び、物事を色々な視点から見られるようになりたい。
- 語学力をつけたい。
- 国際的なことを学びたい。
- ・英語を中心とした各科目                      ・工学専門の科目
- 高度な知識。
- 常識。
- 英語を使い、専門知識を得る。
- 英語関連。
- できるだけ幅広く学びたい。
- 倫理。
- 英語には力を入れていきたいと思いました。高校までは英語を「ただ覚える」だけのものだと思っていましたが、英語は、グローバルなコミュニケーションのためのものなので、「話せる」ようにもなりたと思いました。
- ・英語を重視したい                      ・幅広い分野の授業を取りたい
- 自分の専門科目とは全く関係のないことなど、幅広い知識を身に付けられるようにする。
- 地理学や法律などを学びたい。
- 数学など。
- 英語、リスニング系。
- とにかく様々なことを学びたい。
- 言語を学び、それを運用する。
- 自分の興味があること。
- 世界で通用する英語力。
- 将来の自身に何らかの形で役に立つこと。
- ・心理学                      ・論理学                      ・哲学                      ・政治学
- 理系、文系を問わず、自身の知識を増やせること。
- 社会に出て役立つようなこと。
- さまざまな考え方を学んで、自分の考えをまとめる参考にする。
- デザインについての授業、哲学、社会科学。
- 常識ある人になるために必要なもの。
- 理科。
- 英読運用力を身につけること。
- 外国語、特に英語の素養を身に付け、国際的感覚を得るためにも、様々な情報を利用しながら、工学部生としての、専門的スキルを学んでいきたい。
- ひじとひざの違い。
- 多くのこと。
- 知識階級としての常識。
- 英語。
- 就職のことを考えた専門的な英語を学びたい。留学もぜひしたい。
- 自然応用科学系はできるだけたくさん。他には英語、経済学など。
- 一般的教養。
- 世界で通用する英語。
- 語学。
- まだわからない。
- 実用性のある英語。
- 体育。
- 国際社会で必要とされる英語スキル。
- 歴史。
- 幅広く学ぶ。
- 心理学、物理系。

- 外国的なこと。
- 日本人として恥じないように、必要な知識。
- 専門文野。
- 英語。
- 英語力をつける。
- 哲学関連。
- 語学。
- とにかく多くのこと。
- 言語。
- 今まではあまり取り組んでこなかった英語のスピーキングやリスニングに取り組み外国人とコミュニケーションすることで異なる価値観や思考方法を知ること国際感覚を身につけていきたいです。
- 機会があれば留学したいので、英語を重点的にしたい。
- 専門科目に関する学力向上のために視野を広げる学習。
- 数学や物理だけでなく、人文科学もしっかり学びたい。
- 将来の学習研究に役立つ知識を学びたい。
- 使う英語技能をまずはしっかり身につける。留学制度にも興味がわいた。
- 英語を使えるようになる。
- 工学に必要な英語。
- 将来的に理数系や英語は必須なので全般的に漏らさず学んでいきたいと思います。
- 世界で通用する英語力をつける。
- 興味のある分野に積極的に授業を受けたい。
- 将来役に立つような英語力。
- 国際的な教養。
- 英語力。
- 英語。
- 英語。
- 人文・社会科目群をふくめ幅広く学ぶ。
- 将来色々な角度から物事をとらえて豊かな発想ができるような人間になるため理・文に拘らず幅広い知識を得たい。
- 分野にとらわれず幅広い内容を学ぶ。
- 基礎的な学問を幅広く学びたい。
- 広範囲の分野について学び、強い基礎学力を身につけたい。
- 交流と思考の能力。
- コミュニケーション能力。
- 外国語。
- 自分の視野を広げ、新しいことへ挑戦させてくれるようなこと。
- 人文・自然科学関わらず、興味のあるものすべてに触れたい。特に、芸術、文化、言語。
- 歴史学や政治などの、視野を広げるもの。
- 学術英語。
- 理数系&言語。
- 英語力をしっかり身につけたい。
- 英語。
- 将来的に考えて役に立つこと。
- ・英語の能力を身につけたい                      ・幅広い知識
- グローバルな今の時代に通用する世界に役立つ幅広い知識・技能を学びたい。
- 自分にない考え方。
- 社会人として、行動する中で、物事の背景などをしっかりと、くみとることができるよう、必要とされる知識を学びたいと思います。
- 英語や社会に関する必要な知識を学びたい。
- いろんな考え、考え方。

- 世界で通用すること。
- 好きなことだけでなく、いろいろなことに広く目を向けて学びたい。
- グローバル言語としてのEnglish。
- 俗世を生きる上で必要な知識（社会制度）。
- 英語が最低限必要である。
- 海外でも使えるレベルの英語ができるようにしたい。
- 海外で通じる英語などの、実践的な力をつけたい。
- 話せる英語などの実践的な英語力を身につけたいです。
- 日本の文化や、経済、思想などを学びたい。
- 海外の人と交流した際に日本のことを紹介できるように幅広い分野について学びたいと思った。
- 外国の人と議論できる程度の英語を学びたい。
- 英語など実用に資するもの、常識とされているもので様々な分野にわたり生かせる学問。
- 将来に役に立つもの。
- 文系科目全般。
- 英語。
- 自分に身につけていない常識。
- 幅広く学んでいきたい。
- 広い教養を身につける。
- 幅広い知識を身につけたい。
- 英語はネイティブの人と普通に話せる位まで身につけたいと思った。
- 英文で伝える技術。
- 国際社会について学びたい。
- 英語での授業。
- 国際社会のこと。
- 英語勉強したい。
- 高校教育では学べなかった文系科目などの幅広い知識。
- 幅広い知識を学びたい。
- ・幅広く専門にとらわれず学ぶ                      ・英語に力をいれる
- 広く。
- 世界の歴史に関してもっと学びたい。
- 学術英語について学びたい。また、脳について興味があるので、それについても学びたい。
- 世界史など、他には英語能力を伸ばす授業。
- 特に決まってません。講義の内容を見て面白そうなのを選ぼうかと思います。
- 専門科目にはないような社会学系のことなど。
- 英語をとくにやりたい。
- 自分の興味が向く科目。
- 理系にこだわらず幅広いこと。
- 並一通りの知識、ありがたい選択肢、誰にでもできることは、他の皆に任せておけばよいのです。
- 学術的なことを対話できるほどの英語や、自分の視野を広げるための専門外の科目。
- 英語を話せるようになる。
- 将来役立つこと。
- できるだけ、広く学んでいきたい。
- ただの理系バカにならないように、幅広い学問を学ぼうと思う。
- 英語の重要性を再認識し、英語をしっかりと学びたい。
- 現代社会に直結するもの。
- 高校で学ばなかった地理、世界史を学んでみたい。
- ・言語学              ・ラテン語                      ・哲学                      ・歴史
- 幅広く様々なこと。
- 理系科目。
- 世間に出て恥ずかしくない程度の教養。

- 高校よりも発展した物理、数学。
- 国際的に通用する語学力。
- 今もつ知識に満足せずに幅広い分野について学んでいきたい。
- 自分の興味があることや未知のことごと。
- 常識にとどまらない広い知識。
- 学術英語や法律、現代社会適応科目等、一般的に重要とされること。
- 新しい発想をつくれる考え方を付ける教養。
- 文学や理学、社会情勢などに対する考察。
- 幅広いことを学ぶと同時に、理系科目も深く学びたい。
- 人とのコミュニケーションをいかに上手くするか。
- 多くのことを学びたいと思いました。
- 自分が何らかの分野に必要な人材とされるようになるために必要なことを吸収していきたい。
- 歴史や法律の類。
- この先、一生関わることがないであろう知識が学べること。
- 幅広いこと。
- 英語。

#### 4. 電気電子工学科（アンケート提出率 98.5%）

##### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

###### A. 以下のとおり

- ロボットにつながるプログラミングの仕方、およびロボットの作成。
- 自分がうち込めるものを見つけ、それに熱中する。
- 世界を知る。
- 自分で考えて新たな世界の知を構築する。
- ・自分の将来像を確実なものにし、その達成に向けて努力する  
・幅広い知識を得て、必要な知識を深めていく
- 色々な分野のことに取り組みたい。
- 自動制御について学びたい。サークル活動も、できる範囲で頑張りたい。
- 英語を専門科目に必要となるレベルまで力をつけて、海外と連携できる会社に行けるような学力をつける。
- 数学や物理学の基礎を身につけたい。
- 将来に役立つ電氣的な分野。
- 英語を聞いてすぐ理解できるようになり、世界に通用するようになりたい。
- 自ら知を求めること。
- 勉強したい。
- ・高度な学習環境                      ・様々な新しい経験をしていきたい
- 自分の興味のあることをとことん追究する。
- 英語力を求め、英語を極める。
- 自分と違う考え方をもった人々との交流。自分の視野を広げたいです。
- 積極的に考え、他の人と意見の交換をすること。
- 多くの人と関わり、様々な考え方と自分の考え方を比べ、広い視野をもちたい。
- 対話を根幹とした自学自習を中心に、幅広い教養を身に付ける。
- 最先端の研究をし、それを英語で世界に発信できる人になりたい。
- 社会で“使える”人になれるよう学ぶこと。
- 自分の学部、学科の内容に関する研究や幅広い分野の勉強。
- 研究に取り組むのに最高のサポートを求め、工学域最先端の技術開発に貢献できる知識、技能を身に付けたい。
- 自由に学習に取り組めること。また、それによる新しいことへの挑戦。

- やりたいことをさがす。
- アカデミックな勉強。
- 勉強したい。
- 様々な分野の内容にも取りくみたい。
- 自ら主体的にテーマを決めて追究する人間になりたいと思います。
- まだ、見つかっていません。
- あたりまえのことをしっかりやる。
- 国際社会に対応できるだけの能力と教養を得ること。
- 向上心。
- 環境はある。自分から行動しやりたいことをやる。
- 未定（特にマダ考えていない）。
- 高いレベルの教育。そうした教育を受け、新たな分野にも踏み出していくための努力。
- 自分のしたいことをする。
- 質の高い授業、より専門的な知識の修得。その中で本当にやりたいことを見つけたい。
- 自分の学びたいことを積極的に学ぶ。
- 専門的知識を研究から入手したい。
- 国際交流。
- 世界で常に更新される情報に対してついていくことのできる能力の獲得。
- 専門知識だけでなく、将来社会で通用する人材になるために必要な幅広い知識を得るために様々な科目に意欲的に取り組む。
- 今から見つけたいと思います。
- 自由な生活を求め、様々なことを経験してみたい。
- やりたいことを、とことん行って、人との交流を積極的にする。
- 勉強については、もちろんのこと、高校の時には出来なかった、大規模な活動にも力を入れていきたい。
- 他国へ行っても恥かしくない程度の教養を身に付けたい。
- 英語を学んで論文を読み、自らも英語で論文を書くようなロボット関連の事に取り組みたい。
- 幅広く学ぶ。
- 留学して、国際的なレベルの高い能力を身につけたい。
- これからの進路を決める。
- ・専門分野をとことん学びたいです
- ・英語の能力を高めたいです
- 人工知能開発。
- 自ら勉強を学んでいきたい。
- 様々な分野での知識を深めることを求め、色々な授業・体験を経験したい。
- 高度な教育プログラムにより、国際社会で活躍できるための能力を身につけたい。
- 積極的な学習に取り組みたい。
- やりたいことについて調べ、それにむけて考えていきたい。
- 自由で意欲的な取り組み。
- 自由に勉強もサークル活動もがんばる。
- 今後生きていくために必要な色々な力を身につけたい。
- 幅広いことに取り組み、知識の幅を広げる。
- 色々な考えの人と出会うこと。
- ・学生として、すべきことをし、してはならぬことをしない
- ・高度な知識を得て目標に生かす
- ・生体医工学についての研究
- ・幅広い知見を出来るだけ吸収する
- 関心のある分野を見つけ、積極的に取り組み追究する。
- 自分のやりたいこと、自分にあつたものを探すこと。
- 学部生のうちに留学する。
- 学術英語を身につけ、留学する。
- 積極的に学習をする。
- 勉強中心に取り組みたい。

- 特になし。
- 電子系の深い知識を身につけること。
- 物理系のこと。
- 自分自身の意見をしっかり述べ、英語で考えられるように取り組みたい。
- 何かを創ること。
- これから考えていきたい。
- 高度で洗練された知を希求し、それを生かした自主的な学術的創造に取り組みたい。
- ・友達作り                      ・研究
- 留学したい。
- ・留学                              ・研究
- サークル活動。
- ・使える英語を身に付ける              ・留学
- 専門知識を確り身につけたいです。
- 自分の視野を広げ、様々なことに挑戦したい。
- ・自分なりの目標を設定し、それに向けて努力する  
  ・留学生など、様々な人と交流し、視野を広げる
- 時間がかかることに打ちこみたい。
- 幅広い知識を身につけつつ、専門的な知識を深めたい。
- 電気に関わる専門的なことをしたい。
- 他者にとっての自らの価値を求め、その発見と向上に取り組みたい。
- 個人が自由かつ積極的に様々なことに挑戦できること。京都大学でしか取り組めないことに取り組みたい。
- 英語をしっかり勉強して、積極的に、いろんな講義を参加します。
- 社会で必要とされる技能を身に付けたい。
- ・様々な人々と交流を深める              ・専門的な知識を身につける
- 自分が最も興味を抱いている分野の知識を獲得することを優先的に他の様々なことに対して積極的に関わり、人間的に成長したい。
- 専門的な技術を身につけ、高度な研究に取り組みたい。
- 「使える」英語を学び、自学自習の中で専門分野を含む幅広い分野のことを学んでいきたい。
- さまざまな人と交流して、自分の価値観を深めたい。自分が夢中になれるものを見つけない。
- 高レベルの教育。
- 留年せずに卒業したい。
- 様々な分野の学問にふれたい。
- 広範で深遠な学問探究。
- がんばりたい。
- いろんなことを学び自分の興味をもつことをきめたい。
- 将来役に立つこと。
- 専門知識を求め、最先端技術に取り組みたい。
- 国際社会に出て行って、通用する人になる。
- 最先端の教育をうけてそれに関する発展的なことに積極的にとりこんでいきたい。
- 元々一つのことに熱中しやすい性格なので、とことん興味を持って研究できるような分野を見つけた。
- 勉強だけでなく、幅広く様々なことに興味をもち取り組みたい。特に、英語、交友関係等。
- 自分の視野を広げてくれること。
- 知識を探究し、幅広い分野に対応できる人になること。
- 自分の目標への努力をかかさずした上で、自分の興味のあるものを探究していく。
- 専門性を得ながら、幅広い分野を学びたい。
- 理想。
- 自分のやりたいことを探して、それを成し遂げたい。
- 自分の夢・目標の基礎となる知識を身につけ、目標に近づく！！
- 新たな知識を獲得したい。
- 立派な人。

- ・興味のあることを幅広く学ぶ                      ・もっと英語を実用的に使えるようになりたい
- 英語を頑張って、留学できるレベルにする。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 基礎となる学問を早いうちから吸収して、2回生、3回生と進級したときにつなげられるようにしたい。
- 英語の重要さがわかったので、そこから取り組もうと思います。
- 英語をふつうに扱えるように。
- 社会に出て恥ずかしくない程度の一般教養は身に付ける。
- 世界で通用する英語力をつける。
- 英語。
- 今までとは違う世界観を知りたい。
- 人生が豊かになり、楽しめる科目。
- 今まで日本語で学んできたことを英語で説明できるようにしたい。
- 学術的な英語。
- 世界に通用する英語。
- いろいろな分野で、自分で考えるための基礎となる知識。
- 数学。
- 社会に進出するために必要不可欠な一般教養さらには、自分の専門に関する幅広い知識を身につけたい。
- はばひろい知識や考え方にふれること。
- 適当に。
- 外国語に力をいれたいです。
- ・英語で留学生と交流できること                      ・すべての基礎となる教養を身につけること
- 実際に社会で使える英語力を身につけたい。
- 就職に有利になる教養と英語を運用する能力。
- 見聞ひろめたい。
- 英語。
- 専門の研究にどこかで役立つこと。
- とにかくたくさんを学んで自分の興味を広げたい。
- 日本の文化や自分の意見を、世界各国で発信できるような教育・言語能力を身につけられるような学びがしたい。
- 一般に必要な教養はもちろん、正しい学習姿勢を学びたい。
- 色々。
- 将来的にも役に立つこと。
- 物理に関する詳しいことや、各地域の地理などを特に学びたいです。
- 役に立つ英語を身につける。
- 自分のきょうみのあること。
- 幅広い分野を深く知りたい。
- 学術英語。
- 英語を学び、他の分野に役立てたい。
- シラバスを見て考えたい。
- 英語など、外国語の学習には一層力を入れなければならないと思った。
- まだ未定。
- 海外でも通用するよう、学術的内容を英語でやり取りできるようになりたい。
- 今後の生活に役立つような教養を学ぶ。
- 世界に通用する就職してもある程度役立つ知識。
- 英語。
- 世界に通用する英語。

- 学術目的での英語。
- まだ分かりません。
- 将来の生活に役立つこと。
- 研究だけでなく人として成長できることを学びたいと思う。
- 英語という必要不可欠なものを基軌にし、理系であるので、理数を学んでいきたいと思う。
- 英語。
- 英語。
- 将来使えること。
- 日本やアジアについてのこと。
- より高度な教育。
- 興味を持ったものに関しては、少しでも幅広く触れてみたいです。
- 基礎的知識。
- 一般の知識を広めたい。
- 物理学を詳しく学びたい。
- 海外で対等な会話が行える程度の英語運用能力。
- 国際的なこと。
- 英語力の大切さを感じたので、英語と自分の学部以外の知識にも目を向けたい。
- 広く新たな知識を身につけたい。
- 英語など世界で使えるもの。
- 様々なことを幅広く学びたい。
- 人間性を豊かにしてくれるような幅広いこと。
- 自然科学系だけでなく、人文科学系のことも。
- 最低限の英語学習をしながら、必要に応じて英語力を向上させたい。
- ・理系、文系を問わない幅広い知識                      ・実用英語
- 社会に出てから役立ったと思えるような分野の学問。
- 幅広い視野で事物をみれるようになりたい。
- 英語。
- 世界中の人と議論できる英語力と、論文の理解、表現。
- 幅広い知識を見につけたい。
- レポート、論文などの書き方、発表の仕方。
- 未定。
- 電子系に生かすための幅の広い知識。
- 物理系のこと。
- 自分の専門以外のことも幅広く学びたい。
- 文学。
- 法律、政治、経済。
- 人文社会学。近年の国際紛争についてその原因と解決及び各国の考え、主張について学びたい。
- ・英語                      ・スペイン語
- 実用的な英語。
- 工学。
- 分からない。
- ・色々と                      ・語学が好きです
- いろいろ。
- 国際社会で活躍できる英語力を身につけたい。
- 今まで習ったことをより深く学んだり、新しいことを学びたい。
- 己の視野を広げること。
- 世界で通用する英語力を身につける。
- 文系などの他学部の知識や自主学習の能力を学びたい。
- ディスカッション能力をきたえたい。
- 語学。

- 単なる座学でなく実践的に使える知識を際限なく学びたい。
- いろいろな事を幅広く学びたい。
- 「使える」英語。
- 自分の英語能力を高めたい。
- 世界に通用する教養。
- ・経済                      ・英語
- 英語で論文を読み書きできるようになりたい。
- 学科の枠にとらわれない幅広い教養。
- 色々。
- 外国の文化や、言葉を学びたい。
- ディスカッション等の能力をつける。
- これからの日常や社会で使うことのできる英語。
- 国際交流に役立つような知識や語学を学びたい。
- 英語の会話能力を主とした、学術的運用能力の向上。
- できるだけ幅広い分野の科目を選びたい。
- 自分の考えを発信できる能力。様々な考えに触れて自分を豊かにしたい。
- 人文系を学びたい。
- 英語講義の科目。
- 自分のやりたいことをやっていきたいと思った。
- 哲学。
- 民法。
- 英語をめっちゃ勉強する。

## 5. 工業化学科 (アンケート提出率 98.8%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 自由な環境で好きなことを学び、新しいことにどんどん挑戦したい。
- 無機化学の金属をより詳しく学びたい。
- 幅広い分野を学び、興味のある分野の研究に取り組みたい。
- いろいろな人に会い、研究する。
- あらゆる分野の知識。
- 国際的に認められる研究者になるー留学(英語教育)と専門知識に積極的に取り組む。
- ・とりあえず勉強を第一に考える                      ・遊ぶのも大切にしたい  
・留学もしてみたい
- 多面的に物事を見て判断すること。
- 質の高い学習を求め、自学自習での予習・復習、授業に取り組みたいと思う。
- ・よりよい学力                      ・英語でのコミュニケーション
- 将来なにをしたいかはまだ決めていないけど、良い環境が整っているので、そんな中での勉強を頑張りた  
い。
- 理系だけでなく、文系科目も幅広く学ぶ。
- あたらしいものを学びたい。
- 授業をがんばる。
- 自分だけの武器と広い教養(浅くてもいいけど)。
- 新しいことを知って広い範囲の知識を得たい。
- 幅広く学び、それを自分の行動に反映させる。
- 英語の重要性が分かったので、短期でもいいので、留学をしてみたい。
- 自分の興味のあるものをみつけ、深める。

- 自分の専門についてだけでなく、様々なことを幅広く学びたい。
- 広範な教養、知識を身につけ、学び、視野を広げる。
- ・興味のある学問を深めたい                      ・人脈
- 好きなだけ科学したい。
- 自分の目的を見つけそのための下準備。
- 今までやったことのない分野の勉強もしてみたい。
- レベルの高い人の中で、刺激を受けて、成長し、自分のやりたいことをみつける。
- ・幅広く学びたい                      ・専門を深めたい                      ・将来の仕事につなげたい
- ・社会に出てから役立つ知識                      ・最先端の科学的知識
- 明確な目標はまだ見つかっていないが、様々な学問や専門科目にふれる中で、自分のやりたいことを見つけたり、幅広く学んだりしていきたい。
- 自身の興味のある学問を追求し、将来に向けた知識を学びたい。
- 化学の根本。
- 自然科学に対する、深い教養を身につけた上で、その知見を生かして社会に役立つ研究に取り組みたい。
- 何か1つでも追求できるものをつくり、全力で取り組む。
- ・学術英語                      ・海外で通用する英語
- 色んなことを学びたい。
- 将来にいかせること。
- 高い水準の学習環境で、自由に、自分の興味、関心に従って、学びたい。
- 化学についてより深く知りたい。
- 化学を究めたい。
- 知をしっかりと深め、学問を追求する。
- 自分の能力を高めてくれるものを提供してほしい。
- 本当にうちこめる分野をみつけて積極的に取り組む。
- 音楽で飯を食べていく為の人脈。
- ・自由な勉強空間                      ・英語を多用できる機会  
・英語を自由に操る能力を身につけたい
- 多くを学んで、できる限りたくさんの知識を得る。
- 様々な刺激を与えてくれるよい友達と大学生活を楽しみ、自分の興味のあることを見つけ、それをつきつめたい。
- 将来の仕事につながっていくような研究をしたい。幅広い教養を身につけたい。
- 新しい材料などについて研究したい。
- 専門的な知識を深め、将来に役立てたい。
- 実用的なものを生み出したい。あと、宗教、新聞、NHKの誘いを断れる強い人間になる。
- 高度な研究と、国際交流。
- まずは、学びをもとめ自分の進みたい道を探る。
- 自分の学びたい学問を見つけ、積極的に学ぶ。
- 工学を学び、エンジニアになりたい。
- 国際的な規模で文理にとらわれない学習。
- 知る喜びや考える楽しさを思うぞんぶん味わっていきたい。
- 人工皮膚の研究。
- 未定。
- より質の高い教育、実験。
- 幅広い知識を身につけて、興味のある分野はより深く知りたい。
- ・英語を日本語と同じくらいの水準で使う  
・専門的な研究がしたい
- 自分のやりたいことを見つけ、それにむかって目標をたてていきたいです。
- 知識を深め、将来社会の役に立つものを得るための学びをしたい。
- 将来つく仕事に有用な力をみにつけるために授業に真剣にとりくむ。
- 幅広い分野に取りくんで、将来自分がやりたい分野に少しでも活かせるような勉強をしたい。

- 自分の興味を引き立てる分野を探し、深く学習をしてみたい。
- 他国の人、留学生との交流。
- より高度な学習。
- 進んだ教育を受けることで、将来社会で役に立つ人材になることが目標です。また、積極的に、授業に取り組みたい。
- 自分の能力を高める授業。
- 自分に見合った道を探る。
- サークルと両立しながら学問中心に頑張りたい。
- さまざまなものに触れ、見識を深める。
- 発見。
- 将来グローバルに活躍できるように英語を中心に理系科目にとどまらず幅広く学習したい。
- 様々な学門を学び、その中で専門を極めたい。
- 良い環境で自由に学ぶ。
- 日本最高クラスの大学という恵まれた環境を最大限に活用して、何事にも自分から積極的に取り組みたいです。
- 幅広い教養や、化学に関する深い知識を求め、高度な能力を持った研究者になれるように、授業に取り組みきたい。
- より高度な知識、価値観、思想を知り、自らの考えとして再構築したい。
- ただ知識を得るだけでなく、その知識を上手に活用する力を身に付けること。
- 一見将来縁のなさそうな分野であっても好奇心をもって幅広く知識を深めていきたい。
- 自ら探究する力を求め、自分の望む研究室に入りたい。
- 将来、医療の発展の手助けをしたいので、それに役立つ知識をできるだけ広く深く学びたい。それと、大学には求めないが、学生時代に心身の研鑽にも努めたい。
- 興味のあることをがんばる。
- 柔軟な発想力と十分な知識を身につけたい。
- 既知事項のさらなる発展と、新たな知識の発達を求めます。
- 最先端の研究にふれていきたいです。
- ・学力向上                      ・サークル
- 科学に関して、より詳しい物事に学びたい。
- 研究対象を見つけたい。
- 自分の深く知りたい分野をみつけてそれについて研究したい。
- ・将来研究する上で役立つ専門知識を身につける  
・世界で通用する英語力をつける
- エネルギーに関する研究をしたい。
- 学科の専門科目はもちろんのこと、自分が他に興味のある学問も勉強する。
- 幅広い教養。
- たくさんの教養を身に付けたい。特に語学に力を入れたい。
- レベルの高い講義を求めそこで得た知性を人々に、発信できる人材になりたい。
- 好きな化学の発展にたずさわりたい。
- 経験を積みたい。
- 様々なことに興味を持ちつつ、社会に役立つことを研究したい。
- 様々な志望の友人たちと一緒に学んで自分が将来にわたってやりたいことを見つける。
- 高校までの教科の壁を取り払った自由な発想で、食料やエネルギーに関する最先端の問題に取り組みたい。
- 在学期間を自己の成長のために有意義に過ごしたい。具体的には留学したいと思います。
- 新しいものを学び、社会に貢献できる研究を行う。
- 幅広い知識を学び、研究者となるために勉強する。またサークル活動などにも精を出す。
- 英語をがんばる。
- 将来、社会で役に立つ人間となれるよう、京大での授業等に積極的に参加していきたい。
- ・様々な考え・バックヤードを持つ人との交流                      ・資格・言語の習得
- 化学を用いた地球環境、資源の保全や有効利用に関する貢献。

- がんばる。
- 学力向上。
- 化学の新発見をして、環境問題を改善するきっかけになりたい。
- 自分の興味の向くままに学びたい。
- 自分の目指す目標を定め、そこへ進んでいく。
- 英語で専門分野を学ぶ。
- 真剣にうちこめることをみつけてそれに全力で取り組みたい。
- 学業と趣味とでいそがしい生活。
- 専門知識を習得する。
- ・積極的な学習                      ・やりたいことをみつける
- 自身の知的好奇心を保ち、「おもしろい」と思えるように勉強を続けたい。誘惑に負けず、今でしかできないことをやる。
- 自然科学をメインに様々な学問に触れたい。世界でも最高水準の教育、研究力を吸収しつくしたい。
- 将来の軸になることをしたい。
- ・学問の基礎を身に付ける                      ・学術英語を実践的に学ぶ  
・好きなこと（サークル活動）に打ち込む
- 多くの先生や学生から刺激を受けながら、広く、深く学びたい。
- 世界のどこに行っても通用する人間になる。
- 身の周りの化学製品の本質の解明をしたい。例えば、衣服。高分子化学で習いましたが、衣服の適切な弾力と強度は水素結合とベンゼン環の平面構造が生み出していると…。しかし言葉ではわかってもピンとこないなので、細部の探求をしたい。またG l uのナトリウム塩がなぜ「旨味」を引き出すかなどを知りたい。
- 自分の将来に向けた学問を楽しみたい。
- 高いレベルの様々な分野の授業を受けることで、自分の興味のあるものを発見し深めること。
- まずはやりたいことを見つけるために、幅広く様々な分野について学びたい。そこから具体的に興味のあることを見つける。英語の力をつけたい。
- 多くの化学についての知識を求め、深く実験に取り組みたい。
- ・新たな知識を学びたい                      ・サークルなども頑張りたい
- より深く化学、特に金属について研究する。
- 専門分野の探究のため、様々な実験に取り組みたい。
- はば広い教養を身につけたい。
- 一般教育を行うなかで自分に興味のある分野を発見する。
- 学業と学外での活動を両立し、分野にとらわれず様々な知識と経験を得る。
- 幅広い知識を持ち、自分の専門以外のことにも意欲的に取り組みたい。
- 様々な分野に興味を持ち、学び、特に興味のある分野において深く学んでいきたい。
- 多岐にわたるものを積極的に。
- レベルの高い授業をうけて知識を増やし自分の意見をしっかり述べられるようにしたい。
- いろいろな講義やイベントに積極的に参加したい。
- 学部の専門の分野だけでなく、全体的に教養を深めたい。
- 興味があること。
- 専門的なことを学びながらいろいろな経験をしたい。
- 高分子扱いたい。
- 積極性をもって勉学に取り組みたいです。
- 専門的な研究を進めるために必要な知識が英語力を身につけるために、授業の中や他の学生との交流の中で可能な限り多くのものを吸収していききたいです。
- 自分が専門としたい分野をまずは見つける。
- 心身ともに成長し、留学・サークルなど自ら積極的に取り組んでいきたいと思います。
- 自分の知りたいことをとことん突きつめられるようにしたい。
- ・自分で考え、自分で行動する                      ・化学で深くまで研究
- 勉強。
- 対話と発見。

- 自分の興味のあるものを正確に知り、学ぶ。
- 自学自習の姿勢を身につけ。
- ・将来、自分は何がしたいのか、自分の将来像を見つけたい
  - ・英語で会話ができるようにしたい
  - ・化学分野でがっつり研究してみたい
  - ・サークル、バイトなどいろんな社会経験をしてみたい
  - ・友達をつくる
- 様々な分野の学問にふれる。
- 自分が勉強したいことを学び、留学生の私として、別のひとと友達になりたいです。
- 高校までの勉強に区切りをつけて、学術レベルで戦える英語を取得し、自分の発見を大きく世界に発表したい。
- 先進的な、独創的な開発をしたい。
- 工系化学がしたくて、京大に入ったので納得するまで、学びたい。そのために必要な力を得るための努力は惜まず。
- 留学をしてみたい。
- 様々な分野に興味をもって、やりたいことに積極的に取り組みたい。
- レベルの高い教育はもちろん、あらゆることに対して広く深く取り組んでいきたい。
- ・探求心の向上                      ・様々な活動に参加                      ・早寝早起き朝ごはん
  - ・語学の勉強
- ・多くの人に会おう                      ・実験したい                      ・有機化学したい
- 自由な学風だからこそ、学際的な勉強に取り組んでみたい。
- 化学に関する深い知識を学んで、学校行事にも積極的に参加したい。
- 新たな世界。
- 専門的な研究と、海外での留学体験。
- 外国人と研究などについて話し合えるように外国語教養を深めたい。
- 将来海外で働きたいと思っているので、留学生との交流や、英語を話す機会のある授業を求めている。また、化学全般の教養をつけ、特に創薬に取り組んでいきたい。
- 理想の進路を実現するために、何でも積極的に取り組む。
  - ・自主性                      ・英語を活用すること
- 幅広い知識の探求。
- 社会に必要な知識と、チャレンジ精神。
- 自由を求め、専門的な知識を深めたい。
- 世界で通じる英語力を身につけたい。
- クリーンエネルギーの研究をして、環境問題改善に貢献すべく、その土台の学問を学ぶ。
- ・新しいこと                      ・国際的なこと                      ・創造すること
- 最先端の学術研究をしたい。
- 将来就く仕事において武器になる事柄。
- 分野を問わない幅広い知識を身に付け、新たな視点、発想を持てる頭になりたい。
- 高分子化学の研究をし、機能材料の研究を■。
- 周りの人たちと積極的に交流して、学問を探求する。
- 自分のやりたいことを見定めて、将来につながることをしたい。
- 化学を通じて、社会にこうけんするための準備。
- 幅広い知識、教養。
- エネルギーについて学び、その分野に貢献したい。
- 自然科学に関する知識を深めたい。
- 色々な分野の知識を活かしつつ、自分の専門の知識を深めたい。
- 留学して、自分の視野を広げたい。
- 幅広い知識と様々な考え方を身につけたい。
- 専門文野での高いレベルの研究を中心に英語やその他の教養学科。
- あまりよく分かっていないので自分の興味に従い様々なことに取り組みたい。
- 何か新しい分野を切り開いていってみたい。



- 世界に通じる英語。
- 高いレベルでもやっていけること。
- 理系科目を中心に、文系科目も幅広く学びたい。
- 専門科目を学ぶうえでの基礎的知識。
- 学術英語を早期にしっかりと身につけたい。
- 国際的に活やくできるような学力、及び思考を身につけたい。
- 歴史に興味があるので、やりたい。
- 人文、情報など、自然科学に留まらない、深い教養を身につけると共に、スポーツに親しみ、健康な、身体を作りたい。
- 工学に縛られない、幅広い分野。
- 英語。
- 第2外国語に力を入れたい。
- 将来にいかせること。
- ・医療等の分野で人の役に立てる人間になる為に必要なこと
  - ・文系、理系、両方の科目を、幅広く学びたい
- まだ決めていない。
- 心理学等、実生活で応用できること。
- しっかりと授業を受け、知識を増やす。
- 英語、理系全般。
- 英語のスピーキングとリスニング。
- 学問として得られる知的欲求が得られるものならば何でも良い。
- 英語の運用能力。
- 英語をさらに学ぶことで、化学系の理解を深める。
- 英語の重要性を知ったので英語をスラスラ使えるようにしたい。
- ・学術目的の英語                      ・高等教育よりも専門的な内容（特に理科）
- 自分の学科とは関係ないこともいろいろとはば広く学びたい。
- 将来専門的な高度な知識を必要とする仕事につくのに十分な知識を得たい。
- これからの人生で必要となる実用的な知識。
- 専門的なこと。
- 英語で学習する能力。
- 文理問わず幅広く学んで教養を身に付ける。とにかく英語力をつける。
- まだ決めてない。
- 幅広く世界で活躍するための学習。
- 英語。
- 化学だけでなく、広い分野にわたって学んでみようと思った。
- ・語学                      ・異文化理解
- 幅広い知識が欲しい。
- 国際的に色々学んでみたいです。
- 自らの視野を広げられるように様々な分野を学びたい。
- 学術的な英語といった社会に出たときに役立つこと。
- ・留学生とも討論できるような英語を身につけるための授業
  - ・将来役に立たなくても、良い経験になりそうな実験科目
- これから研究していくために、広い知識を得られるようなことを学びたい。
- 高校では考えもしなかった内容の授業。
- 国のため、人のためになること。
- 海外で他大学生と交流できるような、英語教育を学びたい。
- より専門的かつ最新の授業。
- 化学だけでなく、いろいろな科目をやってみたい。
- 自然科学系。
- 全て。

- 文系科目など専門科目にない教科を幅広く学習したい。
- 自分の興味に合うもの（単位のとりやすさで決めない）。
- 学術英語。
- まずは学術英語をしっかり身につけること。グローバルに、様々な価値感の人と関わりたいです。
- 英語をしっかりと修得して、使えるようにしたい。
- 英語、特に speaking。
- 自分が興味を持っていない分野にも触れて、他の人がその分野の何を魅力に感じているのかを学びたい。
- 様々な分野に携わる人々と、高度でなくとも議論ができるような基礎知識を学びたい。
- どこへ行ってもある程度は通用する能力を手にすること。
- 英語をおろそかにせぬよう、またそれでいて専門科目を深く学びたい。
- 未定。
- 自分の専門と直接関係無い事も含めて、広い分野を学びたい。
- 学術英語をしっかりと学びたいです。
- ドイツ語。
- 英語。
- 様々な場面で通用する英語力をつけたい。
- 社会にでても恥ずかしくないだけの常識を身につける。
- 歴史。
- 英語で授業を受けることができるくらい、英語能力を高めたい。
- 一般常識。
- 使える語学。
- 物事をじっくり考えることができる論理力を身につけたい。
- 英語を学んで、国際的に活動できるようになりたい。
- 国際化が進む社会で生きていき、仕事をしていくために必要なこと。
- 海外の文化に関すること。
- 世界の問題についての知識をつけることで、工学部としての解決法のヒントとしたい。
- 言語学。
- 研究の発表等に必要な英語。
- 使える英語。
- ・言語                      ・文化
- ・確かな英語力を身につけ学術研究を行い世界に発信するための英語  
・世界の科学に貢献するための基礎となる化学”
- 英語。
- “自分”、あるべき“自分”。
- 理系文系にとらわれず、様々なこと。
- 世界平均レベルの英語を身に付け、研究をしたい。
- 他分野にわたる常識を身につける。
- 世界に通用する発信力。
- ・英語                      ・化学
- はば広く勉強したいです。
- いろんなことを学びたい（単位との相談もする）。
- 自分の興味の赴くままに任せたい。
- 学術英語についてなど。
- 専門とは遠い分野の科目。（人文系）。
- 英語能力、表現力を高める。
- とにかく英語力をつけたい。これから世界という場で活躍していくには必須であると本日理解した。そのもとで化学の本質を探求していく。ただ、化学的な分野にとどまらず、幅広く学びたい。生物のもつ特性が新薬開発の役に立つなど、他の分野から得られる知識もあるから。
- 自分の専門だけでなく大学ならではの視野が広がるようなことを学びたい。
- 学術英語に力を入れ、スピーキング、リスニングなど英語力をのばしたいです。

- 自然科学系、人文系と分けず、総合的に様々なことを学び、色んな考え方を見につけたい。
- 高校で学んだ受験英語ではない、学術英語なるものを深く学びたい。
- 英語を使いこなせるようにしたいと思いました。
- 英語でコミュニケーションすること。
- 学術英語のレベルまで、英語を学びたい。
- 理系科目に限らず、自分の興味のある事柄。
- あらゆるものごとを考えるときの手助けとなるように、関連のないとおもわれることも意欲的に身につけておきたい。
- 英語の大切さを実感したので幅広い科目とともに学びたい。
- 将来の仕事などを含めて役に立つと思われるもの+興味のあるもの。
- 英語の学力を高めてより国際的な人材になれるようにしたい。
- まずは英語を集中的に勉強したい。
- 色々な体験をして、様々な視点から見れるようにする。
- 興味があること。
- 英語が大切、頑張りたい。
- 社会に貢献できるような知識。
- 国際化する社会の中で生きるために必要な教養を身につけていきたいです。
- まだよくわかっていないため、自分の興味のある分野を見つけ、それについて深く学びたい。
- 英語。
- 学部学科だけでなく、様々な分野について幅広く勉強したい。
- まず、何事にも精通する英語。海外でも通用する英語。
- 色々。
- 様々な分野の事物を学び、幅広い教養と視座を手に入れたい。
- 英語がんばる。
- ・科学技術                      ・幅広い分野における人間の文化
- ・英語の力はとにかく向上させたい                      ・いろいろな学問を学んで視野を広げたい
- これから、いろんなことを勉強しなければならないです。あきらめしないで、自信をもって前に進む方がいいと思います。今でそれを勉強しました。
- 国際的なこと。
- 将来必ず必要になってくる英語の運用力。
- 英語で留学生と交流できるようになりたい。
- 世界で通用する英語や、学部学科の専用科目。
- 理系学問はもちろん、法律、心理学、外国語といった文系学問にもしっかりと取り組んでいきたい。
- 専門科目と基本となるものや歴史・倫理・哲学など。
- 専門科目だけでなく、様々な、特に文系の科目群を探してみたい。
- 理系の科目だけでなく、文系の科目も学んで幅広く学びたいと思う。
- 多様な教養。
- 語学。
- ・外国語のリスニングとスピーキング                      ・化学の研究
- 海外留学できるように、まず英語を中心に深く学んでいきたい。勉学だけでなく、人としても成長しているようさまざまなことを学びたい。
- 英語。
- 学術英語を学び、将来世界で活躍できるようになりたい。
- 豊かな国際性を学びたい。
- 社会に必要な知識と、研究に必要な知識。
- 専門的な学問に結びつくような教養教育を受けたい。
- 文系科目も含めて、幅広く学習したい。
- 文系科目でも、先人らの発明発見の歴史や、世界の動きを知ることは大切だからそれらにも重点をおいて学びたい。
- 英語をよく学び、国際的に活躍できる人材になりたい。

- 自分が興味を持った科目。
- 社会に出た時に必要になる事柄。
- 工学部のものであるものはもちろん、心理学にも興味があるので学んでみたい。
- 英語の読み、書き、だけでなく聞く、話す、もできるようになりたい。
- 理系の科目はもちろん、英語も他の科目に応用できるぐらいの能力に高めたい。
- グローバルな視点を養うための基礎。
- 語学を中心に興味を持っていなかった科目も学びたい。
- 興味のあることであれば、何でも積極的に学びたいと思う。
- 政治・経済。
- 英語。
- 地理関連の何か。
- あまりよく分からなかったが、レポートの書き方などを身につけたい。
- 外国の人と話してはざかしくないように様々な分野のこと。
- 歴史等。
- 英語。
- ひとまず英語の語い力をつけたい。
- 全部。
- 英語。
- 一般社会に出て求められること。
- 自分の学部で専門だけでなく、興味を幅広く持って多くのことを学びたい。
- 国際言語としての英語を学んでいきたい。
- 幅広く学びたい。
- 研究の土台となる知識、知恵。
- ・英語を実践的に使えるようになるための教育
  - ・自分の人生観を確立する、自分を見つめるための教育
- 英語（特に会話）。
- 国際社会で通用するような英語力を身に付けたい。
- 英語。
- 英語。
- 学術目的の英語。
- 経済・法学といった現代社会を構成する要事の理想あり方。
- グローバル化の社会の中で、国際的に通用するような人材になるよう、英語を中心として工学を学んでいきたい。
- 英語を学びたいが、上達するか不安だ。
- 専攻に有効なもの、また専攻に関係をもつことまで幅広く学びたい。
- 英語を十分学んで海外研修に役立てたい。
- 幅広く学びたい。

## 6. 情報学科（アンケート提出率 100.0%）

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- コンピュータの中で、世界を作りたいから、様々な学問にふれて、生活の中の様々な物事をコンピュータ内で研究してシミュレーションしたい。
- 幅広い知識をつける。英語。特にリスニングに力を入れる。
- メールアドレスを登録し、シラバス検索。
- 将来に幅広く役立つ勉強や研究。
- きちんと勉強したい。



- 深く広い教養を身につけたい。
- 自分のやりたいことを勉強しまくって、面白いものをつくりたい。
- 英語を日常的に使えるようにしたい。
- 学習環境を十二分に利用し、自分のしたいことをはじめ様々な分野の知識を深めたい。
- PCの技術、英語での交渉、開発系企業との連携など、ビジネスを拓げる上で役に立つスキルや視野を身につける。
- 専門文野だけでなく、広く深く学んで行きたい。
- 生涯使える話のネタを多く仕入れたい。
- 書籍や資料の充実。工学と数学への理解を深め捉えるようになりたい。
- 高校よりも深く本質にせまった知識が欲しい。T字型の学習を心がける。
- 最先端の研究にたずさわりたい、新しい技術の発明をしたい。
- 考え中。
- 数学力をもっと高め、情報というスキルを用いて世界全体のレベルで働きたい。
- 情報についてのことだけでなく、様々な分野に積極的に取り組みたいです。
- 高度に情報化した社会における秩序を取り戻すための情報技術を学びたい。
- 自分の好奇心に従って関心事に積極的に取り組みたい。
- ・自分のやりたい勉強をする                      ・人生とはどうあるべきかを考える
- 様々なことに挑戦し、優れた技術者になる一方で、今を全力で楽しみたい。
- 情報についての深い理解を獲得し、国際的に活躍できる人材になりたい。
- 友人。
- 広い知識を得、様々なことにとりくみたいです。
- クリエイティブな考えが出来るように幅広い学問に取り組みたい。
- 優れた友人と講義。
- 学力はもちろん、より良い人間性、幅広い視野を求めて、京大の授業や行事に取り組みたい。
- 社会で生きていくために、必要なスキルを身につけると同時に、それらを自分の納得のいくまで高めたい。
- 知識をたくわえて自分の将来に備えたいです。
- 最先端の技術に触れて、現代社会における情報の有用性を知りたい。
- 専I科目ではなくても面白そうな授業を受けたいです。
- 今は特に何かと決めずあらゆることをバランスよく。
- 知識を増やし、少しはマシな議論ができるようになりたい。
- ICPC。
- ネットにない情報の提供やソフトウェア開発仲間を求め、競技プログラミングの大会出場やソフトウェアの共同開発に取り組みたい。
- 社会に有益な人材になるための勉強。
- プログラミング。
- 世界に通じる学問を学びたい。
- 実用的なことも学びたい。
- 現代の情報化社会に適応するために、情報の本質について学び、社会に役立てる人間になりたい。
- 楽しい仲間と、社会に通用する教養を求めたい。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 様々な言語学と自然研究と人の活動動機。
- 英語。
- いろいろな科目を通して、理系学力だけでなく、日本への理解を深めたい。
- 少なくとも英語を自由に使えるようになりたい。
- 様々な分野について学んでいきたい。
- 歴史、英語、言語など。

- 英語のスキルを早めに高めたい。
- 他人とのコミュニケーションからうまれるあらたな考え。
- 学者としての心得。
- 世界に通用する英語。
- 英語をなんとかなるように頑張りたい。
- ・英語                      ・情報学
- 英語を中心にさまざまな分野から学びたい。
- 英語で論文が読み書きする能力。
- 英語を特に学びたい。
- 専門科目である情報系の勉強とともに、英語等の言語の勉強がしたい。
- 国際的な英語力を身につけたい。
- 専門以外の科目も学んで、幅広い知識をつけたい。
- 歴史や地理など。
- 英語をしっかりと学びたい。また古代の日本や日本文学にも興味がある。
- 物理、化学、数学も幅広く学びたい。
- 英語。
- 法律・憲法を学びたいです。
- 文系、理系に関わらず、幅広い知識を学んでいきたい。
- 学術英語。
- 世界史が好きなので、少し学んでみたい。
- 研究に十分な英語力。
- 自分の知らないようなことも学んでみたい。
- 幅広いこと。
- 興味のある専門科目を主に頑張りたい。
- 国際社会でも十分にコミュニケーションできるように、学術英語を身に付けていきたい。
- 英語。
- 理系分野にとどまらない幅広い学問。
- 英語。
- どんなことでも自分のためになると思った学問は学びたい。
- 自由な時間が増える分、自己管理をして自学自習につとめたい。
- 英語をがんばる。
- 人文・社会科学系も積極的に受講し、視野を広げる。
- まだ分からないけど頑張りたい。
- 歴史、芸術関連。
- 工学の基礎や英語に力を入れたいと思う。
- 専門に関わる科目を中心として、幅広い分野について学びたい。
- 英語。
- 数学のより広い世界を学びたい。
- 幅広く、文系科目についても教養をつけたい。歴史に興味があるのでそこを重点的に。
- 様々な事に挑んでいくのに必要な力。
- 使える英語を身に付ける。
- 国際社会に適応できるような素養を身につけたい。
- まだ決めていない。
- 教科に関係なく、興味のあることは進んで学んでいきたい。
- まだ未定。
- 自分の知らないこと。
- 実用に結びつく概念と、そのための抽象的な学問。
- かたよらないように、幅広く学びたい。
- 情報技術と関連のありそうなこと。
- これまで見向きもしなかった事。

- 幅広い分野、自らが直接関与しない分野のことも学びたいと思います。
- 情報についてのことだけではない様々な分野。
- 対話的理性。
- 英語の重要性を感じたので、しっかり身につけたい。
- 今まで身につけてきた教養の維持と関連付け。
- 幅広い分野のこと。
- 英語を深く学びたい。
- これからの人生において、役に立つこと。
- 実践で通用すること。
- 様々な視点から物事を考えられるように、国際的な教養を身に付けたい。
- 法コンプライアンスその他幅広く。
- 全く異なる文化の人達とお互いを理解するための教養。
- 人間性を高め、社会に貢献していけるようになるために必要な教養を得たい。
- 国際社会を生きる上で必要な知識を備えたい。
- ドイツ語。
- 単位がちゃんと取れるし面白そうなことを学びたいと思います。
- 今は特に何かと決めずあらゆることをバランスよく。
- 恥をかかない程度の常識。
- 数学。
- 各科目のつながりを学びたい。具体的には、数学がどのように物理に応用され、気象予測などに用いられるのか。
- 将来に役立つ英語能力。
- 世界で通用する専門的知識。
- 工学部でも文系科目をしっかりしたい。
- 幅広く多くのことを学びたい。
- 専門科目だけでなく、幅広い知識を得たい。
- 社会で使える教養。

(10) 農学部 (アンケート提出率 97.8%)

1. 資源生物科学科 (アンケート提出率 99.0%)

**Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？**

**A. 以下のとおり**

- なるたけ色々勉強したい。将来の針路も考えなくては。
- 自分の世界を広げてみたい！
- 幅広い分野を学び、将来本当に学びたいこと、研究したいことを発見できるよういろいろなことを学びたい。
- 自分の興味ある分野を深く学び、国際的な人材になる一歩へと歩むこと。
- 勉。
- 目標とする研究を行う為に必要な知識を求め、深い理解をする。
- 深海。
- 国際的な大学で英語力を身につけ、留学したいです。
- ・自分が学びたいテーマ                      ・自分がしたい研究に関わる全てのこと
- 英語の能力を伸ばす。
- 高度な教育を享受しつつ、サークル活動を頑張りたいです。
- 自分の興味のある分野に自由に取り組みたい。



- 京大合格で気が抜けていたが、自分のやりたい学問につながるもの以外にもきちんとやろうと思った。
- 新しいこと。
- 多くの人と関わることで自分の視野を広めていきたい。
- 生物資源についての理解とその利用手段。
- 不思議を求め、多言語の視点から考える。
- 専門を軸に幅広く知る。
- 自分の興味のある分野についてより深く学びたい。
- 様々な観点を得た広い視野のある人間になりたい。
- 興味のある分野の研究。
- 多くの教養を身につけるだけでなく、様々な人々と関わることによって人間的にも大きく成長したい。
- 真の英語力、留学など。
- 自分の夢中になれる分野を見つけ、視野を十分に広くもちながらその分野にとことん取り組む。
- 最低限英語でコミュニケーションできるようになりたい。
- 興味のある、密度の濃い学習を受けて、自身の能力、人としての成長をしたい。
- ・最先端の生態                      ・農業に関する研究                      ・幅広い知識、教養
- 専門分野以外の様々な分野に精通できるための幅広い知識を身に付けたい。積極的にいろいろな分野の人に出会いたい。
- できそうなことを全部。
- 英語のリスニング、スピーキング能力。
- 様々な課題をねばり強く追求していく姿勢を身につけたい。
- 留学したい。
- 実際に動いたりする勉強。
- 積極的に学ぶ姿勢を身につけ、あらゆることを学びたい。
- ・質の高い学び                      ・新しい発見との出会い                      ・生物をつきつめて学びたい
- ・濃い授業                      ・京都大学でしかできないこと
- 興味のあることにどんどん触れていきたい。おもしろい先生・生徒に囲まれて自分もおもしろい人間になりたい。
- 勉強はもちろん、遊び方を身につけたい。
- ただ知識を求めるだけでなく、それを社会にどう還元するか学ぶ。
- 幅広い知識を持ち、社会的でいろいろな人と議論をして自分を高められる人になりたいです。そのために、勉学に励み、積極的に活動に参加します。
- 今後に活かせる実用的な能力を完成させる。
- 幅広い教養を得る。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 英語。
- いろいろな分野の科目を学んでみたい。
- 幅広く学んでみたい。
- まず、英語力をつける。
- 専門分野以外のこと。
- 英語全般。
- 広い知識、視野を身につけるよう、さまざまな学問分野について学びたい。
- 幅広く様々な科目の勉強をしたい。
- 専門教育にスムーズに移行するのに必要なこと。
- 自分の世界を広めること。
- 文系科目も、全く今まで知らなかったことも学んでみたい。
- 哲学など。

- 分野にとらわれない様々なこと。
- 専門科目ではないからこそ学べる文系分野の学習や総合的な学習をしたい。
- 今日のガイダンスから英語の勉強もしっかりやらなければと思った。研究者になるために必至の事だと感じた。
- 一見自分の専門分野に関係のなさそうな科目でも、将来必ず役立つと思うので学びたいです。
- 人としての生き方。
- 具体的なものはないが、幅広く。
- 英語を使えるようにしたい。
- 興味あるのみつけます。
- 現代社会について。
- 社会でひとりで生き抜くために必要なことを学んで、そのうえでしっかり学術的なことを学びたい。
- 自分の分野だけでなく、世界史などの広い分野を学びたい。
- 今まで自分があまり勉強していなかったものについても学んでいきたい。
- 英語。
- 外国語。
- 自分が触れたすべてのことを吸収したい。
- 幅広く多分野の知識を身に付けたい。
- 様々な観点から物事を見れるように、幅広いことを学びたい。
- 研究者になる上で、問題を様々な立場から考えられるような視点を持つために必要なこと。
- 個人の考え方のちがいが生まれる原因などについて学びたいです。
- 外国語や思想、文化。
- 自分が学びたい生物以外のことも色々やってみたい。
- 文学、生物学、化学など、実験系の講座も履習してみたい。
- 自分の英語力不足を痛感したので英語勉強に力を入れたい。
- 他国の日本の違いについて。
- 様々なことを学び、視野を広げたい。
- 英語。
- 語学をがんばりたい。
- いろんなこと。
- 英語。
- 教養を身につけること。
- いわゆる文系科目について、より理解を深め、視野を広げたい。
- 他国の文化や哲学など。
- 最低限の知識を獲得する。
- 興味のあることを何でも。
- まずは英語をがんばりたいと思った。またいろいろなことに興味を持って取り組みたい。
- 自分のやりたくないこともできる限り役立つならば学びたい。
- 机上の勉強ばかりにのめりこまないで、他の人と話して意見交換や議論を交わして、一人ではできないことにも取り組みたい。本は読んでも、語り返せない。
- 未来に役立つこと。
- 専門以外のことや英語も積極的に学びたい。
- 自分が学びたい専門分野を学ぶために必要な基礎。
- 色々な文化。
- 英・第二外国語。
- 英語（特に speaking、listening）。
- 自分の専門とは別の人文科目を1回生のうちに学びたい。
- 留学先で困らないような実用英語と英語で授業を受けるための専門的学術英語。
- 文学。
- 京都大学でしか学べないことを学びたい。
- 英語。

- 理系だからといって自然科学系に偏らず、人文・社会系など幅広く学びたい。
- 広い知識を得たいと思います。
- 特にかわらない。
- グローバルな課題（環境など）。
- 多分野の人と交流をもつためには基礎となる幅広い教養が必要になると思うので、理系だけでなく人文系の教養も身につけていきたい。
- 高校でとらなかった物理と世界史と地理。
- 幅広い教養。
- 農学の基礎、そして応用を身につけ、どのような問題があるのかを学びたい。
- 英語の重要性を認識した。
- 英語のリスニング、スピーキングに力を入れて勉強したい。
- わからない。
- 世界で通用する英語教育。
- 哲学系統。
- 自分が興味を持っていること。
- 国際社会の現状と、その背景。
- 英語を使えるようになりたいです。様々な知識をもとに考えを深められるようになりたいです。
- 前提の英語力、そして科学的知識。
- 色々なこと。

## 2. 応用生命科学科（アンケート提出率 96.2%）

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- ・専門                      ・教養                      ・様々な学問                      ・豊かな交友関係を築きたい
- 専門知識を理解して運用すること。
- 先端科学研究の知識を吸収し、それを国内だけでなく国外へと発信し交流すること。
- 将来世間で活躍できる様な学力を得て、i p s など、生に関わる研究をしたい。
- ・興味のある分野の勉強                      ・充実した学生生活
- 自分のやりたいことの発見。
- 学部にとらわれず広く学びブレイクスルーを生みたい。
- 興味のあることに積極的に手を出していきたい。
- 夢へのステップを踏んでいきたい。具体的には、一般教養、専門科目、言語技能の上達（留学含む）。
- 能動的に動き、様々なことに興味を持つ。
- 専門的な研究をし役立つ考え方を身につけたい。
- 幅の広い分野を学びたい。
- 生命科学の勉強をすることで食糧様々な社会の問題に取り組みたいです。
- 特に、これから見つけていきたいです。
- 知識を吸収したい。
- 自主的に行動する。
- 幅広いことを学び、本当にやりたいことを見つけ、それを深める。
- 面白い人との出会いを求め、面白いと思ったことに取り組みたい。
- ・英語力の向上                      ・積極的に授業に参加すること
- 様々な価値観、知識を身につけ、グローバルなリーダーとなることを求める。多くの人々と接し、自学にも努めたい。
- しっかり勉強して、生物系のことを極めたい。
- 自分の求める自分の理想像にたどりつくため、教養を深め、世界で使っていける研究者になる。英語力を磨き、専門的知識をしっかり身につける。海外交流も、できるだけ行う。

- 幅広い分野にふれたい。
- 広く深い知識を得て、考える能力をつける。サークルや人とのコミュニケーションも程々に頑張る。
- 思考の‘カセ’をとるべく多方面の経験をしたいと思う。そのために自分からアンテナをはる事が大事だと思う。
- これまでの受動的な学習態度とは異なり、自ら能動的に学ぶ姿勢を身に付けたい。
- トップレベルの知識と技術を身につける同時に、充実な大学生活を送りたいです。
- 高校のときには学ぶことのできなかつた学問の深い部分。
- 知識。
- 大学生enjoyしたいです。
- 関心に従って知識を広げ、将来への基盤とする。
- 他者との議論を行う機会を積極的に得る。また、英語の能力を磨き、英語での議論を行えるようにする。
- 興味のある生物学について専門的な知識を身に付け、将来に役立てたい。
- 役に立つものを開発できるように、多くの知識を身につけ、それを発信するための英語の力をさらに伸ばしたい。
- 多角的な視点を求め様々な学問に取り組みたい。
- 幅広いジャンルのことを学んでいきたいです。
- 学生のうちにしかできないような様々なことに一生懸命取り組んでいきたい。
- 人生を豊かに生きる術を身につけること。自分の直感でおもしろいことを探し出し、それに取り組む。
- 農学部だけでなく、様々な学部の方々と交流し、視野を広げたいと思います。また、今まで苦手だからと逃げてきた、人前での発表にも挑戦し、克服したいと思います。
- 勉強にはげみつつ、自分が好きなことに熱心に打ちこみ色々なことを吸収し、柔軟な人間性を得たい。
- 興味をもったことはとことん追求し、様々な人の意見に耳をかたむける。
- いろいろな人と交流し、そして京都という歴史そのものとも言える都市に浸ることを求め、興味のある微生物の研究や、バイト、サークルも頑張る。
- 様々な人と関わって自分の視野を広めたい。
- 専門分野に関する理解を深める一方で様々なことに取り組みたい。
- ・授業の予習、復習をしっかりとる                      ・サークルに積極的に取り組む
- 研究者になるための勉強。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 必修以外の他の機会では学べないようなこと。特に人文系。
- ・心理学                      ・英語
- 国外で活動できるための言語技能と異文化や日本文化への理解を深めることを学びたい。
- 英語教育。
- ・英語                      ・国際的教養
- 語学を中心に、国際社会で通用する技能を学びたい。
- ブレイクスルーを生み出すための基盤を得たい。
- 広く考え方を取り入れたい。
- 幅広い視野を持つための学習と言語技能。
- 自分の専攻とは関係ないこと。
- 特に語学を重点的に学びたい。
- 専門では学べない文系の分野。
- 社会の状況を知ることによって科学を社会にどのように役立てるべきなのかを考えたいです。
- 想像が付かないので、これから探して行きたいです。
- 様々な分野のことをたくさん学び、吸収したい。
- 語学、特に英語。
- 幅広いことを学ぶとともに英語力を高め国際社会に適応出来るようにする。



- 視野を広げ、多くの価値観を知るために、主体的に幅広く学んでいきたい。
- 世界のグローバル化を反映した授業を求め、外国語の習得に取り組みたい。
- まず英語を日々コツコツ勉強して使える英語を身につけたいと思った。目標をしっかり持ち、それを達成するための勉強をしたい。
- 幅広い学問知の獲得。
- 今まで知らなかったことについても興味を持ち、多くのことを吸収したい。
- 自分のやりたいことを見つける。
- 積極的に様々なことに挑戦したい。
- 将来の夢が全く持てない今の自分が興味を持つことを探し出し、一生懸命にその分野を研究したい。
- 農学部で環境、水質、食料等について学びたいです。
- 専門的な知識を得て、どんどん深くまで知りたい。
- 将来の夢を実現するために、実際に社会で役立つような実践的なことに取り組みたい。
- 多様な価値感を持ちたい。
- 経験したことがないこと。
- ・夢を見つける                      ・今は交換留学が目標
- 興味をもったことについて積極的に学びたい。
- 生命科学。
- 高い水準での学び。
- ・交友関係を広げること              ・興味のある分野に取りくむこと
- やりたいことをやる、やりたくないこともやるといういたって当たり前のこと。
- 興味のある分野について勉強したい。
- 将来国際的人材になるために、まず英語力を磨く。
- 自分の興味のある分野を見つけて探求する。
- 世界で活躍していくための英語力を鍛えたい。
- 国際世界の中で日本を復活させる。(維持させる)。
- 自分の感心をほりさげて、自ら学んでいきたい。
- 広く学び、研究者としての視野をもって必要となる能力を身につけたい。
- 誰かの役に立つようなスキルを身につけること。
- さまざまな国に行ってみよう。

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 自分の視野を広げたいと思います。
- 広い視野を持ち続ける為にいろいろなこと。
- 歴史。
- 専門的英語・哲学。
- 社会学や集団心理などを学んでみたいと思った。
- 一般常識。
- 農学に加えて、英語を中心に全学共通科目で色々なことを学びたい。
- 英語力を向上させる。
- 国際交流科目や、歴史・文化に関する科目など、世界の人々と交流していくために必要なことをどんどん学んでいきたいと思います。
- ・語学                      ・環境
- 英語を中心に様々な科目を学びたい。
- 英語、日本語を扱う能力。
- 人文系、もしくは哲学など。
- 英語。
- 英語をがんばりたいと思う。

- 高度なレベルの英語。
- 農学はもちろん、英語力も高め、国際化についていけるよう、学力向上していきたいです。
- 広い視野を持つために多くの分野で幅広い知識を得たい。専門知識を得るためのしっかりとした予備知識を得たい。
- 英語をきちんと使えるようにしたい。
- 英語。
- 興味のあること。
- 授業がすべて英語の科目は難しそうだが楽な方々にげず、せっかくめぐまれた環境にいるんだからそれを利用したい。
- 文系科目も含め広く学びたいと思う。
- ・化学                      ・生物
- ・社会の常識              ・世界に通用する人としての常識
- 自分の興味があること。
- 広範囲にわたる科目を受ける。
- 卒業後に役に立つ知識やスキルを身につけたい。
- 英語を中心に専門以外の科目も勉強したい。
- いろいろなことに目を向け幅広く学びたい。
- 語学をしっかり身につけて使えるように勉強したい。
- 科学における一般的教養。
- 日本語以外に2ヶ国語を学んで使えるようになりたい。

#### 4. 食料・環境経済学科（アンケート提出率 94.3%）

##### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

###### A. 以下のとおり

- 英語力の向上（スピーキング）。
- 海外での学習。
- 自分の興味のあることについての高度な内容。
- 学問だけでなく人間性、社会性を育みたいです。
- 人との交流を深め、勉学、スポーツ共に取り組みたい。
- 積極的に自学自習に取り組みたい。
- 国際交流に興味をもち積極的に取り組みたい。
- 将来の夢に役に立つ知識を身につける。
- 英語力をつけて世界の人々と交流できるようにする。
- 将来の夢を明確にし、それに必要なことを考えて努力したい。
- 広い知識を勉強して、また海外と積極的に関わりたい。
- 人との出会い。
- 幅広い学問を学び特に国際感覚も身に付けていきたい。積極的にプログラムに参加し新しい価値感を取り入れたりしていきたい。それらを専門にいかしていく。
- 英語。
- 農業経済学の基礎を固めたい。
- 思考力と人間性の向上を求め勉強と良好な人間関係を作ることに取り組みたい。
- 幅広い学問分野を学び、多くの実験、活動を通して自分を成長させたい。
- 高校までで苦手だと考えていたことに取り組みたい。具体的には語学など。
- ・人間として成長する              ・世界で通用する学力をつける
- これまであまりしてこなかった積極的な学習をしたい。海外留学もぜひしてみたい。
- ・知識と応用力                      ・農業にまつわること

- 経済学だけでなくさまざまな分野を勉強したい。
- 食物生産における日本の立ち場を見つめ対策を考えたい。
- 全く違った見方をした人と出会う。
- ・自分のやりたいこと、やるべきことを全力でやる
  - ・様々な分野の知識をもちたい
- 国際的な考えを身につける。
- いろんな価値感や考え方もつ人と知りあって、多面的な物事の見方ができるようになりたい。
- ・多様な学問や人に出会いたい
  - ・自分の専門だけに収まらず、広範囲に学びたい
- たくさんの人と交流し、新しい世界に出会うこと。
- 多くの知識を吸収し、積極的に学びたいです。
- 幅広い知識の習得。
- 勉強だけでなく、サークル活動などにも取り組み、様々なことを学びたい。

**Q 2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 様々な自分の視野を広げることができるようなこと。
- ・心理学や行動                   ・経済学
- 海外で胸を張って活動できるように必要な教養。
- 幅広い分野を学びたい。
- ・人文                               ・社会学
- グローバルな人材になるための一般常識と通用する学力を身につける。
- 様々な分野について学ぶ。
- 様々なジャンルの学問を幅広く勉強したい。
- 国際舞台で活躍すること。
- 様々なこと。
- 英語を使って様々な人とコミュニケーションができるようになること。そして日本の国についても学びたい。
- 自分の考えを発信し、他人の考えを受信する能力。
- 専門外も含めた多様な分野を学びたい。
- 専門分野の基礎と関心のあること。
- 農学に関係することを中心としながらも、幅広い分野を学びたい。
- 自分の意見を伝えられるレベルの語学。
- 幅広く学び、幅広い考え方をできるようにになりたい。
- 英語で行われる授業を受けたいです。
- 様々な分野。
- 高校で学べなかった科目を学びたい。
- 英語をもっと勉強しなくてはいけないと思った。
- 哲学。
- 英語のスピーキング、リスニング。
- 英語。
- 理系なので、人文社会学系の教養を身につけたい。また専門科目を深く学びたい。
- 理系だが文系科目を多く学びたいと思った。
- 自然科学系、語学などとともに、経済学の基礎を学びたい。

## 5. 森林科学科 (アンケート提出率 98.3%)

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 頻繁にフィールドワークに取り組み、自然の環境や野生生物について学びたいです。
- 幅広い知識を身につけて、グローバルな人間になりたい。たくさんの学ぶ機会を求めます。
- 学問の本質。
  - ・自由に何でもできること
  - ・英語を積極的に話すこと
- 森のスペシャリストになる。
  - ・最先端の学問に触れ研究に取り組みたい
  - ・留学も経験したい
- 興味のある学問以外にも広範にわたる分野を勉強したい。
- 専門的な知識はもちろん、幅広い知識を身につけたい。
- 研究分野以外の幅広い教養と識者との交流。
- いろんな分野を勉強する。
- 積極的に勉学に取り組むこと。
  - ・幅広い知識と人間的成長
  - ・人との交流
  - ・勉強
- 視野を広げ、さまざまな経験をする。
- 本当に自分がやりたいことを見つけ、追究する。
- 新しいことに挑戦したい。
- ものごとに対する視野を広げ、国際的になるよう取り組みたい。
- 様々な意見を参考にして自分なりのしっかりとした考え方をもてるようにする。
  - ・友人をたくさん作る
  - ・樹木医になりたい
- 国内トップクラスの大学で何か人の役に立つことを研究したい。
- 自由な校風の中、変わった仲間たちと勉強やサークルなどすべてのことに全力で取りくみ楽しく有意義な大学生活を送りたい。
- 様々な分野について勉強して視野を広げたい。
- 今までの疑問を解決したい。
- 知見を広げること。
- 学問系統などを気にすることなく、自由に興味を持ったことについて勉強したい。
- 教養と専門知識を身につけて、環境問題に取り組む。
- 京大独自のそれぞれの研究に関する専門的な授業を受けてみたい。
- 幅広い教養を身につけ、世界に通用する人間になりたい。
- 幅広い知識を得て、英語を使いこなせるようになりたい。
- 高校まででは経験しない新しいことに挑戦していきたい。
- 様々な人と会い、知見を深め、そこで身につけた知識、視点によって、世界、国に貢献できる人材になりたいです。
  - ・①留学をする
  - ・②しっかり学び、しっかり遊ぶ
- 節度ある生活。
  - ・心から尊敬できる人との出会い
  - ・自分の将来につながるような学び
  - ・夢中になれるスポーツ
- ・友人を増やしたい
  - ・専門的な分野だけでなく、その他の分野についても理解を深めたい
- 色々なこと。
- 人間と自然のつき合い方。
- エネルギー問題や環境保全。
- 語学力を高め、積極的に国際交流をしていくとともに、興味のあることを見つけそれを深めていきたい。
- 勉強はもちろん留学などこの時期だからこそできることをしたい。
- 森林の生態系保全。

- 「なぜか」ということ。
- 国際的な学術の獲得と、知的欲求を満たすこと。
- 専門科目だけでなく自ら、積極的に様々なことを学びたい。
- 学外での演習、実習といった現場での学習を多くしたい。
- 自分の能力を高めたい。
- 高校の時よりもさらに発達した学問研究。
- 積極的に様々な分野を勉強して、興味のある分野を見つける。
- 自分の興味のある分野を発見するために、様々なことに積極的に取り組みたい。
- ・多くの人や考え方との出会いと刺激  
・積極的にいろいろ首をつっこみたい
- 学問の追求。
- 様々な分野の知識を求め、知見を広めたい。
- 昆虫や動物に関するバイオテクノロジーの研究。
- 自分の知らない面白い世界を垣間みること。
- 英語で発言すること。
- 自ら学び、努力を続け、海外に出ても恥ずかしくないように、教養をつけたい。
- 国際社会で活躍できるよう、英語力向上に高める。
- ・外国に留学  
・外から日本を見る

**Q2. 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？**

**A. 以下のとおり**

- 英語で授業をうけてみたいです。
- 自分の視野を広げられる分野のこと。
- 一見関係のないような分野。
- 英語。
- 英語。
- 様々な学問を学び、自らの知見を広げたいと思う。
- 理系の学部なので人文科学含。
- 英語の能力を高めたい。
- 自らの興味を持っている教養科目を臆せず取り組む。
- 文系の科目も勉強したい。
- 幅広い分野での知識。
- 英語。
- 幅広い分野の科目に取り込む。
- 英語力をつける。
- 何でも興味をもって多くのことを学びたい。
- 理系科目だけでなく、文系科目の知識をもっと増やして、学問を深めてゆきたい。
- 自分の専門以外のことを積極的に学びたい。
- ポケットゼミ。
- 語学。
- 幅広い知識。たくさんを知ってみたい。
- 社会系の、高校ではあまりしっかりと勉強しなかった分野について。
- 知らないことを知る楽しさ。
- 幅広い分野の勉強。
- まず英語と第二外国語のフランス語の力をあげたいです。文系の授業も幅広くとってみたいです。
- 経済学。
- より専門的なことを学んでいく上で必要な基礎となることを学びたい。
- 世界に通用する、英語などの語学を学び、語学力を身につけたい。

- 英語で論文を書いたり、プレゼンをしたりする技術を学びたい。
- 高校では習わないような専門的なこと。
- 学術につながる教養を身につけていきたいです。
- 研究室に入って恥をかかないような学力。
- 数学、時々英語。
- 専門的な分野の探求に必要な英語や生物学。
- 1回生の間は英語力を高めていきたい。
- 色々なこと。
- ・理科                      ・社会
- 経済について。
- 自分という人間をより深められること。
- 英語で行われる授業を積極的にしていきたい。
- 物事を多面的に捉える。
- 高校では「Aは、Bだ」と知識として与えられていたことに関し、そのAがBとなる間。
- ・大学でしかできないこと                      ・留学生との交流や国際活動
- 英語を学びたい。
- 今自分のもつあらゆる興味を満たす。
- 様々な分野。
- 英語の運用能力と、専門の学問。
- 分子生物学など様々な分野。
- 幅広い分野。
- 人文科目。
- コミュニケーション能力。
- 経済などの自分に関係ない分野の知識を学ぶ。
- 英語での講義を受けてみたい。
- より幅広い世界を理解できるようになる科目。
- 英語。
- ・哲学                      ・文学                      ・法学                      ・物理                      ・数学
- 英語力を向上させる。
- 自分の希望する専門分野以外のこと。

## 6. 食品生物科学科（アンケート提出率 100.0%）

### Q 1. あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

#### A. 以下のとおり

- 幅広い教養をもった人になる。
- 全日本大学駅伝に出場したい。
- 興味を持ったことをとことん勉強したい。
- ・食品の開発、研究についての専門知識を深めること
  - ・多くの人と出会いコミュニケーション能力を高めること
  - ・自分の可能性を広げること
- ・常識                      ・広く深い知識
- 英語がもっとできるようになりたい。
- 自分でテーマを見つけてそれにしっかり取り組んでいきたい。何かに熱中できることを探す。
- 自分とは違う考えや文化・言葉を持つ人と積極的に交流して多くの事を吸収し、社会や他人のために働く上での基礎を培う。
- 国際人になる！！
- 知識を身につけ、より合理的な人間性を作る。





# 平成27年度 新入生アンケート（全学共通科目ガイダンス）

学部 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_

学生証番号 

--	--	--	--	--	--	--	--	--

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_ (男・女)

このアンケートは、全学共通科目の実施など本学の教育の改善に役立っています。アンケート結果は統計的に処理し、個人が特定されない形で公表されることがあります。記入内容によって記入者に不利益をもたらすことはありませんので、できるだけ正確にお答えください。

## 1. あなたの受験した学部における入試区分・科目、高等学校での学習についてお教えてください。

(該当するものに ( ) 内に○印を付けてください。)

(1) 受験した入試区分を選んでください。 ( ) 文系入試 ( ) 理系入試

(2) 以下の教科について、高等学校で履修した科目をすべて選んでください。

【理科】平成26年度に高等学校を卒業された方

( ) 科学と人間生活 ( ) 理科課題研究  
( ) 物理基礎 ( ) 物理 ( ) 化学基礎 ( ) 化学  
( ) 生物基礎 ( ) 生物 ( ) 地学基礎 ( ) 地学

上記以外の以下を扱っている科目

( ) 物理 ( ) 化学 ( ) 生物 ( ) 地学

【理科】平成25年度以前に高等学校を卒業された方

( ) 理科基礎 ( ) 理科総合A ( ) 理科総合B  
( ) 物理Ⅰ ( ) 物理Ⅱ ( ) 化学Ⅰ ( ) 化学Ⅱ  
( ) 生物Ⅰ ( ) 生物Ⅱ ( ) 地学Ⅰ ( ) 地学Ⅱ

上記以外の以下を扱っている科目

( ) 物理 ( ) 化学 ( ) 生物 ( ) 地学

【情報】

( ) 情報A ( ) 情報B ( ) 情報C  
( ) それ以外の情報系の科目 ( ) わからない、おぼえていない

(3) 以下の科目のうち、大学入試センター試験で受験した科目をすべて選んでください。

【理科】 ( ) 物理Ⅰ ( ) 化学Ⅰ ( ) 生物Ⅰ ( ) 地学Ⅰ

(4) 理科の授業で実験をしましたか？各項目に該当する科目名を書いてください。

- ・生徒自身が行う実験があった (科目名: \_\_\_\_\_)
- ・先生が生徒の前で実演する実験があった (科目名: \_\_\_\_\_)
- ・実験は行わなかった (科目名: \_\_\_\_\_)

(5) (1) で理系を選んだ場合のみ回答してください。(経済学部を除く)

以下の科目のうち、大学の個別学力検査で受験した科目をすべて選んでください。

【理科】 ( ) 物理 ( ) 化学 ( ) 生物 ( ) 地学

(6) 高等学校で探求型の科目（個人やグループで課題を設定し、その課題について調査や実験を行い、結果を発表するといった学習を行う科目）を履修しましたか？履修したと答えた方は簡単に内容をご紹介ください。

( ) 履修した ( ) 履修していない

内容

裏面につづく

## 2. 本日のガイダンスで大学での学修について学んだことについてお答えください。

(1) 科目の履修登録の日程について確認してください

・ポケットゼミの登録期間 \_\_\_\_\_ 履修登録期間 \_\_\_\_\_

(2) ご自身のクラスの確認方法、クラス指定科目の割り当て、全学共通科目の卒業要件となる単位数など確認しましたか

・クラスの確認方法 \_\_\_\_\_

・履修の手引きのクラス指定科目の早見表のページ \_\_\_\_\_

・全学共通科目の卒業要件のページ \_\_\_\_\_

(3) 大学の授業では予習復習についてどのように考えられているでしょうか。

(4) 大学でのレポートで求められていることは何でしょうか。

(5) レポートでの不正行為とはどのようなものでしょうか。不正を行った場合にどのような対処がとられるでしょうか。

## 3. あなたの京都大学入学に際しての抱負をお聞かせください。

(2 回生進級時に KULASIS のマイページに反映されます。)

(1) あなたは京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか？

(2) 本日の新入生ガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

## 4. 本ガイダンスの運営についてご意見をお聞かせください。

(1) これからの大学での科目履修について理解できましたか。

( ) 理解できた ( ) どちらかという理解できた

( ) どちらかという理解できなかった ( ) 理解できなかった

(2) ガイダンスの説明は分かりやすかったですか。

( ) 分かりやすかった ( ) どちらかという分かりやすかった

( ) どちらかという分かりにくかった ( ) 分かりにくかった

(3) ガイダンスに用いた資料は分かりやすかったですか。

( ) 分かりやすかった ( ) どちらかという分かりやすかった

( ) どちらかという分かりにくかった ( ) 分かりにくかった

(4) 科目履修についてガイダンスで分かりにくかった点、説明をしてほしかった点があればお教えてください。

## VII. おわりに

平成 27 年度は新入生ガイダンスを大幅に刷新したが、国際高等教育院で取り組んできた教養・共通教育の改革のうち、科目群の再編など制度面での変更は平成 28 年度に集中して実施する。また 1 回生の時間割をブロック化することで、所属学部・学科が定まっていれば時間割の概要が分かるようになる。そこで、情報環境機構の協力を得て、学生用アカウント ECS-ID を入学前に発行できるようにし、履修に関連する事項を事前に Web で学べるようにするとともに、入学時の諸手続きの一部をオンライン化する。これにともない、ガイダンスでの実施内容を見直すことで準備を進めている。



平成27年度 新入生アンケート報告書

平成28年3月発行

発行 京都大学国際高等教育院

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-6690/6513 <http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>